

シラバス ▶

Syllabus

こども学科

2025

足利短期大学

ASHIKAGA
AJC JUNIOR
COLLEGE

目次

contents

| | | | |
|---------------------|----|---------------------|----|
| 沿革と設立の趣旨及び使命 | 1 | 仏教保育論 | 39 |
| 学事日程・行事表 | 5 | こども家庭支援の心理学 | 40 |
| 教務年間予定表 | 7 | こどもの食と栄養 | 41 |
| 足利短期大学学友会行事日程 | 8 | 乳児保育Ⅱ | 43 |
| こども学科 | | こどもの健康と安全 | 44 |
| 学科課程表（令和6年度入学生） | 11 | 社会的養護Ⅱ | 45 |
| こども学科カリキュラムマップ | 13 | 子育て支援 | 46 |
| 文 学 | 14 | こどもと音楽（ピアノⅡ） | 47 |
| 美 術 | 15 | 総合表現Ⅰ（茂木克浩） | 48 |
| 情報処理Ⅱ | 16 | 総合表現Ⅰ（佐々木由美子） | 49 |
| 体 育 理 論 | 17 | 総合表現Ⅰ（中野真樹） | 50 |
| 体 育 実 技 | 19 | 総合表現Ⅰ（高橋由起） | 51 |
| 保育内容総論 | 21 | 総合表現Ⅱ（茂木克浩） | 52 |
| 保育内容の指導法（人間関係） | 22 | 総合表現Ⅱ（佐々木由美子） | 53 |
| 保育内容の指導法（環境） | 23 | 総合表現Ⅱ（中野真樹） | 54 |
| 保育内容の指導法（言葉） | 24 | 総合表現Ⅱ（高橋由起） | 55 |
| 保 育 者 論 | 25 | レクリエーション理論 | 56 |
| 特別支援教育Ⅰ（障がい児保育含む） | 26 | 保育実習研究Ⅱ | 57 |
| 特別支援教育Ⅱ（障がい児保育含む） | 27 | 保育実習Ⅱ | 58 |
| 教育方法論Ⅱ（コンピュータリテラシー） | 28 | 保育実習研究Ⅲ | 59 |
| 教育方法論Ⅲ（生涯学習論） | 29 | 保育実習Ⅲ | 60 |
| 教育の方法と技術Ⅱ | 30 | 英 語 Ⅰ（再履修） | 61 |
| 幼児理解と教育相談 | 31 | 保育と環境（再履修） | 62 |
| 保育・教職実践演習（幼稚園） | 33 | 保育内容の指導法（造形表現）（再履修） | 63 |
| 教育実習研究 | 35 | 心身の発達と学習過程（再履修） | 64 |
| 教 育 実 習 | 37 | 保 育 原 理（再履修） | 65 |
| こども家庭支援論 | 38 | | |



目次

contents



本城キャンパスマップ

| | |
|------|----|
| 1号館 | 68 |
| 2号館 | 69 |
| 3号館 | 70 |
| 本城本館 | 71 |
| 学生会館 | 72 |

沿革と設立の趣旨及び使命

足利短期大学の設置者、学校法人足利大学の母体である「足利仏教和合会」は、明治18（1885）年2月、旧足利市内の各宗17ヶ寺により、寺院を会主、檀信徒を会員として発足した。明治23（1890）年「足利各宗和合会」となり、明治32（1899）年に現在の会名「足利仏教和合会」となった。大正7（1918）年1月に正式に会則を制定し、大正14（1925）年、聖徳太子1300年忌を記念して、聖徳太子の『十七条憲法』第一条『以和為貴』を建学の精神とする「足利実践女学校」を創設した。

「足利実践女学校」は戦後、学校法人「月見ヶ丘学園」への改組にともない「月見ヶ丘高等学校」と校名を変更、昭和40（1965）年に「月見ヶ丘幼稚園」を開園、昭和42（1967）年「足利工業大学」を開学、昭和43（1968）年「足利工業大学附属高等学校」を併設し、法人名を「学校法人足利工業大学」に改めた。

「足利短期大学」は、昭和54（1979）年4月、地域社会からの切なる要望に応じ、幼児教育科単科の短期大学として開学された。それにともない「月見ヶ丘高等学校」は「足利短期大学附属高等学校」と校名を変更、また「月見ヶ丘幼稚園」は「足利短期大学附属幼稚園」と園名を変更し今日に至っている。

看護科は、平成8（1996）年4月、本学に隣接する足利赤十字病院を隣地実習施設として増設された。

専攻科福祉専攻は、高齢化社会のニーズに応えるべく平成12（2000）年4月、保育士の資格を有する者のみが入学でき、1年で介護福祉の国家資格を取得できる学科として誕生した。だが、事情により平成21年度をもって廃科となった。

平成22（2010）年4月、幼児教育科が「こども学科」に、看護科が「看護学科」に名称変更された。

平成26（2014）年4月、足利工業大学に看護学部が新設され、看護学科は新入生の募集を停止し平成30（2018）年3月、廃科となった。

平成30年4月、「足利工業大学」が「足利大学」へ名称変更。

平成31年4月、法人名を「学校法人足利大学」と改称。

令和2年4月、こども学科入学定員を75名に変更。

令和5年4月、こども学科入学定員を50名に変更。

建学の精神・教育理念

足利短期大学は、聖徳太子の十七条憲法第一条「以和為貴」を建学の精神とする。また、教育理念は、大乘仏教の教えを根本とし、その実践として「和顔愛語」を掲げる。

教育目的・教育目標

こども学科

教育目的

こども学科では豊かな感性と教養を身につけるとともに、保育に関する専門的知識と技術を習得し、活用・応用できる力を持った人材の育成を目的とする。

教育目標

1. 興味・意欲を喚起する授業と多様な体験の機会を提供し、「感動する心」「創造する心」「実践する力」を育成する
2. 幅広い専門的知識・技術を有し、社会的役割を遂行できる保育者を養成する
3. 幼稚園教諭免許と保育士資格を取得できるよう指導・教育する

ディプロマポリシー

こども学科は、建学の精神「以和為貴」に基づき、「高い知識と技術を持った心ある保育者」の養成に向けて、所定の学位プログラムに従って、62単位の取得を含む卒業要件を満たすことが、卒業認定・学位授与の条件となります。幼稚園教諭2種免許状は、教育職員免許法および同法施行規則に定める単位を修得することで、授与されます。また、保育士資格は、児童福祉法に定める単位を修得することで、授与されます。こども学科では、幅広い専門的知識と技術を有し、社会的役割を遂行できる保育者の養成を目的としています。

この目的の達成度を確認するために、以下の項目に沿った評価を行い、短期大学士（保育学）の学位を授与するものとします。

1. 保育に関する専門的知識と技術を習得し、実践の場で活用・応用できます。
2. 保育職の社会的役割を認識し、保育に専心しようとする職業観を身につけます。
3. 専門を超えて学び、広い視野でものごとを捉えることができます。
4. 多様な人々と交流することに努め、協働的関係を築くことができます。
5. 豊かな感性と教養を身につけ、自ら問題解決にあたることができます。

学修成果

社会人・職業人として求められる汎用的学修成果

1. 幅広い情報を収集し、探求心を持って学び続けることができる
2. 年齢、性別、国籍、障害の有無を越えて、多様な人々と進んで交流する姿勢をもつ
3. 様々なコミュニケーションを獲得し、それを駆使して協働的関係を築くことができる
4. 感性豊かにものごとを捉え、ことばをはじめ多様な方法によって表現することができる
5. 多面的に物事を捉え、臨機応変に対応し、問題解決をはかることができる

現場に即応できる保育者に求められる専門的学修成果

1. 保育に関する専門的知識を習得し、具体的に説明することができる
2. 身につけた知識や技術を実践の場で活用・応用することができる
3. 保育職の社会的役割と使命について自覚している
4. 主体性をもって保育に取り組むことができる
5. 「こどもから学ぶ」という視点をもって、保育を実践することができる
6. 自らの保育実践を振り返り、評価し改善することができる

カリキュラムポリシー

こども学科における人材養成の方針は、建学の精神である「以和為貴」を基盤に置き、豊かな感性と教養を身につけた、心ある保育者の養成を旨としています。保育者には、保育に関する専門的知識と技術のみならず、幅広い関連する知識とそれを実践の場で活用・応用することが求められます。その結果、自ずと我が国における保育の質の向上に貢献することができるわけです。

こども学科では、専門的な知識・技術をもって社会に貢献できる保育者養成のためのカリキュラムを編成しています。社会人としての教養を涵養するための一般教育科目と、仏教的精神について学ぶ科目を配置し、豊かな感性と教養を持つ、コミュニケーション能力の優れた保育者を養成します。また、表現力や協働性を確かなものにするための演習科目と実習カリキュラムを段階的に組み立て、実践の場で応用できる力を養います。

学修成果の評価にあたっては、すべての科目について設定された達成目標の到達度によって評価します。基礎的・理論的な知識を修得する科目については定期試験によって、知識を統合する科目や演習科目・実習科目については、実技や課題に対する具体的成果物によって、それぞれの科目の達成度を評価します。

アドミッションポリシー

こども学科では、建学の精神「以和為貴」に則り、豊かな感性と教養を身につけ、心ある保育者として専門的な知識・技術を持って社会に貢献しようという意欲のある人の入学を求めます。

このような入学者をあらゆる地域から多様な方法によって適正に選抜します。それぞれの選抜方法に応じて、以下の項目を評価します。

- 1) 高等学校までの学習を通じ、本学の教育の基礎となる知識・技能、学習に必要な思考力・判断力・表現力および学習のための主体性・協働性を身につけている。
- 2) こども学科の教育理念を理解し、保育者になるという明確な意思と目標を持っている。
- 3) 本学の建学の精神と教育理念を深く理解し、生命と人権を尊重するとともに他者への思いやりを持ち人間関係を深めようと努力できる。

アセスメント・ポリシー

足利短期大学では、ディプロマ、カリキュラム、アドミッションの3つのポリシーに基づき、機関レベル（短期大学全体）、教育課程レベル（学科）、科目レベル（各授業科目）の3段階で学修成果を評価する方法を定めています。評価結果は、現状を把握し、教育改善を進めることを目的としています。

| | 入学時 | 在学时 | 卒業時 |
|---------|--|--|---|
| 機関レベル | 各種入学試験 調査書等の記載内容 志願理由書等 面接内容等 | 修得単位数 学修行動調査 | 学位授与数 進路状況 就職率 専門就職率 進学 卒業年次生アンケート 就職先アンケート |
| 教育課程レベル | 各種入学試験 調査書等の記載内容 | 修得単位数 GPA 学修行動調査 資格取得状況 休学率 退学率 | 学位授与数 単位取得率 資格・免許取得率 卒業年次生アンケート |
| 科目レベル | 各種入学試験 調査書等の記載内容 | 成績評価 学外実習評価 授業評価アンケート | |

令和7年度（2025）こども学科 学事日程・行事表

| 令和7年（2025） | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|------------|---|---------------|---------------------|----|-------|------------|------------------|
| 1 | ㊦ | 2年前期授業開始 | ㊦ | 日 | ㊦ | ㊦ | 月 |
| 2 | ㊦ | | ㊦ | 月 | ㊦ | 土 | ㊦ 追再試験発表 |
| 3 | ㊦ | | 土 憲法記念日 | ㊦ | ㊦ 魂祭 | 日 | ㊦ |
| 4 | ㊦ | | 日 みどりの日 | ㊦ | ㊦ | ㊦ 2年前期授業終了 | ㊦ |
| 5 | ㊦ | 健康診断(学生)AM | 月 こどもの日 | ㊦ | 土 | ㊦ | ㊦ |
| 6 | 日 | | 火 振替休日 | ㊦ | 日 | ㊦ | 土 |
| 7 | 月 | | ㊦ | 土 | 月 | ㊦ | 日 |
| 8 | ㊦ | | ㊦ 降誕会 | 日 | ㊦ | ㊦ | 月 |
| 9 | ㊦ | | ㊦ | 月 | ㊦ | ㊦ | ㊦ |
| 10 | ㊦ | 履修訂正科目確認日 | 土 | ㊦ | ㊦ | 日 夏季休業 | ㊦ |
| 11 | ㊦ | | 日 | ㊦ | ㊦ | 月 山の日 | ㊦ |
| 12 | 土 | | 月 | ㊦ | 土 | 火 | ㊦ |
| 13 | 日 | | ㊦ | ㊦ | 日 | 水 | 土 |
| 14 | 月 | | ㊦ | 土 | 月 | 木 | 日 |
| 15 | ㊦ | | ㊦ | 日 | ㊦ | 金 | 月 敬老の日 |
| 16 | ㊦ | | ㊦ | 月 | ㊦ | 土 | ㊦ |
| 17 | ㊦ | | 土 | ㊦ | ㊦ | 日 | ㊦ |
| 18 | ㊦ | | 日 創立記念日 | ㊦ | ㊦ | 月 | ㊦ |
| 19 | 土 | | 月 | ㊦ | 土 | 火 | ㊦ |
| 20 | 日 | | ㊦ | ㊦ | 日 | 水 | 土 |
| 21 | 月 | | ㊦ | 土 | 月 海の日 | 木 | 日 |
| 22 | ㊦ | | ㊦ 内科検診(学生)4コマ目 | 日 | ㊦ | 金 | 月 |
| 23 | ㊦ | | ㊦ | 月 | ㊦ | 土 | 火 秋分の日 |
| 24 | ㊦ | | 土 | ㊦ | ㊦ | 日 | ㊦ |
| 25 | ㊦ | | 日 | ㊦ | ㊦ | 月 | ㊦ |
| 26 | 土 | | 月 | ㊦ | 土 | 火 | ㊦ |
| 27 | 日 | | ㊦ | ㊦ | 日 | 水 | 土 |
| 28 | 月 | | ㊦ | 土 | ㊦ | 木 | 日 |
| 29 | 火 | 昭和の日 | ㊦ | 日 | ㊦ | 金 | 月 後期授業開始 成績発表 |
| 30 | ㊦ | | ㊦ | 月 | ㊦ | 土 | ㊦ |
| 31 | | | 土 | | ㊦ | 日 | |
| 備考 | | 24日AM 教職員健康診断 | 22日PM 健康診断総合指導(教職員) | | | | 教務面談 |

※ 以下の学期・曜日の授業は、規定の授業週数が不足のため、空きコマで補講を実施。
 前期 月曜：2回分、前期 火曜：2回分、後期 月曜：3回分（1月20日（火）月曜振替授業日含む）、後期 金曜：1回分

スクールバス運行日（曜日に印の付いた日）・・・○印：通常運行（以下の通り）／△印：臨時運行（事前掲示によりお知らせ）

《行き》JR 足利駅（北口） → 本城本館前（本城キャンパス行）＝ 1 便 8:05 発 2 便 8:25 発

東武足利市駅（南口） → 本城本館前（本城キャンパス行）＝ 1 便 8:05 発 2 便 8:25 発

《帰り》本城本館前 → JR 足利駅 → 東武足利市駅＝ 1 便 16:30 発 2 便 17:20 発 3 便 18:20 発

| | | | | 令和 8 年 (2026) | | | | | | | |
|------|---|-------------|-----|---------------|-------------|-----|------------------------|-----|---------------|-----|--------------|
| 10 月 | | 11 月 | | 12 月 | | 1 月 | | 2 月 | | 3 月 | |
| 1 | 水 | | 土 | 月 | | 木 | 元日 | 日 | | 日 | 1 |
| 2 | 木 | | 日 | 火 | | 金 | | 月 | | 月 | 2 |
| 3 | 金 | | 月 | 水 | 文化の日 | 土 | | 火 | | 火 | 3 |
| 4 | 土 | | 火 | 木 | 成道会 | 日 | | 水 | | 水 | 4 |
| 5 | 日 | | 水 | 金 | | 月 | 授業再開 | 木 | | 木 | 5 |
| 6 | 月 | 後期履修訂正科目確認日 | 木 | 土 | | 火 | | 金 | 追再試験発表 | 金 | 6 |
| 7 | 火 | | 金 | 日 | 法人100周年記念式典 | 水 | | 土 | | 土 | 7 |
| 8 | 水 | | 土 | 月 | | 木 | | 日 | | 日 | 8 |
| 9 | 木 | | 日 | 火 | | 金 | | 月 | | 月 | 9 |
| 10 | 金 | | 月 | 水 | | 土 | | 火 | | 火 | 10 |
| 11 | 土 | | 火 | 木 | | 日 | | 水 | 建国記念の日 | 水 | 11 |
| 12 | 日 | | 水 | 金 | | 月 | 成人の日 | 木 | | 木 | 12 |
| 13 | 月 | スポーツの日 | 木 | 土 | | 火 | | 金 | | 金 | 13 |
| 14 | 火 | | 金 | 日 | | 水 | | 土 | | 土 | 14 |
| 15 | 水 | | 土 | 月 | | 木 | 涅槃会 | 日 | | 日 | 15 |
| 16 | 木 | | 日 | 火 | | 金 | | 月 | | 月 | 16 |
| 17 | 金 | | 月 | 水 | | 土 | | 火 | | 火 | 17 |
| 18 | 土 | | 火 | 木 | | 日 | | 水 | | 水 | 18 |
| 19 | 日 | | 水 | 金 | | 月 | | 木 | | 木 | 学位授与式 |
| 20 | 月 | | 木 | 土 | | 火 | 2年 月曜振替授業日 2年後期授業終了 | 金 | | 金 | 春季休業 春分の日 |
| 21 | 火 | | 金 | 日 | | 水 | | 土 | | 土 | 21 |
| 22 | 水 | | 土 | 月 | | 木 | | 日 | | 日 | 22 |
| 23 | 木 | | 日 | 火 | 勤労感謝の日 | 金 | | 月 | 天皇誕生日 | 月 | 23 |
| 24 | 金 | | 月 | 水 | 振替休日 | △ | 成果発表会 | 火 | | 火 | 24 |
| 25 | 土 | | 火 | 木 | | 日 | | 水 | | 水 | 25 |
| 26 | 日 | | 水 | 金 | | 月 | | 木 | 卒業判定会議 | 木 | 26 |
| 27 | 月 | | 木 | 土 | 冬季休業 | 火 | | 金 | 成績発表 卒業生発表 | 金 | 27 |
| 28 | 火 | | 金 | 日 | | 水 | | 土 | | 土 | 28 |
| 29 | 水 | | 土 | 月 | | 木 | | | | 日 | 29 |
| 30 | 木 | | 日 | 火 | | 金 | | | | 月 | 30 |
| 31 | 金 | | 月 | 水 | | 土 | | | | 火 | 31 |
| | | | 2 日 | | 同窓会行事 | | | | | | 備考 |

教務年間予定表（令和7年度）

| | 前 期 | こども学科2年 |
|-----------------|------------------|---------|
| ガイダンス及び履修登録について | 新年度ガイダンス | 3/26 |
| | 履修登録期間 | 4/1～3 |
| | 履修確認訂正期間 | 4/7・8 |
| | 履修訂正科目確認日 | 4/10 |
| 定期試験準備について | 定期試験時間割発表 無資格者発表 | 7/29 |
| | 定期試験期間 | 8/5～9 |
| 成績提出と追再試験について | 追試験願(締切) | 8/19 |
| | 追・再試験発表 | 9/2 |
| | 追・再試験期間 | 9/8～10 |
| | 成績発表 | 9/29 |

| | 後 期 | こども学科2年 |
|---------------|------------------|-----------|
| 履修登録について | 後期履修追加訂正期間 | 9/29～10/3 |
| | 履修訂正科目確認日 | 10/6 |
| 定期試験準備について | 定期試験時間割発表 無資格者発表 | 1/14 |
| | 定期試験期間 | 1/21～27 |
| 成績提出と追再試験について | 追試験願(締切) | 1/30 |
| | 追・再試験発表 | 2/6 |
| | 追・再試験期間 | 2/10～13 |
| | 成績発表 | 2/27 |

令和7年度 足利短期大学学友会行事日程

| 月 日 | 行 事 内 容 |
|--------|---------|
| 5月中旬予定 | 学 生 大 会 |
| 1月下旬予定 | 学 生 大 会 |

上記が令和7年度の行事予定です。
学生の皆さんは積極的に参加して下さい。



こども学科 授業計画

令和6年度入学生 P11～P65

修学(学科課程表) こども学科(令和6年度(2024)入学生)

○：必修科目

*：本学指定科目（必修ではないが受講が義務付けられた科目）

#：保育士通知科目に対応した科目

こども学科一般教育科目 卒業（必修科目6単位を含め8単位以上）
 幼稚園教諭二種免許状（必修科目10単位以上）
 保育士資格（必修科目6単位を含め8単位以上）

| 区分 | 授業科目 | 科目ナンバリングコード | 授業形態 | 単位数 | | | 卒業 | 幼免二種 | 保育士 | 開講時期 | | 担当教員 | 備考 |
|--------|-----------|-------------|------|------|----|----|----|------|-----|------|------|-------|----|
| | | | | 開設単位 | 必修 | 選択 | | | | 2年前期 | 2年後期 | | |
| 一般教育科目 | 仏教 | YHIA1 | 講義 | 2 | 2 | | ○ | ○ | ○ | | | 武井(峻) | |
| | 文 | IA2 | 講義 | 2 | 2 | | | | | ■ | | 中野 | |
| | 美術 | IA3 | 講義 | 2 | 2 | | | | ■ | | | 茂木 | |
| | 法学(日本国憲法) | YIB1 | 講義 | 2 | 2 | | ○ | | | | | 武井(英) | |
| | 心理学 | IB2 | 講義 | 2 | 2 | | | | | | | 五十嵐 | |
| | 情報処理Ⅰ | YIC1 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | | | | | 禾澤 | |
| | 情報処理Ⅱ | YIC2 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | | ■ | | | 禾澤 | |
| | 英語Ⅰ | YHID1 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | | Soper | |
| | 英語Ⅱ | YHID2 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | | Soper | |
| | 体育理論 | YHIE1 | 講義 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | ■ | 丸山 | |
| 体育実技 | YHIE2 | 実技 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | ■ | ■ | 丸山 | | |
| 小計 | | | | 16 | 6 | 10 | 8 | 10 | 8 | | | | |

こども学科専門科目 卒業（必修科目20単位を含め54単位以上）
 幼稚園教諭二種免許状（必修科目39単位を含め54単位以上）
 保育士資格（必修科目56単位以上（#印の必修科目保育内容の指導法（健康）1単位、保育内容の指導法（人間関係）1単位、こどもと音楽(ピアノⅠ)2単位を含む）
 #印の選択科目から保育実習研究Ⅱ1単位・保育実習Ⅱ2単位、又は保育実習研究Ⅲ1単位・保育実習Ⅲ2単位のいずれか3単位を含め5単位以上選択必修 合計61単位以上）
 レクリエーション・インストラクター
 （★印の必修科目4単位及びレクリエーション事業への参加（2回以上））
 （☆印の選択科目1科目以上）

| 区分 | 授業科目 | 科目ナンバリングコード | 授業形態 | 単位数 | | | 卒業 | 幼免二種 | 保育士 | 開講時期 | | 担当教員 | 備考 |
|----------------|-------------------|-------------|------|------|----|----|----|------|-----|------|------|-------|----|
| | | | | 開設単位 | 必修 | 選択 | | | | 2年前期 | 2年後期 | | |
| 専門科目 | 保育内容総論 | YHIA1 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | ■ | 佐々木 | |
| | 保育と健康 | YHIA2 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | | 小野 | |
| | 保育と人間関係 | YHIA3 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | | 西 | |
| | 保育と環境 | YHIA4 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | | 佐々木 | |
| | 保育と言葉 | YHIA5 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | | 中野 | |
| | 保育と表現 | YHIA6 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | | 茂木・高橋 | |
| | 保育内容の指導法(健康) | YHIA7# | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○# | | | 小野 | |
| | 保育内容の指導法(人間関係) | YHIA8# | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○# | ■ | | 西 | |
| | 保育内容の指導法(環境) | YHIA9 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | ■ | | 佐々木 | |
| | 保育内容の指導法(言葉) | YHIA10 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | ■ | 中野 | |
| | 保育内容の指導法(造形表現) | YHIA11 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | | 茂木 | |
| | 保育内容の指導法(身体表現) | YHIA12 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | ○ | | | 小野 | |
| 教育の基礎的理解に関する科目 | 保育者論 | YHIB1 | 講義 | 2 | 2 | | ○ | ○ | | ■ | | 佐々木 | |
| | 教育原理・教育制度論 | YHIB2 | 講義 | 2 | 2 | | ○ | ○ | ○ | | | 西 | |
| | 心身の発達と学習過程 | YHIB3 | 講義 | 2 | 2 | | ○ | ○ | | | | 五十嵐 | |
| | 特別支援教育Ⅰ(障がい児保育含む) | YHIB4 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | | ■ | | 池田 | |
| | 特別支援教育Ⅱ(障がい児保育含む) | YHIB5 | 演習 | 1 | 1 | | ○ | ○ | | ■ | | 林 | |
| 教育課程・保育の計画と評価 | YHIB6 | 講義 | 2 | 2 | | ○ | ○ | | | | 林 | | |

修学(学科課程表) こども学科(令和6年度(2024)入学生)

| 区 分 | 授 業 科 目 | 科目ナンバ リングコード | 授 業 形 態 | 単 位 数 | | | 卒 業 | 幼 免 種 別 | 保 育 士 | 開 講 時 期 | | 担 当 教 員 | 備 考 |
|---|----------------|-----------------|------------|------------------|--------|--------|--------|------------------|-------------|-----------------------|---------------------|--------------------|-----|
| | | | | 開 設 単 位 | 必 修 | 選 択 | | | | 2 年 前 期 | 2 年 後 期 | | |
| 道徳、総合的な学習の時間 等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目 | 教育方法論Ⅰ | YHHC5a# | 演習 | 1 | 1 | | ○ | # | | | | 多文化保育 開講せず | |
| | 教育方法論Ⅱ | YHHC5b# | 演習 | 1 | 1 | | ○ | # | ■ | | 栗澤 | 2/ビュッパ行- | |
| | 教育方法論Ⅲ | YHHC5c# | 演習 | 1 | 1 | | ○ | # | ■ | | 池田 | 生涯学習論 | |
| | 教育の方法と技術Ⅰ | YHHC1# | 演習 | 1 | 1 | | ○ | # | | | 高橋 | 音楽 | |
| | 教育の方法と技術Ⅱ | YHHC2# | 演習 | 1 | 1 | | ○ | # | ■ | | 茂木 | 造形 | |
| | 教育の方法と技術Ⅲ | YHHC3# | 演習 | 1 | 1 | | ○ | # | | | 小野 | 運動★ | |
| 教育実践に関する科目 | 幼児理解と教育相談 | YHHC4# | 講義 | 2 | 2 | | ○ | # | ■ | | 林 | | |
| | 保育・教職実践演習(幼稚園) | YHHD1 | 演習 | 2 | 2 | | ○ | ○ | ○ | ■ | 茂木・佐々木・ 中野・高橋・西 | | |
| | 教育実習研究 | YHD2 | 実習 | 1 | 1 | | ○ | | ■ | | 茂木・高橋 | | |
| 保育の本質・目的に関する科目 | 教育実習 | YHD3 | 実習 | 4 | 4 | | ○ | | ■ | | 茂木・高橋 | 1年次1週間 2年次3週間☆ | |
| | 保育原理 | YHHE1 | 講義 | 2 | 2 | | ○ | ○ | | | 西 | | |
| | こども家庭福祉 | YHHE2 | 講義 | 2 | 2 | | ○ | ○ | | | 池田 | | |
| | 社会福祉 | HHE3 | 講義 | 2 | 2 | | | ○ | | | 西 | | |
| | こども家庭支援論 | HHE4 | 講義 | 2 | 2 | | | ○ | ■ | | 近末 | | |
| | 社会的養護Ⅰ | HHE5 | 講義 | 2 | 2 | | | ○ | | | 池田 | | |
| | 仏教保育論 | HHE6# | 講義 | 2 | 2 | | * | # | ■ | | 藤生・関・内藤 | | |
| 保育の対象の理解に関する科目 | 福祉と人権 | HHE7# | 講義 | 2 | 2 | | | # | | | | 開講せず | |
| | こども家庭支援の心理学 | HHF1 | 講義 | 2 | 2 | | | ○ | ■ | | 高橋 | | |
| | こどもの理解と援助 | HHF2 | 演習 | 1 | 1 | | | ○ | | | 茂木 | | |
| | こどもの保健 | HHF3 | 講義 | 2 | 2 | | | ○ | | | 小野 | | |
| 保 育 実 習 | こどもの食と栄養 | HHF4 | 演習 | 2 | 2 | | | ○ | ■ | ■ | 川田 | | |
| | 乳児保育Ⅰ | HIG1 | 講義 | 2 | 2 | | | ○ | | | 中野 | | |
| | 乳児保育Ⅱ | HIG2 | 演習 | 1 | 1 | | | ○ | ■ | | 中野 | | |
| | こどもの健康と安全 | HIG3 | 演習 | 1 | 1 | | | ○ | ■ | | 佐々木 | | |
| | 社会的養護Ⅱ | HIG4 | 演習 | 1 | 1 | | | ○ | ■ | | 池田 | | |
| | 子育て支援 | HIG5 | 演習 | 1 | 1 | | | ○ | ■ | | 西 | | |
| | こどもと音楽(ピアノⅠ) | HIG6# | 演習 | 2 | 2 | * | * | ○ | # | | 高橋・浅野・須藤・ 須永・田部井 | | |
| | こどもと音楽(ピアノⅡ) | HIG7# | 演習 | 1 | 1 | * | * | * | # | ■ | 高橋・浅野・須藤・ 須永・田部井 | | |
| | こどもと音楽(うた) | HIG8# | 演習 | 1 | 1 | * | * | * | # | | 千葉 | | |
| | 国語表現法 | HIG9# | 演習 | 1 | 1 | * | * | * | # | | 中野 | | |
| | 保育教材研究Ⅰ | HIG10# | 演習 | 1 | 1 | | | * | # | | 柿沼 | 表現2/7ア- | |
| | 保育教材研究Ⅱ | HIG11# | 演習 | 1 | 1 | | | * | # | | 柿沼 | あそび歌 | |
| | 保育教材研究Ⅲ | HIG12# | 演習 | 1 | 1 | | | * | # | | | 防災と危機管理 開講せず | |
| | 総合表現Ⅰ | HIG13# | 演習 | 1 | 1 | * | | # | ■ | | 茂木・佐々木・ 中野・高橋 | | |
| | 総合表現Ⅱ | HIG14# | 演習 | 1 | 1 | * | | # | ■ | | 茂木・佐々木・ 中野・高橋 | | |
| | レクリエーション理論 | HIG15# | 講義 | 2 | 2 | | | # | ■ | | 栗澤 | ★ | |
| | レクリエーション実技 | HIG16# | 演習 | 1 | 1 | | | # | | | 栗澤 | ★ | |
| 手話コミュニケーション | HIG17# | 演習 | 1 | 1 | | | # | | | | 開講せず | | |
| そ の 他 | 保育実習研究Ⅰ | HHH1 | 演習 | 2 | 2 | | | ○ | | | 西・林・池田・中野 | | |
| | 保育実習Ⅰ | HHH2 | 実習 | 4 | 4 | | | ○ | | | 西・林・池田・中野 | 保育所11日間 施設11日間☆ | |
| | 保育実習研究Ⅱ | HHH3a1# | 演習 | 1 | 1 | | | ○ | ■ | | 西・佐々木 | 11日間 | |
| | 保育実習Ⅱ | HHH3a2# | 実習 | 2 | 2 | | | ○ | ■ | | 佐々木 | 11日間 | |
| | 保育実習研究Ⅲ | HHH3b1# | 演習 | 1 | 1 | | | ○ | ■ | | 池田・中野 | | |
| | 保育実習Ⅲ | HHH3b2# | 実習 | 2 | 2 | | | ○ | ■ | | 中野 | 11日間 | |
| 基礎演習Ⅲ1 | III1 | 演習 | 1 | 1 | * | | | | | 中野・佐々木・西・ 池田・高橋・茂木 | | | |
| 小 計 | | | | 87 | 20 | 69 | 54 | 54 | 60 | | | | |
| 合 計 | | | | 103 | 26 | 79 | 62 | 62 | 68 | | | | |

こども学科カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、科目ごとに、それを履修することにより何が出来るようになるか、ディプロマポリシー（DP）のどの項目を達成することになるかを表したものです。

到達指標（DP）

- ① 保育に関する専門的知識と技術を習得し、実践の場で活用・応用できる力を身に付ける
- ② 保育職の社会的役割について認識し、保育に専心しようとする職業観をもつ
- ③ 専門を越えて学び、広い視野でものごとを捉えることができる
- ④ 多様な人々と交流することに努め、協働的関係を築くことができる
- ⑤ 豊かな感性と教養を身につけ、自ら問題解決にあたることができる

1年

| 期 | 科目名 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | |
|------------------|------------------|-----------|---|---|---|---|---|
| 一般 教育 科目 | 仏教学 | | | | | ○ | |
| | 心理学 | | | | | ○ | |
| | 情報処理 I | | | | | ○ | |
| | 英語 I | | | | | ○ | |
| | 後期 | 法学（日本国憲法） | | | | | ○ |
| | 英語 II | | | | | ○ | |
| 専門 科目 | 前期 | 保育と健康 | ○ | ◎ | | | |
| | 保育と人間関係 | ○ | ◎ | | | | |
| | 保育と環境 | ○ | ◎ | | | | |
| | 保育内容の指導法（造形表現） | ◎ | ○ | | | | |
| | 保育内容の指導法（身体表現） | ◎ | ○ | | | | |
| | 教育原理・教育制度論 | ○ | ◎ | | | | |
| | 教育実習研究 | ◎ | ○ | | | | |
| | 保育原理 | ○ | ◎ | | | | |
| | 社会福祉 | | ◎ | | ○ | | |
| | こどもの保健 | ◎ | ○ | | | | |
| | こどもと音楽（うた） | ◎ | | | | ○ | |
| | 国語表現法 | | | | | ○ | |
| | 保育教材研究 I（表現/アター） | ◎ | | | | ○ | |
| | 保育実習研究 I | ◎ | ○ | | | | |
| | 基礎演習 | | | ○ | | ◎ | |
| | 後期 | 保育と言葉 | ◎ | ○ | | | |
| | 保育と表現 | ◎ | ○ | | | | |
| | 保育内容の指導法（健康） | ○ | ◎ | | | | |
| | 心身の発達と学習過程 | ○ | ◎ | | | | |
| | 教育課程・保育の計画と評価 | ◎ | ○ | | | | |
| 教育の方法と技術 I（音楽） | ◎ | | | | ○ | | |
| 教育の方法と技術 III（運動） | ◎ | | | | ○ | | |
| 教育実習研究 | ◎ | ○ | | | | | |
| 教育実習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| こども家庭福祉 | | ◎ | | ○ | | | |
| 社会的養護 I | | ◎ | | ○ | | | |
| こどもの理解と援助 | ○ | ◎ | | | | | |
| 乳児保育 I | ◎ | ○ | | | | | |
| 保育教材研究 II（あそび歌） | ◎ | | | | ○ | | |
| レクリエーション実技 | | | | ○ | | | |
| 保育実習研究 I | ◎ | ○ | | | | | |
| 保育実習 I | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 通年 | こどもと音楽（ピアノ I） | ◎ | | | | ○ | |

2年

| 期 | 科目名 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | |
|-----------------------|---------------------|----------------|---|---|---|---|--|
| 一般 教育 科目 | 前期 | 美術 | | | | ○ | |
| | 情報処理 II | | | | | ○ | |
| | 体育実技 | | | | | ○ | |
| | 後期 | 文学 | | | | ○ | |
| | 体育理論 | | | | | ○ | |
| 専門 科目 | 前期 | 保育内容の指導法（人間関係） | ◎ | ○ | | | |
| | 保育内容の指導法（環境） | ○ | ◎ | | | | |
| | 特別支援教育 I（障がい児保育含む） | ◎ | ○ | | | | |
| | 教育方法論 III（生涯学習論） | | | ○ | ◎ | ○ | |
| | 教育実習研究 | ◎ | ○ | | | | |
| | 教育実習 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 仏教保育論 | | | ○ | | ◎ | |
| | 乳児保育 II | ◎ | ○ | | | | |
| | こどもの健康と安全 | ◎ | ○ | | | | |
| | こどもと音楽（ピアノ II） | ◎ | | | | ○ | |
| | 保育教材研究 III（防災と危機管理） | | | ○ | ◎ | ○ | |
| | 総合表現 I | ◎ | | | | ○ | |
| | 保育実習研究 II | ◎ | ○ | | | | |
| | 保育実習 II | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 保育実習研究 III | ◎ | ○ | | | | |
| | 保育実習 III | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 後期 | 保育内容総論 | ◎ | ○ | | | |
| | 保育内容の指導法（言葉） | ○ | ◎ | | | | |
| | 保育者論 | ○ | ◎ | | | | |
| | 特別支援教育 II（障がい児保育含む） | ◎ | ○ | | | | |
| 教育方法論 II（コンピュータリテラシー） | | | | | ○ | | |
| 教育の方法と技術 II（造形） | ◎ | | | | ○ | | |
| 幼児理解と教育相談 | ○ | ◎ | | | | | |
| 保育・教職実践演習（幼稚園） | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 福祉と人権 | | | | | ○ | | |
| こども家庭支援論 | | ◎ | | ○ | | | |
| こども家庭支援の心理学 | | ◎ | | ○ | | | |
| 社会的養護 II | | ◎ | | ○ | | | |
| 子育て支援 | | ◎ | | ○ | | | |
| 総合表現 II | ◎ | | | | ○ | | |
| レクリエーション理論 | | | | | ○ | | |
| 手話コミュニケーション | ○ | | | ◎ | | | |
| 通年 | こどもの食と栄養 | ◎ | ○ | | | | |

◎：DP達成と特に密接な関連がある

○：DP達成と密接な関連がある

空欄：DP達成と関連がある

| | | | | | |
|---|-----------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 文学 (I A 2) | | | 講義 | 中野真樹 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 2単位 | — | — | — | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | レポート | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 40% | 40% | — | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書なし 参考書『幼稚園教育要領解説』(文部科学省・2018)『保育所保育指針解説』(厚生労働省・2018)『幼保連携認定こども園教育・保育要領』(文部科学省, 厚生労働省・2018) 教材 適宜配布する | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

児童文学・児童文化財には民話・昔話や童話を原作とするものが多くある。さまざまな時代・地域に伝えられた伝承文学とそれに連なる児童文学をとりあげ、普遍的な「物語」の枠組みやその伝承方法について知ることで、作品への理解を深めていく。また、文学という観点から児童文化財について考察していく。授業は講義を中心にグループワーク、地域の伝承文学についてのフィールドワークを実施する。

【フィードバックの方法】

授業期間中に1回のレポートの提出を課し、授業時に返却してフィードバックを行う。

【授業の到達目標】

- ・物語の普遍的な枠組みや構造を知り、児童文学の歴史や伝承について理解し説明できるようになる。
- ・児童文学の解釈を通して児童文化財における児童文学の役割を学び教材研究ができるようになる。

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | | 準 備 学 習 時 間 |
|---------|---------------------------|---------------------------|-------|-------------|
| 1 | オリエンテーション 文学と物語について | 予習) 文学と物語とはなにかを考える。 | 1.0時間 | |
| | | 復習) 物語の意義をまとめる | 3.0時間 | |
| 2 | こどもと文学 | 予習) 要領・指針から文学に関連する記述を調べる | 2.0時間 | |
| | | 復習) 児童文学として有名な物語をまとめる | 2.0時間 | |
| 3 | 物語の構造と類型 | 予習) 物語のあらすじを調べ、まとめる | 2.0時間 | |
| | | 復習) 物語の構造分析・類型化をまとめる | 2.0時間 | |
| 4 | 伝承文学としての民話・昔話 | 予習) 伝承文学について調べる | 2.0時間 | |
| | | 復習) 絵本・民話集などを読み比べまとめる | 2.0時間 | |
| 5 | 物語の伝承とバリエーション、カノン化と翻案 | 予習) 小学校国語教科書の昔話を調べる | 1.0時間 | |
| | | 復習) 小学校国語教科書での昔話のあつかいを調べる | 3.0時間 | |
| 6 | 児童文化財と児童文学 | 予習) 児童文学と児童文化財について調べる | 2.0時間 | |
| | | 復習) 児童文学の種類をまとめる | 2.0時間 | |
| 7 | 児童文学の解釈 (1) 鑑賞と構造分析 | 予習) 解釈をしたい物語を選び、精読する | 2.0時間 | |
| | | 復習) 選択した物語の構造分析をする | 2.0時間 | |
| 8 | 児童文学の解釈 (2) 物語を再構成する | 予習) 選択した物語の翻案について考察する | 2.0時間 | |
| | | 復習) 選択した物語を再構成する | 2.0時間 | |
| 9 | 児童文学の解釈 (3) 教材研究・作成 | 予習) 選択した物語の保育活動への活用法を考える | 2.0時間 | |
| | | 復習) 保育活動での活用を前提とした物語を作成する | 2.0時間 | |
| 10 | 児童文学の解釈 (4) 出版と印刷 レポート課題 | 予習) 物語の出版形態を見て種類をまとめる | 2.0時間 | |
| | | 復習) 手作り絵本の作成手順をまとめる | 2.0時間 | |
| 11 | フィールドワーク 地域の伝承と歴史建造物 | 予習) 地域の伝承について調べる | 2.0時間 | |
| | | 復習) フィールドワークの結果をノートにまとめる | 2.0時間 | |
| 12 | こどもの口承・言い伝え | 予習) 子どものころの替え歌などを書き出す | 2.0時間 | |
| | | 復習) 地域ごとの口承の違い等を調べる | 2.0時間 | |
| 13 | 児童文学とメディア | 予習) 映像作品化している物語をまとめる | 2.0時間 | |
| | | 復習) 映像化の際の工夫などを考えまとめる | 2.0時間 | |
| 14 | 児童文学の歴史 | 予習) 児童文化財の歴史について調べる | 2.0時間 | |
| | | 復習) 主要な児童文学の受容の歴史をまとめる | 2.0時間 | |
| 15 | まとめ 文学の役割とはなにか、レポートの講評・返却 | 予習) これまでの授業を復習する | 2.0時間 | |
| | | 復習) レポートの修正 | 2.0時間 | |

担当者からのメッセージ

物語に親しみ、解釈をすることで自分自身について説明する力もついていきます。予習・復習を通して多くの物語に触れてみてください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜日の5コマ目です。

| | | | | | |
|--|-----------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 美術 (I A 3) | | | 講義 | 茂木克浩 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 2単位 | — | — | — | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | レポート | 提出物 | 授業態度 | |
| — | 10% | 25% | 50% | 15% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書なし 参考書 「ART SINCE 1900: 図鑑 1900年以後の芸術」岡崎信一郎ほか 東京書籍・「増補新装 カラー版 西洋美術史」高階秀爾 美術出版社 その他、内容に合わせて適宜紹介する 教材 ポートフォリオ用ファイル(詳細は1回目の授業で説明します)・適宜授業内で連絡する | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

本授業では、現代に生きる私達にとってアート(美術)とはどのような意味をもつものなのかという問いに対して自らの考えをもつことを目指す。授業では美術史の大まかな流れを掴んだ後、現代におけるアートの役割について検討する。講義で基本的な知識をおさえたのち、ミニ展覧会を企画するという課題を通して自らが考えるアートの意味を発表してもらう。

【フィードバックの方法】

レポートや各課題について、授業内でアドバイスと解説を行う。

【授業の到達目標】

- ・美術の大まかな歴史の流れについて説明できる。
- ・現代におけるアートの意味について自らの考えを多様な視点から説明することができる。

【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、美術の専門的な学びを計画していく。(茂木)

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | | 準備学習時間 |
|------|-------------------------|-------------|----------------------|--------|
| 1 | アートとは何か | 予習 | アートの定義について調べる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 2 | 西洋美術の歴史を概観するー古代から中世ー | 予習 | 古代から中世の美術について調べる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 3 | 西洋美術の歴史を概観するールネサンス・ロココー | 予習 | ルネサンスとロココの美術について調べる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 4 | 西洋美術の歴史を概観するー近代ー | 予習 | 近代の美術について調べる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 5 | 西洋美術の歴史を概観するー現代ー | 予習 | 現代の美術について調べる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 6 | 日本美術の歴史を概観するー仏教美術ー | 予習 | 仏教美術について調べる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 7 | 日本美術の歴史を概観するー江戸美術ー | 予習 | 江戸時代の美術について調べる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 8 | 現代におけるアートの役割① | 予習 | デザインとアートの共通点と相違点を調べる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 9 | 現代におけるアートの役割② | 予習 | パブリック・アートについて調べる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 10 | 現代におけるアートの役割③ | 予習 | アウトサイダー・アートについて調べる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 11 | 美術展をつくろう① | 予習 | オリジナルの美術展の企画を考える | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 12 | 美術展をつくろう② | 予習 | オリジナルの美術展の準備をする | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 13 | 美術展をつくろう③ | 予習 | オリジナルの美術展の資料をまとめる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 14 | 美術展をつくろう④ | 予習 | オリジナルの美術展の発表準備をする | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |
| 15 | 美術展レポート発表 | 予習 | 自分が調べた美術展についてまとめる | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.5時間 |

担当者からのメッセージ

アート(美術)について各回のキーワードを切り口に考えていきましょう。美術が好きなのはもちろん、苦手意識がある人や今まで興味がなかった人も大歓迎です。どこか遠い世界だと思っていたアートの世界が身近に感じられるかもしれませんよ。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜4コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|--|----------------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 情報処理Ⅱ (Y I C 2) | | | 演習 | 采澤陽子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | — | ○ | — | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | 課題 | 実技 | 発表 | 授業態度 | |
| — | 70% | 30% | — | — | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書なし 参考書 保育者のためのパソコン講座 ((株) 萌文書林 2000円+税) 教材 適宜配布 | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

情報処理Ⅰで習得した知識・技術・能力等を応用し、保育の現場で使われている資料の作成、データの見方や基本的な考え方、自分でグラフを作成するなどができるようになることを目的とする。使用するデータは、幼稚園や保育園、認定こども園などから頂いた実データを基にする。また、課題に取り組む際には、情報モラルについて常に意識する。ICTを活用した実践的知識とスキルの向上を、演習を通して習得する。授業形態は演習を中心とする。

【フィードバックの方法】

情報処理Ⅰに引き続き、毎時間初めに前回の復習を兼ねた確認技術テストを行う形でフィードバックを行う。

【授業の到達目標】

- ・園だよりや運動会プログラム等、実践に近い文書デザインを作成することができるようになる。
- ・統計的分析やグラフを作成することができるようになる。
- ・保育に必要な情報を収集分析することができるようになる。

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | | 準備学習時間 |
|------|---|-----------------------|--|--------|
| 1 | オリエンテーション タッチタイピング、Wordの復習ービジネス文書作成ー | 予習) Word技術の復習 | | 0.5時間 |
| | | 復習) Word技術の復習 | | 1時間 |
| 2 | 情報検索ー必要な情報の検索方法ー | 予習) 就職を見据えた情報収集 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 収集した情報の確認 | | 1時間 |
| 3 | Wordの復習(1)ービジネス文書作成、表作成ー | 予習) Word技術の復習 | | 0.5時間 |
| | | 復習) Word技術の復習 | | 1時間 |
| 4 | Wordの復習(2)ービジネス文書作成、図形描画ー | 予習) タイピング練習 | | 0.5時間 |
| | | 復習) Word技術の復習 | | 1時間 |
| 5 | Wordの応用(1)ー園だより作成1ー | 予習) 色々なパターンの園だよりを見つける | | 0.5時間 |
| | | 復習) 文書体裁の整え方を練習 | | 1時間 |
| 6 | Wordの応用(2)ー園だより作成2ー | 予習) 文書体裁の整え方を練習 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 文書体裁の整え方を練習 | | 1時間 |
| 7 | Wordの応用(3)ー指導案作成1ー | 予習) 指導案の内容を考える | | 0.5時間 |
| | | 復習) 文書体裁の整え方を練習 | | 1時間 |
| 8 | Wordの応用(4)ー指導案作成2ー | 予習) 指導案の内容を考える | | 0.5時間 |
| | | 復習) 文書体裁の整え方を練習 | | 1時間 |
| 9 | Wordの応用(5)ー運動会プログラム作成ー | 予習) 色々な運動会のプログラムを見つける | | 0.5時間 |
| | | 復習) 文書体裁の整え方を練習 | | 1時間 |
| 10 | Excelの基本操作(1)ーワークシートの見方、連続データ入力ー(表形式のデータ) | 予習) Excelのできることをまとめる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 連続データを使ってカレンダーを作る | | 1時間 |
| 11 | Excelの基本操作(2)ーデータの入力、計算方法ー(データの集計、並べ替え、ランキング 他) | 予習) 高校までの数学の復習 | | 0.5時間 |
| | | 復習) Excelでお小遣い帳を作る | | 1時間 |
| 12 | Excelの基本操作(3)ー関数、統計ー(データの種類、調査データ) | 予習) 関数や統計について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業内で行ったデータの再確認 | | 1時間 |
| 13 | Excelの基本操作(4)ー表作成、グラフ作成ー(データ可視化、データ表現、データの図表表現 他) | 予習) 表やグラフの見方をまとめる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 表やグラフを作る | | 1時間 |
| 14 | Excelの基本操作(5)ーデータベース機能、データ処理ー(データのオープン化、統計情報の正しい理解) | 予習) データベースについて調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) データベース機能を使ってみる | | 1時間 |
| 15 | まとめと振り返り | 予習) 数学の復習 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 学んだ技術の振り返り | | 1時間 |

担当者からのメッセージ

保育の現場で生かせる教材やデータを繰り返し作成していきますので、一つでも多くの技術を習得しましょう。
【オフィスアワー】授業終了後の休み時間内です。質問は「manaba」でも受け付けます。

| | | | | | |
|---|-----------------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 体育理論 (Y H I E 1) | | | 講義 | 丸山陽介 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | ○ | ○ | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 20% | 50% | — | 30% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書なし 参考書「体育理論」慶応大体育研究所 「体力テストの方法と活用」日本体育協会 教材プリント配布 | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

人は、長い進化の過程で獲得してきた形質や受け継がれてきたもの、あるいは失ってきたもの等を複雑に加味し存在している。

幼児教育を学ぶ学生として、自身の体力・健康とこどもの身体運動のしくみや心身の発達についても学んでいく。

授業は講義を中心として、演習を適宜取り入れ、それをもとにディスカッションやグループワークを適宜行う。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・運動に関して、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

人の運動行動や身体機能の動きを説明できるようになる。

体力・健康について理解し、説明できるようになる。

【実務経験】

A S I 公認スポーツ指導者、日本発育発達学会認定幼少年体育指導士、J F A 公認D級・4級審判の資格を持つ教員のもと運動の実施方法を学修する。

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | 準備学習時間 |
|------|---------------------------------------|----------------------|--------|
| 1 | 体力とは(1) 体力の概念と構造について | 予習) 体力について調べる | 1時間 |
| | | 復習) 体力とその構造についてまとめる | 2時間 |
| 2 | 体力とは(2) 測定の方法と評価について | 予習) 体力の測定方法を調べる | 1時間 |
| | | 復習) 方法と評価についてまとめる | 2時間 |
| 3 | 健康とは? 健康の概念について | 予習) 健康について調べる | 1時間 |
| | | 復習) 健康の概念についてまとめる | 2時間 |
| 4 | 運動で期待できる効果について 身体運動と発達について、形態・機能など | 予習) 身体運動の効果について調べる | 1時間 |
| | | 復習) 身体運動の効果についてまとめる | 2時間 |
| 5 | 運動で期待できる効果について 感情と発達について、自己概念と運動など | 予習) 精神的効果について調べる | 1時間 |
| | | 復習) 運動と感情についてまとめる | 2時間 |
| 6 | 運動で期待できる効果について 社会性の発達と運動について | 予習) 社会的効果について調べる | 1時間 |
| | | 復習) 運動と社会性についてまとめる | 2時間 |
| 7 | 生活と運動について 基本的生活習慣の発達と運動について | 予習) 基本的生活習慣について調べる | 1時間 |
| | | 復習) 生活と運動の関係についてまとめる | 2時間 |
| 8 | 安全管理について まとめ | 予習) 安全管理について調べる | 1時間 |
| | | 復習) 習得できているかを確認する | 2時間 |

担当者からのメッセージ

人の身体(体力・健康)について理解を深めるとともに、特に保育者になる学生は、成長発達についても一緒に考えましょう。

【オフィスアワー】授業終了後の休み時間

| | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|---------|-------|------|--------------------------------------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年通年 | 体育実技 (Y H I E 2) | | | 実技 | 丸山陽介 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 なし 参考書 なし 教材 適宜配布 |
| 1単位 | ○ | ○ | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 10% | 10% | 30% | 50% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

各種運動の特性を学ぶ。また、運動を通して仲間との協力、心身の解放感、ノンバーバルなコミュニケーション能力を高める。そして、改善のために生涯にわたり身体運動を楽しみ、その意味付けが出来るような基礎を、実際に身体を動かしながら学ぶ。

身体動作について、随時フィードバック（講評と指導助言）しながら実技形式で授業を展開する。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・運動に関して、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

- ・身体の動きを知り、実践を通して捉えることができる。
- ・コミュニケーション能力を高めるとともに、準備から片付けまでを率先して行うことができる。

【実務経験】

A S I 公認スポーツ指導者、日本発育発達学会認定幼少年体育指導士、J F A 公認D級・4級審判の資格を持つ教員のもと運動の実施方法を学修する。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|--|-------------|---------------------|--------|
| 1 | ガイダンス 授業内容、方法について コミュニケーションゲームなど | 予習 | 体力とその保持増進について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 授業の進め方（準備運動）を確認する | 1.5時間 |
| 2 | バレーボール（1） 基礎技能の習得 パスやサービス | 予習 | バレーボールの基礎技能について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 基礎技能の振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 3 | バレーボール（2） 基礎技能の習得 パスやサービス | 予習 | バレーボールの基礎技能について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 基礎技能の振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 4 | バレーボール（3） グループによる基礎練習と応用、簡易ゲーム | 予習 | バレーボールの集団的技能について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 集団的技能の振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 5 | バレーボール（4） 応用技術 ゲームの実践 | 予習 | バレーボールのルールについて調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | ゲームの振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 6 | バドミントン（1）基礎技能の習得 クリヤー、ドロップ、ドライブ、ヘアピン等 | 予習 | バドミントンの基礎技能について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 基礎技能の振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 7 | バドミントン（2）基礎技能の習得 クリヤー、ドロップ、ドライブ、ヘアピン等 | 予習 | バドミントンの基礎技能について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 基礎技能の振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 8 | バドミントン（3）応用技能 サービス ルール ゲームの進め方 | 予習 | バドミントンの応用技能について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 応用技能の振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 9 | ミニサッカー（1）基礎技能の習得 キック、パス練習 | 予習 | サッカーの基礎技能について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 基礎技能の振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 10 | ミニサッカー（2）応用技能の習得 連携、攻撃等の練習 | 予習 | サッカーの応用技能について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 集団的技能の振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 11 | ミニサッカー（3）応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践 | 予習 | サッカーの試合運びについて調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | ゲームの振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 12 | ミニサッカー（4）応用技能の習得 簡易ゲーム練習 ゲームの実践 | 予習 | サッカーの試合運びについて調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | ゲームの振り返りとまとめをする | 1.5時間 |
| 13 | レクリエーションの運動（1） | 予習 | レクリエーション運動について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 実施した運動の内容についてまとめる | 1.5時間 |
| 14 | レクリエーションの運動（2） | 予習 | レクリエーション運動について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 実施した運動の内容についてまとめる | 1.5時間 |
| 15 | 陸上競技系の運動： 幼児体育につながる陸上運動 かけっこ、リレーなど | 予習 | 走競技と走運動について調べる | 1.5時間 |
| | | 復習 | 陸上競技系の運動についてまとめる | 1.5時間 |

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | | 準備学習時間 |
|---------|------------------------------------|-----------------------|--------------|--------|
| 16 | 器械運動： 幼児体育につながる器械運動 マット運動など | 予習) | 器械運動の種類を調べる | 1.5時間 |
| | | 復習) | 器械運動についてまとめる | 1.5時間 |
| 17 | 器械運動： 幼児体育につながる器械運動 マット運動など | 予習) | 器械運動の種類を調べる | 1.5時間 |
| | | 復習) | 器械運動についてまとめる | 1.5時間 |
| 18 | 器械運動： 幼児体育につながる器械運動 跳び箱運動など | 予習) | 器械運動の種類を調べる | 1.5時間 |
| | | 復習) | 器械運動についてまとめる | 1.5時間 |
| 19 | 器械運動： 幼児体育につながる器械運動 跳び箱運動など | 予習) | 器械運動の種類を調べる | 1.5時間 |
| | | 復習) | 器械運動についてまとめる | 1.5時間 |
| 20 | 器械運動： 幼児体育につながる器械運動 鉄棒運動など | 予習) | 器械運動の種類を調べる | 1.5時間 |
| | | 復習) | 器械運動についてまとめる | 1.5時間 |
| 21 | 器械運動： 幼児体育につながる器械運動 鉄棒運動など | 予習) | 器械運動の種類を調べる | 1.5時間 |
| | | 復習) | 器械運動についてまとめる | 1.5時間 |
| 22 | 器械運動： 幼児体育につながる器械運動 平均台運動など | 予習) | 器械運動の種類を調べる | 1.5時間 |
| | | 復習) | 器械運動についてまとめる | 1.5時間 |
| 23 | 器械運動： 幼児体育につながる器械運動 ボール・フープ運動など | 予習) | 器械運動の種類を調べる | 1.5時間 |
| | | 復習) | 器械運動についてまとめる | 1.5時間 |

担当者からのメッセージ

保育者にとって大切な「体力」に関して、楽しく身体を動かしながら学び、運動やスポーツの方法とルールを理解するとともに、個人的技能や集団的の技能、スポーツとコミュニケーションについて考えてみよう。

【オフィスアワー】 授業終了後の休み時間

| | | | | | |
|--|--------------------------|---------|-------|------|---------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 保育内容総論 (Y H II A 1) | | | 演習 | 佐々木 由美子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | ○ | ○ | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 模擬保育 | 発表 | 課題 | |
| 50% | 10% | 10% | 10% | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布する | | | | | |

授業概要

【授業内容・方法】

この授業は、これまでに学んできた各領域に関する知識や実践で得た内容を振り返りながら、総合的に保育を捉えて学ぶことを目的とする。保育に関する専門家として、この授業における学びを実践の保育の場で生かせるよう、演習の前提となる講義を行うとともに、事例検討や調べ学習・発表・模擬保育を行って考えを深める。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー及び発表・模擬保育については授業の中でフィードバックする。課題はmanabaのレポート機能を使用して、フィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・保育所保育指針における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期に育ってほしい10の姿」と「保育内容」の関連を理解し、説明できる。
- ・保育の全体的な構造を理解し、説明できる。
- ・保育内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実態に即した具体的な保育の過程につなげて理解し、説明できる。
- ・保育の多様な展開について具体的に理解し、説明できる。

【実務経験】

保育士として子育てで支援に関わった経験を生かして、保育内容について実践的に授業を行う。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|---------------------------------|-------------|--------------------|--------|
| 1 | オリエンテーション 保育のあるべき姿 | 予習) | シラバスにて授業内容・到達目標を把握 | 0.5時間 |
| | | 復習) | 現在の自分の保育観をまとめる | 1時間 |
| 2 | 保育の全体構造と保育内容① 3つの視点と5領域 | 予習) | 3つの視点と5領域を整理 | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内の課題について考察 | 1時間 |
| 3 | 保育の全体構造と保育内容② 10の姿と幼小接続 | 予習) | 10の姿について整理 | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内の課題について考察 | 1時間 |
| 4 | 保育の全体構造と保育内容③ 養護と教育が一体となった保育 | 予習) | 養護と教育について整理 | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内の課題について考察 | 1時間 |
| 5 | 子どもの発達と保育内容 同年齢か・異年齢か (発表) | 予習) | 発表に備え資料作り | 2時間 |
| | | 復習) | 発表内容の考察 | 1時間 |
| 6 | 遊びによる総合的な保育 内容から・ねらいから (発表) | 予習) | 発表に備え資料作り | 2時間 |
| | | 復習) | 発表内容の考察 | 1時間 |
| 7 | 子どもの主体性と保育 自由保育・一斉保育 (発表) | 予習) | 発表に備え資料作り | 2時間 |
| | | 復習) | 発表内容の考察 | 1時間 |
| 8 | 個と集団の発達を踏まえた保育 全員参加・個人の自由 (発表) | 予習) | 発表に備え資料作り | 2時間 |
| | | 復習) | 発表内容の考察 | 1時間 |
| 9 | 長時間保育の賛否 (発表) | 予習) | 発表に備え資料作り | 2時間 |
| | | 復習) | 発表内容の考察 | 1時間 |
| 10 | 保育内容における遊びー遊びの定義と意義 | 予習) | 遊びの意義について下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内の課題について考察 | 1時間 |
| 11 | 保育内容における遊びー教材を生かす | 予習) | 子どもの遊びについて下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内の課題について考察 | 1時間 |
| 12 | 保育現場が抱える課題ー保育者に求められること | 予習) | 保育現場の課題を整理する | 0.5時間 |
| | | 復習) | エンパワメントについてまとめる | 1時間 |
| 13 | 保育の計画と評価ー指導案を書く | 予習) | 指導案の書き方を復習 | 0.5時間 |
| | | 復習) | 月案の作成 | 1時間 |
| 14 | 模擬保育 | 予習) | 模擬保育について考える | 1時間 |
| | | 復習) | 模擬保育の指導案を作成する | 1時間 |
| 15 | 模擬保育 振り返り | 予習) | 模擬保育の練習 | 1時間 |
| | | 復習) | 模擬保育の振り返り | 1時間 |

担当者からのメッセージ

保育内容の集大成となる学びですので、自分の保育観を省察しましょう。双方向的授業になるよう積極的に授業に参加してください。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|-----------------------------|---------|-------|---|-----|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 保育内容の指導法(人間関係) (YHIIA8#) | | | 演習 | 西敏郎 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | 教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成30年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成30年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成30年3月告示 文部科学省・厚生労働省) | |
| 1単位 | ○ | ○ | ○# | 教材 適宜配付 | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 20% | 60% | — | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】
「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」に記載されている「人間関係」と他領域の関連性を解説しながら、事例を踏まえ、総合的に保育を捉える力の習得を目指す。また模擬保育やディスカッションも行いながら、保育内容を深めていく。

【フィードバックの方法】
リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

- ・事例研究を通して、子どもの人間関係を考察する力を養い、自分の意見を述べるができる。
- ・ディスカッションを通して、他者の意見の尊重や、これまで持っていなかった視点の獲得をする。
- ・保育内容・技術を高めるための創意工夫ができる。

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | | 準備学習時間 |
|------|--------------------------------|--|--|----------------|
| 1 | 授業の概要(到達目標・留意事項 本講座の全体的な流れ)の説明 | 予習) シラバスの授業内容・到達目標を把握 復習) 今後の授業内容についてまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 2 | 教育・保育要領にみる「人間関係」 | 予習) 上記、参考書を熟読し理解する 復習) 授業の内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 3 | 「人間関係」の「ねらい」や「内容」について | 予習) 上記、参考書を熟読し理解する 復習) 授業の内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 4 | 子どもの人とのかかわりの発達① 3歳未満児を中心に | 予習) 事前配付資料を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 5 | 子どもの人とのかかわりの発達② 3歳以上児を中心に | 予習) 事前配付資料を読み考察する 復習) 授業の内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 6 | 事例研究「遊びと人とのかかわり①」 | 予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 7 | 事例研究「遊びと人とのかかわり②」 | 予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 8 | 事例研究「人とのかかわりが難しい子どもへの支援①」 | 予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 9 | 事例研究「人との関わりが難しい子どもへの支援②」 | 予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 10 | 事例研究「生活を通しての人とのかかわり」 | 予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 11 | 事例研究「個と集団のかかわり」 | 予習) 事前配付の事例を読み考察する 復習) ディスカッションの内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 12 | 領域「人間関係」を育むための保育実践① | 予習) 保育実践の為の準備を行う 復習) ディスカッションの内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 13 | 領域「人間関係」を育むための保育実践② | 予習) 保育実践の為の準備を行う 復習) ディスカッションの内容をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |
| 14 | 全体のまとめ①(レポート提出) | 予習) これまでの内容をまとめる 復習) レポート作成 | | 0.5時間 0.5時間 |
| 15 | 全体のまとめ② 振り返り | 予習) これまでの内容をまとめる 復習) レポート添削の結果をまとめる | | 0.5時間 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

子ども達の動きや言葉の表層的な部分だけではなく、その深層部にまで思考と考察が到達できるようになることを期待します。また、そこから保育の面白さや、やりがい、責任の重さなども気づいてもらいたいと思っています。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは火曜日5コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

| | | | | | | |
|-----------------------|-------------------------------|---------|------------|--|---------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 | |
| 2年前期 | 保育内容の指導法（環境） 〈 Y H I A 9 〉 | | | 演習 | 佐々木 由美子 | |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | 教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」（平成29年3月告示 文部科学省）・「保育所保育指針解説書」（平成29年3月告示 厚生労働省）・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省） 教材 適宜資料を配布する | | |
| 1単位 | ○ | ○ | ○ | | | |
| 評価方法・基準 | | | | | | |
| 定期試験 | 模擬保育 | 課題 | リアクションペーパー | | | 授業態度 |
| 50% | 10% | 10% | 20% | 10% | | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | | |

授業概要

【授業内容・方法】

この授業では、園での日常生活の中で子どもたちが接する環境について理解を深め、探究する心を育てるように魅力的で安全な環境を構成する能力を養う。保育者としての実践的な技能と豊かな知識を身に付けるため、講義を中心としつつ必要に応じて適宜視聴覚教材や演習も取り入れ、グループワークや模擬保育を行う。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー、模擬保育に関しては授業の中でフィードバックし、共有する。課題は授業で解説する。

【授業の到達目標】

- ・乳幼児にとっての環境の特性を知り、遊びを通して主体的に活動できる環境とは何かを理解し、説明できる。
- ・自分自身が周囲の身近な環境に対して興味関心を持ち、情報機器等を活用して教材作成ができ、環境を通じた実践的な援助と支援を行うことができる。
- ・幼児を取り巻く環境や、幼児と環境との関わりについての専門的事項について理解し説明できる。

【実務経験】

保育士としての実務経験を生かし、環境を通じた保育について考える。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|---------------------------|-------------|---------------------|--------|
| 1 | 授業概要 私たちを取り囲むもの | 予習 | シラバスにて授業内容・到達目標を把握 | 0.5時間 |
| | | 復習 | 環境システムについてまとめる | 1時間 |
| 2 | 保育における「環境」とは「ねらい」と「内容」の理解 | 予習 | 環境の「ねらい」と「内容」を確認する | 0.5時間 |
| | | 復習 | 3歳以上と未満の内容の違いをまとめる | 1時間 |
| 3 | 環境の要素としての 人、物、自然、社会 | 予習 | 環境の4要素の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習 | 野菜・果物の旬を調べる | 1時間 |
| 4 | 教材研究：自然環境 身近な自然を体験する | 予習 | 織姫山について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 教材を完成させる | 1時間 |
| 5 | 園の環境 | 予習 | 園環境の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習 | DVD課題を完成させる | 1時間 |
| 6 | 教材研究：物的環境 遊具やおもちゃについて知る | 予習 | 小麦粉粘土の作り方の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習 | 製作遊びに使う道具の特徴をまとめる | 1時間 |
| 7 | ものの性質や仕組みに気づく | 予習 | 浮沈子の作り方の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習 | 目に見えないものを感じる遊びをまとめる | 1時間 |
| 8 | 社会的環境（1）年間行事と地域社会との触れ合い | 予習 | 鬼お面の作り方の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習 | 年間行事にかかわる絵本を見つけて読む | 1時間 |
| 9 | 社会的環境（2）多文化との関わり | 予習 | 日本在住の外国人人口について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 多文化学校プロジェクトのサイトを確認 | 1時間 |
| 10 | 教材研究：情報機器を活用した教材作成 | 予習 | お菓子箱工作の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習 | 子どもが情報機器を使う是非を考える | 1時間 |
| 11 | 子どもと環境のかかわりをとらえる視点 | 予習 | 子どもにとっての環境の役割をまとめる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 教材研究を行う | 1時間 |
| 12 | 園の模擬環境及び模擬保育 指導案作成 | 予習 | 模擬保育で行う活動を考える | 0.5時間 |
| | | 復習 | 指導案を完成させる | 1時間 |
| 13 | 園の模擬環境及び模擬保育 発表 | 予習 | 模擬保育の練習 | 0.5時間 |
| | | 復習 | 模擬保育の振り返り | 1時間 |
| 14 | 園の模擬環境及び模擬保育 発表 | 予習 | 模擬保育の練習 | 0.5時間 |
| | | 復習 | 模擬保育の振り返り | 1時間 |
| 15 | 園の模擬環境及び模擬保育 発表 振り返り | 予習 | 模擬保育の練習 | 0.5時間 |
| | | 復習 | 振り返りシートを完成させる | 1時間 |

担当者からのメッセージ

子ども達がワクワクするような環境作りを一緒に考えていきましょう。
【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
|-----------------------|---------------------------------|---------|-------|--|-----------------|
| 2年後期 | 保育内容の指導法（言葉） 〈 Y H I A I O 〉 | | | 演習 | 中野真樹 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | 教科書 『保育内容「言葉」と指導法 子どもの心のことばに耳を澄ませて』（朗文書林・2025・2000円＋税） | |
| 1単位 | ○ | ○ | ○ | 参考書 『幼稚園教育要領解説』（文部科学省・2018）『保育所保育指針解説』（厚生労働省・2018）『幼保連携認定こども園教育・保育要領』（内閣府・2018） | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | 発表 | 課題 | 実技 | 授業態度 | 教材 適宜資料を配布する |
| 30% | 40% | 20% | — | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

「保育と言葉」で学習した子どもの言語獲得・言語発達をふまえ、幼稚園教育要領および保育所保育指針のなかの領域「言葉」についての理解を深め、実際の保育の場での保育者の子どもの言葉の育ちを豊かにするための環境づくりや活動方法などを実践的に学んでいく。授業は講義を中心とし、理解を深めるために視聴覚教材やグループワークを取り入れる。

【フィードバックの方法】

模擬保育等の演習発表を行い、授業中に内容の振り返りとフィードバックを行う。定期試験を実施し、評価をして返却をする。

【授業の到達目標】

- ・領域「言葉」のねらい及び内容を理解し、幼児が経験したことをもとに領域「言葉」において身に付けていく内容および小学校の言葉にかかわる教科等とのつながりを説明できる。
- ・領域「言葉」にかかわる生活や社会の特色について学び、実際の保育を想定した援助方法について理解し、それに即した指導案を作成することができる。
- ・幼児の言葉の獲得や発達について理解し、情報機器および教材を活用した保育を計画し、模擬保育等を行い改善していく実践的な方法を身に付ける。

【実務経験】

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習（予 習・復 習） | 準 備 学 習 時 間 |
|---------|------------------------------------|---|----------------|
| 1 | オリエンテーション 保育における言葉の意義と役割 | 予習) 「保育と言葉」の内容を復習する 復習) 言葉の意義と役割をまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 2 | 保育における領域「言葉」における「ねらい」及び「内容」について | 予習) 要領・指針の領域「言葉」を読む 復習) 要領・指針の領域「言葉」についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 3 | 子どもの言葉の発達と社会環境の関連について | 予習) 子どもの言葉の発達と環境について考える 復習) 環境や社会の言葉への影響についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 4 | 領域「言葉」から小学校関連科目へのつながりについて | 予習) 小学校学習指導要領国語編を読む 復習) 接続プログラムについてまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 5 | 言葉の発達と環境構成 (1) 伝え合う大切さと楽しさについて | 予習) 言語の伝達機能について考える 復習) 伝えあいのための保育活動を考える | 0.5時間 0.5時間 |
| 6 | 言葉の発達と環境構成 (2) 生活とコミュニケーション | 予習) コミュニケーションの大切さを考える 復習) コミュニケーションによる保育活動を考える | 0.5時間 0.5時間 |
| 7 | 言語の発達と環境構成 (3) 文字およびメディアと言葉との関連 | 予習) 子どものメディアについて調べる 復習) メディアによる保育活動を考える | 0.5時間 0.5時間 |
| 8 | 情報機器、マルチメディアを用いた教材研究 | 予習) 子どものための情報機器を考える 復習) 情報機器を活用した保育活動を考える | 0.5時間 0.5時間 |
| 9 | 遊びを通した言葉の発達とその教材研究 | 予習) 言葉遊びの種類を考える 復習) 言葉遊びの保育活動を考える | 0.5時間 0.5時間 |
| 10 | 言葉を豊かにする児童文化財とその教材研究 | 予習) 言葉を豊かにする児童文化財を調べる 復習) 児童文化財を利用した保育活動を考える | 0.5時間 0.5時間 |
| 11 | 子どもの言葉を育む保育の構想 | 予習) 保育のなかでの言葉の役割について考える 復習) 言葉の発達に寄与する教材についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 12 | 領域「言葉」に関する保育場面の指導案作成 | 予習) 領域「言葉」に関連する保育活動をまとめる 復習) グループ発表のための計画を立てる | 0.5時間 0.5時間 |
| 13 | 子どもの言葉を育むための模擬保育の実施（グループ発表） | 予習) グループ発表のための準備をする 復習) グループ発表の振り返りをする | 1.0時間 0.5時間 |
| 14 | 子どもの言葉を育むための模擬保育の実施、評価、改善 | 予習) 他のグループの評価について考える 復習) グループ発表の改善案を作成する | 0.5時間 0.5時間 |
| 15 | まとめと振り返り | 予習) 授業の内容をふりかえり、まとめる 復習) 言葉の発達における保育者の役割を考える | 0.5時間 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

子どもはまわりのすべての人々から言葉やコミュニケーションについて学び、身につけていきます。子どもにとって身近な存在である保育者が、ゆたかな言葉の育ちのために何ができるのか、授業を通して一緒に考えていきましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜日の5コマ目です。

| | | | | | |
|--|------------------------|---------|-------|------|---------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 保育者論 (Y H II B 1) | | | 講義 | 佐々木 由美子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 2単位 | — | ○ | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 考察発表 | 実技 | 授業態度 | |
| 50% | 20% | 10% | 10% | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜資料を配布する | | | | | |

授業概要

【授業内容・方法】

この授業は、保育者に求められている資質や期待される役割を理解することを目的とし、保育者としての専門性を保育現場の実態から学ぶ。授業は講義を中心とするが、ディスカッションやカンファレンスも含め実践的内容を取り入れる。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・ディスカッションやカンファレンスの内容に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

- ・保育者の役割と倫理について理解し、説明できる。
- ・保育者の制度的な位置づけを理解し、説明できる。
- ・保育者の専門性について考察するとともに理解し、説明できる。
- ・保育者の連携・協働について理解し、説明できる。
- ・保育者の資質向上とキャリア形成について理解し、説明できる。

【実務経験】

保育士の実務経験を生かし、理論と保育現場の実際を総合的実践的に捉えて講義を行う。

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | | 準備学習時間 |
|------|---|-------------|--------------------|--------|
| 1 | オリエンテーション 保育者とは：保育者の専門性について改めて考える | 予習 | シラバスにて授業内容・到達目標を把握 | 1時間 |
| | | 復習 | 保育者の専門性についてまとめる | 3時間 |
| 2 | 保育者の役割：保育の現場でどのような役割を果たすのか グループディスカッション・発表 | 予習 | 自分なりに保育者の役割をまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | ディスカッションのまとめを行う | 2時間 |
| 3 | 保育者の制度的な位置づけと倫理 全国保育士倫理綱領について学ぶ | 予習 | 倫理綱領を熟読し、理解する | 2時間 |
| | | 復習 | 保育者の制度的な位置づけをまとめる | 2時間 |
| 4 | 保育者の専門性と資質・能力①：乳児の保育 保育カンファレンス | 予習 | 乳児の発達についてまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | 保育カンファレンスのまとめを行う | 2時間 |
| 5 | 保育者の専門性と資質・能力②：3歳児の保育 保育カンファレンス | 予習 | 3歳児の発達についてまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | 保育カンファレンスのまとめを行う | 2時間 |
| 6 | 保育者の専門性と資質・能力③：4歳児の保育 保育カンファレンス | 予習 | 4歳児の発達についてまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | 保育カンファレンスのまとめを行う | 2時間 |
| 7 | 保育者の専門性と資質・能力④：5歳児の保育 保育カンファレンス | 予習 | 5歳児の発達についてまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | 保育カンファレンスのまとめを行う | 2時間 |
| 8 | 保育者の専門性と資質・能力⑤：多様な子どもの保育 保育カンファレンス | 予習 | 多様な子どもの発達についてまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | 保育カンファレンスのまとめを行う | 2時間 |
| 9 | 計画に基づく保育の実践と省察・評価 保育のPDCAについて | 予習 | 教育実習で作成した指導案を見直す | 2時間 |
| | | 復習 | デイリープログラムを作成する | 2時間 |
| 10 | 地域や関連機関との連携・協働 多様な子育て支援サービスについて | 予習 | 地域の関連機関について調べる | 2時間 |
| | | 復習 | 連携・協働の必要性の意味をまとめる | 2時間 |
| 11 | 保育者の資質向上とキャリア形成 グループディスカッション・発表 | 予習 | 資質向上に必要なことについてまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | ディスカッションのまとめを行う | 2時間 |
| 12 | 保育の質を向上させるためすべきこと グループディスカッション・発表 | 予習 | 資質向上に必要なことについてまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | ディスカッションのまとめを行う | 2時間 |
| 13 | 保育者としての子育て支援 事例検討 | 予習 | 子育て支援とは何かについてまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | 子育て支援の必要性についてまとめる | 2時間 |
| 14 | 現代社会における保育者の課題 グループディスカッション・発表 | 予習 | 保育者の課題についてまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | ディスカッションのまとめを行う | 2時間 |
| 15 | 連絡帳のやりとり(事例検討) まとめと振り返り | 予習 | 自分の保育観をまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | 定期試験の準備 | 2時間 |

担当者からのメッセージ

保育者は、倫理観に支えられた専門的知識や技術を持つ者として社会的に認められている専門職です。プロの保育者になるために、保育について一緒に考えていきましょう。保育カンファレンス・ディスカッションには積極的に参加してください。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|------------|-------------------------------------|-------|---|------|
| 開講学年・時期 | | 授業科目名 | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | | 特別支援教育Ⅰ（障がい児保育含む） （ Y H II B 4 ） | | 演習 | 池田法子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | 教科書なし 参考書 小林徹ほか『ライフステージを見通した障害児保育と特別支援教育』みらい、2020、2,400円（税別） 教材 適宜資料を配布 | |
| 1単位 | — | ○ | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 20% | 60% | — | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

現在、さまざまな障害をもつ子どもたちが幼稚園や保育所等において地域の子どもたちとともに生活している。この授業では、一人ひとりの特別なニーズの特性と心身の発達に関する基礎を学ぶ。授業は講義を中心に行い、視聴覚教材やペアワーク・グループワークを取り入れる。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパーや課題等に関しては、授業や manaba を通して解説・講評を行う。

【授業の到達目標】

- ・障害児保育を支える理念や歴史の変遷について理解し、説明できる。
- ・個々の特性や心身の発達に応じた援助や配慮について理解し、説明できる。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|--------------------------|-------------|---------------------|--------|
| 1 | オリエンテーション・障害の理解 | 予習 | シラバスを読む | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 2 | 特別支援教育・障害児保育の基本 | 予習 | インクルーシブ保育について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 3 | 特別支援教育・障害児保育の歴史と制度 | 予習 | 特別支援教育の歴史と制度について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 4 | 発達障害①（診断基準と定義、自閉スペクトラム症） | 予習 | 発達障害について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 5 | 発達障害②（ADHD、学習障害） | 予習 | ADHD、学習障害について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 6 | 発達障害③（発達障害への理解を深める） | 予習 | 自閉スペクトラム症について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 7 | 知的障害①（知的発達の定義と基準、支援の実際） | 予習 | 知的障害について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 8 | 知的障害②（ダウン症児の理解と支援） | 予習 | ダウン症児への支援方法を調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 9 | 言語障害 | 予習 | 言語障害について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 10 | 聴覚障害 | 予習 | 聴覚障害について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 11 | 視覚障害 | 予習 | 視覚障害について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 12 | 肢体不自由 | 予習 | 肢体不自由について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 13 | 病弱 | 予習 | 病弱について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 14 | 重症心身障害・医療的ケア | 予習 | 医療的ケアについて調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 授業の配布資料を復習する | 0.5時間 |
| 15 | まとめ | 予習 | これまでの授業内容を振り返る | 0.5時間 |
| | | 復習 | 期末レポートの準備をする | 3時間 |

担当者からのメッセージ

様々な障害に関する基礎的知識を身につけ、一人ひとりと向き合う支援について考えていきましょう。
【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問は manaba でも受け付けます。

| 開講学年・時期 | | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
|-----------------------|------------|------------------------------|-------|------|--|-----|
| 2年後期 | | 特別支援教育Ⅱ(障がい児保育含む) (YHⅡB5) | | | 演習 | 林 恵 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 なし 参考書 「演習・保育と障害のある子ども」野田 敦史他・みらい・2017・2300円(税別) 教材 適宜配布 | |
| 1単位 | — | ○ | ○ | | | |
| 評価方法・基準 | | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | | |
| — | 50% | 50% | — | — | | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

特別支援教育Ⅰで学んだことを基礎とし、特別な支援を要する子どもを含んだ集団が育ちあっていくためにはどうすればいいか、具体的場面を通して理解をする。指導計画や連携機関について具体的実践に基づいて学ぶ。授業は講義とともに、ディスカッションや疑似体験など実践的内容を取り入れる。リアクションペーパー、課題などの内容を次回授業内でフィードバックする。なお、課題が提出されていない場合は評価の対象としない。

【フィードバックの方法】

・課題に対するフィードバックを授業内で実施し、講評・解説の時間を設ける。

【授業の到達目標】

- ・特別な支援を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について説明できる。
- ・特別な支援を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働・保育の課題について説明できる。
- ・特別な支援が必要な子どもへの興味関心をもち、保育者としての態度を考えることができる。

【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | | 準備学習時間 |
|------|--|----------------------------|--|--------|
| 1 | オリエンテーション 特別支援教育Ⅰの振り返り | 予習) シラバス確認 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業内容の整理 | | 0.5時間 |
| 2 | 障害とはなにか インクルーシブ時代の保育の考え方 | 予習) Ⅰで学んだ障害種を振り返る | | 0.5時間 |
| | | 復習) インクルーシブの概念をまとめる | | 0.5時間 |
| 3 | 近年の特別支援教育の特徴 医療的ケア児への対応 | 予習) 医療的ケアについて調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 医療的ケア児の動画を見る | | 0.5時間 |
| 4 | 特別支援教育の実際(1)視覚的教材の作成 | 予習) Ⅰ第3回授業内容を振り返る | | 0.5時間 |
| | | 復習) 視覚的教材を作成する | | 0.5時間 |
| 5 | 特別支援教育の実際(2)視覚的教材をどう使うか 特別支援と保育の計画：指導計画と支援計画 | 予習) 視覚的教材をどう使うか考える | | 0.5時間 |
| | | 復習) 指導計画と支援計画の違いをまとめる | | 0.5時間 |
| 6 | 特別支援教育の実際(3)教材と指導計画 指導計画及び個別の支援計画の作成 | 予習) 指導計画の記入欄を確認する | | 0.5時間 |
| | | 復習) 計画の書き方を確認する | | 0.5時間 |
| 7 | 特別支援教育の実際(4) 職員間の協働と連携：特別支援教育コーディネーター | 予習) 取り巻く職員種について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 特別支援教育コーディネーターについて復習 | | 0.5時間 |
| 8 | 家庭と自治体・関係機関との連携(1) 障がいのある子どもを支える関係機関を知る | 予習) 支援機関を調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 支援機関同士の連携をまとめる | | 0.5時間 |
| 9 | 家庭と自治体・関係機関との連携(2) 小学校への入学：小学校との連携を知る | 予習) 小学校への申し込りに必要な物を考える | | 0.5時間 |
| | | 復習) 具体的方法を振り返っておく | | 0.5時間 |
| 10 | 家庭と自治体・関係機関との連携(3) 家庭との連携について知る：障がいの受容①保護者 | 予習) 親の気持ちを想像する | | 0.5時間 |
| | | 復習) 障害受容についてまとめる | | 0.5時間 |
| 11 | 家庭と自治体・関係機関との連携(4) 家庭との連携について知る：障がいの受容②きょうだい | 予習) きょうだいの気持ちを想像する | | 0.5時間 |
| | | 復習) 様々な家族の形についてまとめる | | 0.5時間 |
| 12 | 特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(1) 外国ルーツ・性的マイノリティ・貧困・ヤングケアラー | 予習) 支援が必要な子どもの現代の課題について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 選択した課題について調べる | | 0.5時間 |
| 13 | 特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(2) 選択課題の作成 | 予習) 選択した課題について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 選択した課題について調べる | | 0.5時間 |
| 14 | 特別な配慮を要する子どもの保育に関わる現状と課題(3) 選択課題の発表 | 予習) 選択した課題についてまとめる | | 0.5時間 |
| | | 復習) レポートをまとめ、提出する | | 0.5時間 |
| 15 | 全体のまとめと振り返り | 予習) 今までの学習内容を振り返る | | 0.5時間 |
| | | 復習) 学習の不足分を復習する | | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

教材を作ってmanabaにアップし相互に評価をします。提出物は期限を守って出してください。

【オフィスアワー】 manabaのメッセージ機能で質問等受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|------------------------------------|---------------|-------|------|--|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 教育方法論Ⅱ(コンピュータ・リテラシー) (YHICS5b#) | | | 演習 | 采澤陽子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 なし 参考書 保育者のためのパソコン講座((株)萌 文書林 2000円+税) 教材 適宜配布 |
| 1単位 | — | 1単位以上 選択必修 | # | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | 課題 | 実技 | 発表 | 授業態度 | |
| — | 70% | — | 30% | — | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

これからの社会を生きていく子どもたちや学生のみなさんに求められる資質や能力を育成するために必要な、教育における新しい方法としてのICT機器の活用等について基礎的な知識や技能を身につける。ICT教育とは?教育現場でのICT機器利用の意義と方法について理解を深めることを目的とする。ICT機器を活用した主体的かつ対話的で深い学びとなるよう工夫された指導案作成ができるよう、段階を経た授業展開をしていく。

授業形態は、各テーマを中心に演習やディスカッション、グループワークなどのアクティブラーニングを取り入れて行う。

【フィードバックの方法】

課題等に関しては授業の中で随時フィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・教育の目的に適したICT機器の利用技術を理解している
- ・教材としてのICT機器の効果的な活用法を理解し、保育計画に活用することができる

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | | 準備学習時間 |
|---------|--|--|--|--------------|
| 1 | オリエンテーション-ICTを使用した教育方法の基礎的理論と実践を理解するー(データ・AIの活用領域の広がり) | 予習) リテラシーとは何かをまとめる 復習) ICTについてまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 2 | ICTを使った教育のあり方を理解 (1) 乳幼児とICTについて (人間の知的活動とAIの関係性) | 予習) 乳幼児向けのICTを調べる 復習) 幼児の現場でのICTについて調べる | | 0.5時間 1時間 |
| 3 | ICTを使った教育のあり方を理解 (2) 情報探索 (研究は伊勝、サービスなど) | 予習) 幼児向けアプリを検索実施 復習) アプリが持つ影響について調べる | | 0.5時間 1時間 |
| 4 | ICTを使った教育のあり方を理解 (3) 情報整理 (AI等を活用した新しいビジネスモデル) | 予習) アプリが持つ影響についてまとめる 復習) 実際とまとめた内容の確認 | | 0.5時間 1時間 |
| 5 | ICTを使った教育のあり方を理解 (4) 情報分析 (AIサービスの責任論) | 予習) 文献検索 復習) 情報をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 6 | ICTを使った教育のあり方を理解 (5) プレゼン | 予習) 発表原稿作成 復習) 発表の振り返り、質疑応答をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 7 | ICTを使った教育のあり方を理解 (6) 教材や教具としてのICT | 予習) 教材としてのICTについて調べる 復習) 教材としてのICTについて考える | | 0.5時間 1時間 |
| 8 | ICTの活用について改めて情報を整理し考えをまとめる (AI活用事例紹介) | 予習) 幼児とICTについて再検討 復習) 検討内容の確認、まとめ | | 0.5時間 1時間 |
| 9 | ICTの活用情報を整理しプレゼン | 予習) 発表原稿作成 復習) 発表の振り返り、質疑応答をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 10 | SNSの機能や情報モラルを踏まえた教育方法のあり方を模索 (情報漏洩等によるセキュリティ事故の事例紹介) | 予習) SNSのモラルやニュースをまとめる 復習) 他の発表者の内容をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 11 | 子ども理解に基づいた指導法と評価の考え方を理解 | 予習) 保育現場でのICTについてまとめる 復習) ICTを活用した指導案を作成 | | 0.5時間 1時間 |
| 12 | 保育を構成する基礎的な要件を理解し、指導を作成 | 予習) 指導案内容の見直し 復習) 指導案を完成させる | | 0.5時間 1時間 |
| 13 | ICTを使った模擬保育を行い、基礎的技術を身に付ける | 予習) 模擬保育の練習 復習) 模擬保育の振り返り | | 0.5時間 1時間 |
| 14 | プログラミングやコンピュータを搭載した機器に触れる | 予習) コンピュータ搭載機器を調べる 復習) 実際に触れて気づいたことをまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 15 | まとめと振り返り | 予習) これまでの学修を受け意見をまとめる 復習) 学んだ内容の振り返り | | 0.5時間 1時間 |

担当者からのメッセージ

自らの経験や授業の体験を通して教育方法の実践的理解を深めつつ、情報化社会で必要な情報活用能力の探究と、自分の意見や考えを持つことに努めてください。

【オフィスアワー】授業終了後の休み時間内です。質問は「manaba」でも受け付けます。

| | | | | | | |
|-----------------------|------------------------------------|---------------|-------|---|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 | |
| 2年前期 | 教育方法論Ⅲ（生涯学習論） 〈 Y H I C 5 c # 〉 | | | 演習 | 池田法子 | |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | 教科書 なし 参考書 渡邊洋子『新版 生涯学習時代の成人教育学——学習者支援へのアドヴォカシー』明石書店、2023. 3,200円（税別） 教材 適宜資料を配布 | | |
| 1単位 | — | 1単位以上 選択必修 | # | | | |
| 評価方法・基準 | | | | | | |
| 定期試験 | グループワーク | 課題 | 発表 | | | 授業態度 |
| — | 20% | 50% | 20% | 10% | | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

生涯学習社会とは、誰もが自分の人生を豊かにするために、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択し学ぶことができる社会である。生涯学習の理念や概念、法体系と制度について学び、生涯学習支援の方法を実践的に考える。授業では講義やグループワーク、フィールドワークを行う。

【フィードバックの方法】

グループワークや課題、発表等に関しては、授業時間や manaba を用いて随時フィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・生涯学習の理念や概念を理解し、説明できる。
- ・学校外の様々な社会教育・生涯学習の施設について理解し、説明できる。
- ・多様な視点から人々の学習活動を支援する方法を理解し、学習プログラムを企画することができる。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|------------------------|-----------------------|--|--------|
| 1 | オリエンテーション | 予習) シラバスを読む | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 2 | 生涯学習の理念と学習理論 | 予習) 生涯学習の理念について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 3 | 生涯学習の施設について調べる | 予習) 身近な学習施設・機関について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 4 | 社会教育・生涯学習の施設① 公民館 | 予習) 公民館について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 5 | 社会教育・生涯学習の施設② 図書館 | 予習) 図書館について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 6 | 社会教育・生涯学習の施設③ 博物館 | 予習) 博物館について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 7 | 社会教育・生涯学習の施設④ フィールドワーク | 予習) 身近な学習施設・機関について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 体験したことをまとめる | | 0.5時間 |
| 8 | 高齢社会と生涯学習 | 予習) 高齢者の学習支援を調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 9 | 障害者をめぐる生涯学習 | 予習) 障害者の学習支援を調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 10 | 子ども・若者と生涯学習 | 予習) 子ども・若者の学習支援を調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 11 | 生涯学習の形態と方法 | 予習) 学習支援の方法を調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 12 | 生涯学習のプログラムを企画する① 企画・立案 | 予習) 生涯学習のプログラムを考える | | 0.5時間 |
| | | 復習) 考えた内容をまとめる | | 0.5時間 |
| 13 | 生涯学習のプログラムを企画する② 構成 | 予習) 学習方法や目的を考える | | 0.5時間 |
| | | 復習) 考えた内容をまとめる | | 0.5時間 |
| 14 | 生涯学習のプログラムを企画する③ 発表 | 予習) 発表の準備をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表・議論の内容を振り返る | | 0.5時間 |
| 15 | 生涯学習のプログラムを企画する④ 振り返り | 予習) これまでの取り組みを振り返る | | 0.5時間 |
| | | 復習) 学んだ内容を活用し、実践する | | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

学びとは、「学校」の中で「教えてもらった」ことが全てではありません。社会にある多様な学習機会について理解を深め、主体的な学びのあり方について考えていきましょう。

【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|---------|-----------------------|------|--|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 教育の方法と技術Ⅱ (YHIC2#) | | | 演習 | 茂木克浩 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 なし 参考書 「保育をひらく造形表現」 榎 英子 萌 文書林、「何をつくるか決めない造形 あそび そぞい探求LABO」 桐嶋歩 内容に合わせて適宜紹介する 教材 画材道具一式、ポートフォリオ用ファ イル (詳細は1回目の授業で説明しま す) |
| 1単位 | — | ○ | # | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| レポート | リアクションペー パー | 提出物 | グループでの成果物 (模擬保育含む) | 授業態度 | |
| 20% | 10% | 15% | 45% | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

本授業では幼児の造形表現と遊びとの関係性について理解した上で、保育者としてそれを支えるためのより実践的な技能を身につけることを目的とする。一般的に「造形あそび」と言われる、作品の完成を目的としないプロセスを重視した造形表現活動について学び、授業の後半では実際にグループで模擬保育を実践し技能の習得を図る。授業は、造形あそびを体験した後、それを発展させた展開例を考えるという流れで行っていく。ポートフォリオに毎時間の学びを記録してもらうことで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。本授業の評価においては、素材や環境のもつ魅力を活かした独創的で多様な展開例を考えることができているかを重視する。

【フィードバックの方法】

毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。レポートや発表した活動について、授業内に講評、解説を行う。

【授業の到達目標】

- ・素材や環境のもつ魅力を活かした造形あそびを計画し、状況に合わせて多様な展開ができる。
- ・幼児の造形表現活動において、プロセスを見ることの大切さとその視点を理解できる。

【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、造形表現のプロセスを見取る視点を具体的に示していく。

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | | 準備学習時間 |
|------|--|-------------|-------------------------|--------|
| 1 | 造形表現活動とあそび・造形あそびについて 表現のプロセスを見ることについて | 予習 | 「あそび」について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 2 | ドキュメンテーションについて | 予習 | ドキュメンテーションについて調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 3 | 場所をいかした造形あそび | 予習 | 場所の魅力をいかした造形あそびについて調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.0時間 |
| 4 | 色彩をいかした造形あそび | 予習 | 色彩の特性をいかした造形あそびについて調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.0時間 |
| 5 | 光をいかした造形あそび | 予習 | 光の特性をいかした造形あそびについて調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.0時間 |
| 6 | 身近な素材を使った造形あそび① | 予習 | 身近な素材を使った造形あそびについて調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.0時間 |
| 7 | 身近な素材を使った造形あそび② | 予習 | 身近な素材を使った造形あそびについて調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.0時間 |
| 8 | 美術館の利用と対話型鑑賞 | 予習 | 美術館の教育普及活動と対話型鑑賞について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 1.0時間 |
| 9 | 造形あそびから考える模擬保育①(活動内容の検討) | 予習 | 模擬保育の内容を考える | 1.0時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 10 | 造形あそびから考える模擬保育②(指導案作成) | 予習 | 模擬保育の活動の流れを考える | 1.0時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 11 | 造形あそびから考える模擬保育③(準備・試行) | 予習 | 指導案を完成させる | 2.0時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 12 | 造形あそびから考える模擬保育④(実践・討議) | 予習 | 模擬保育の準備を進める | 1.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 13 | ドキュメンテーションの作成① | 予習 | ドキュメンテーションのアイデアを考える | 1.0時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 14 | ドキュメンテーションの作成② | 予習 | ドキュメンテーションの製作をすすめる | 2.0時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 15 | ドキュメンテーションの発表・討議・まとめ | 予習 | 発表の準備をする | 2.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

保育者には造形表現活動のプロセスから、子どもたちにおきている学びを読み取り、より魅力的な学びになるよう次の展開を考える力が必要になります。活動を考えたり、模擬保育を経験したりすることを繰り返すことで、保育者としての実践力が育つと考えます。他者と積極的に協力し多様な活動が展開されることを期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは金曜4コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|------------------------------|---------|-------|------|---|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 幼児理解と教育相談 (Y H I C 4 #) | | | 講義 | 林 恵 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 子どもの理解と保育・教育相談 [第2版] みらい 参考書 |
| 2単位 | — | ○ | # | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 50% | 50% | — | — | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

保育者に子育て支援の役割が期待されるなかで、相談援助の考え方やカウンセリング・マインドをふまえた対応が求められている。この授業では講義と演習を通してそれらの理解と技法を身に付ける。

【フィードバックの方法】

提出された課題については添削をおこなう。授業内でも質疑応答を実施する。

【授業の到達目標】

- ・さまざまな子どもの特徴やニーズと発達を理解する
- ・相談やコンサルテーションをおこなうための具体的な方法を習得する。
- ・実際に保育の相談内容を知り、考えることで、保育・教育相談の基礎知識を身に付ける。

【実務経験】

特別支援学校教諭、保健センター発達相談員、児童相談所心理判定課心理判定員の実務経験を活かし、具体的な事例や場面を示しながら、実践に結びつく講義をおこなう。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|-------------------------------------|-----------------------|--|--------|
| 1 | 保育の場における相談ニーズとカウンセリング・マインド | 予習) テキストの第1章を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 授業内容についてまとめる | | 2時間 |
| 2 | 子どもの発達理解と相談・支援 | 予習) テキストの第2章を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 授業内容についてまとめる | | 2時間 |
| 3 | 保護者への対応 一子育て支援の視点から | 予習) テキストの第3章を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 授業内容についてまとめる | | 2時間 |
| 4 | 発達障害や気になる子どもとその保護者へのかかわり | 予習) テキストの第4章を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 授業内容についてまとめる | | 2時間 |
| 5 | 子ども理解のための発達理論とカウンセリング的アプローチ | 予習) テキストの第5章を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 授業内容についてまとめる | | 2時間 |
| 6 | 保育場面でのカウンセリング技法の活用 | 予習) テキストの第6章を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 授業内容についてまとめる | | 2時間 |
| 7 | 園・地域における専門家との連携による相談・支援 | 予習) テキストの第7章を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 授業内容についてまとめる | | 2時間 |
| 8 | 保育者の専門性と相談活動 | 予習) テキストの第8章を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 授業内容についてまとめる | | 2時間 |
| 9 | 基礎的対人関係のトレーニング | 予習) テキストの第9章を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 授業内容についてまとめる | | 2時間 |
| 10 | 事例検討 子ども同士のいざこざ/仲間に入れない子ども | 予習) テキストの事例1・2を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる | | 2時間 |
| 11 | 事例検討 すぐに暴力を振る子ども/不登園の子ども | 予習) テキストの事例3・4を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる | | 2時間 |
| 12 | 事例検討 虐待が疑われる子ども/児童養護施設での不適切なかかわり | 予習) テキストの事例5・6を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる | | 2時間 |
| 13 | 事例検討 障害のある子ども/気になる子ども | 予習) テキストの事例1・2を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる | | 2時間 |
| 14 | 事例検討 外国につながる子ども/保護者からの相談 | 予習) テキストの事例1・2を読んでおく | | 2時間 |
| | | 復習) 事例を振り返り、ポイントをまとめる | | 2時間 |
| 15 | 全体の振り返りとまとめ | 予習) 今までの資料を読み返す | | 2時間 |
| | | 復習) 全ての学習内容のポイントをまとめる | | 2時間 |

担当者からのメッセージ

事例検討などのワークは主体的に考えまとめるようにしてください。提出物は期限を守って出してください。

【オフィスアワー】 質問等は manaba 等のメッセージ機能で受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|-----------------------------------|---------|-------|------|--------------------------------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 保育・教職実践演習（幼稚園） （ Y H I I D 1 ） | | | 演習 | 茂木克浩・佐々木由美子・中野真樹・ 高橋由起・西 敏郎 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 特に指定はしない 授業中に適宜資料を配付 |
| 2単位 | ○ | ○ | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | — | 80% | — | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

これまでに習得した知識や技術が幼児教育・保育の専門職として十分なものであるか、保育観・子ども観がしっかりと構築されているかを検討し、教職・保育職を目指す者としての自己課題を認識する。それを踏まえて、保育指導案による模擬保育、ロールプレイ、ディスカッション、事例研究といった多様な課題に挑戦し、保育者としての資質向上を図る。課題内容により、講義、実技、グループワーク、観察など多様な方法を用いる。また担当する専任教員の専門性を活かした様々な形で授業を展開する。

ポートフォリオを未提出の学生については、履修を認めない場合があるので注意すること。

【フィードバックの方法】

それぞれの担当ごとに随時解説や講評を行う。

【授業の到達目標】

- ・自分自身の保育実践力について緻密に確認し（学びのカルテ、学びの自己評価）、保育職を目指す者としての自己課題に気づき、課題解決に向けて行動する。
- ・短大における学習（理論知）と現場での実習体験等を通して得られた知識・技術（実践知）を結び付けて、子どもや保育について考えることができる（子ども観・保育観の形成）。
- ・保育職に求められる社会性や対人関係能力を発揮して、困難な課題に挑戦し課題達成を図る。

| 授 業 計 画 | | 担当者 | 準 備 学 習（予習・復習） | 準備学習時間 |
|---------|---------------------------------|-----|--|----------------|
| 1 | 授業ガイダンス 「学びのカルテ（学びの自己評価）」作成 | 茂木 | 予習 シラバスの授業内容・到達目標を把握 復習 今後の授業内容についてまとめる | 1時間 1時間 |
| 2 | ソーシャルスキルトレーニング① アサーショントレーニング | 佐々木 | 予習 ソーシャルスキルとは何か調べる 復習 課題を整理する | 1時間 0.5時間 |
| 3 | ソーシャルスキルトレーニング② 話すこと・聴くこと | 佐々木 | 予習 自分の話し方聴き方の特徴をまとめる 復習 課題を作成・提出する | 1時間 0.5時間 |
| 4 | ソーシャルスキルトレーニング③ 対人関係トレーニング | 佐々木 | 予習 自分の対人関係の特徴をまとめる 復習 課題を作成・提出する | 1時間 0.5時間 |
| 5 | ソーシャルスキルトレーニング④ 体験学習一人関係一 | 佐々木 | 予習 人間関係で大切なことをまとめる 復習 課題を作成・提出する | 1時間 0.5時間 |
| 6 | 社会福祉の役割① | 西 | 予習 日本の社会福祉について調べる 復習 授業の内容をまとめる | 1時間 0.5時間 |
| 7 | 社会福祉の役割② | 西 | 予習 世界の社会福祉について調べる 復習 授業の内容をまとめる | 1時間 0.5時間 |
| 8 | 社会福祉の役割③ | 西 | 予習 社会と福祉の関係について調べる 復習 授業の内容をまとめる | 1時間 0.5時間 |
| 9 | 保育者としてのキャリア形成① | 西 | 予習 進路選択の経緯を振り返る 復習 働く意義を考え卒業後の自分を考える | 0.5時間 0.5時間 |
| 10 | 保育者としてのキャリア形成② | 西 | 予習 職業人として仕事の困難を考えておく 復習 職業人としてどう生きていくか考える | 0.5時間 0.5時間 |
| 11 | 保育とコミュニケーション論① | 中野 | 予習 保育のコミュニケーションについて考える 復習 授業の内容をまとめる | 1時間 0.5時間 |
| 12 | 保育とコミュニケーション論② | 中野 | 予習 保育実習の日報を見直す 復習 課題を作成・提出する | 1時間 1.5時間 |
| 13 | 保育とコミュニケーション論③ | 中野 | 予習 授業をもとに発表の準備をする 復習 発表のフィードバックをまとめる | 1時間 1.5時間 |
| 14 | 保育とコミュニケーション論④ | 中野 | 予習 授業をもとに発表の準備をする 復習 発表のフィードバックをまとめる | 1時間 1.5時間 |
| 15 | 音楽表現の実践課題 | 高橋 | 予習 ピアノⅡで演奏したブルグミュラーの課題曲を弾いてくる 復習 授業の内容をまとめる | 1時間 0.5時間 |
| 16 | 音楽遊びの実際と指導法① | 高橋 | 予習 事前配付の資料を読み考察する 復習 授業の内容をまとめる | 1時間 0.5時間 |
| 17 | 音楽遊びの実際と指導法② | 高橋 | 予習 事前配付の資料を読み考察する 復習 課題を作成・提出する | 1時間 1.5時間 |
| 18 | 保育現場における歌唱曲選択の実際とその実践 | 高橋 | 予習 実習園、または就職園における歌唱曲を月ごとにまとめる 復習 配布された楽譜、パートを歌えるようにしてくる | 1時間 1時間 |

| 授 業 計 画 | | 担 当 者 | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | 準 備 学 習 時 間 |
|---------|-----------------------|-------|--------------------------|-------------|
| 19 | 保育現場における歌唱曲指導とその実践① | 高橋 | 予習) 声楽Iで学んだ内容をまとめる | 1時間 |
| | | | 復習) 歌唱指導の実際についてまとめる | 1時間 |
| 20 | 保育現場における歌唱曲指導とその実践② | 高橋 | 予習) 楽譜を読み自分のパートを練習する | 1時間 |
| | | | 復習) 実践を通して学んだことをまとめる | 1時間 |
| 21 | 教育・教員をめぐる今日的課題① | 茂木 | 予習) 教育・教員の今日的課題について調べる | 1時間 |
| | | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 22 | 教育・教員をめぐる今日的課題② | 茂木 | 予習) 教育・教員の今日的課題について調べる | 1時間 |
| | | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 23 | 教育・教員をめぐる今日的課題③ | 茂木 | 予習) 調べた内容をまとめ発表の準備をする | 1時間 |
| | | | 復習) 授業の内容をまとめる | 1.5時間 |
| 24 | 教育・教員をめぐる今日的課題④ | 茂木 | 予習) 調べた内容をまとめ発表の準備をする | 1時間 |
| | | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 25 | 保育環境整備と壁面制作① | 茂木 | 予習) 保育現場における壁面の役割について調べる | 1時間 |
| | | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 26 | 保育環境整備と壁面制作② | 茂木 | 予習) 壁面のデザインを考える | 1.5時間 |
| | | | 復習) 壁面制作を進める | 1.5時間 |
| 27 | 保育環境整備と壁面制作③ | 茂木 | 予習) 壁面を完成させる | 2時間 |
| | | | 復習) 授業内容をまとめる | 0.5時間 |
| 28 | 造形遊びの実際と指導法① | 茂木 | 予習) 造形表現関係の授業を振り返っておく | 1時間 |
| | | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 29 | 造形遊びの実際と指導法② | 茂木 | 予習) 課題の作成を進める | 1時間 |
| | | | 復習) 課題を作成・提出する | 1.5時間 |
| 30 | 「学びのカルテ (学びの自己評価)」の完成 | 茂木 | 予習) 短大での学びを振り返る。 | 1時間 |
| | | | 復習) 「学びのカルテ」作成・提出する | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

現場に出る前の最終チェックとなる教科です。この授業では、自分自身がこれまで短大で学んできたことを振り返り、保育者として十分な知識・技術等が獲得できているかを考えましょう。そして不足していることがあったら改めて学習し、卒業や資格取得に繋げるとともに、保育職につくための資質をさらに高めてください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは各担当教員のオフィスアワーを参照。質問は manaba でも受け付けます。

| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
|-----------------------|-------------------------|---------|-------|------|---|
| 2年前期 | 教育実習研究 (Y I I D 2) | | | 実習 | 茂木克浩・高橋由起 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | — | ○ | — | | |
| 評価方法・基準 | | | | | 教科書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省) 参考書 必要に応じて紹介する 教材 適宜資料を配布する 教育実習用のファイル(第1回の授業で説明する) |
| 定期試験 | レポート | 課題 | 実技・発表 | 授業態度 | |
| — | — | 50% | 20% | 30% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

教育実習を行うために必要な基本的知識・技術の習得を目的とした事前指導を実施する。その中で、保育の記録や指導計画の立案、評価、改善する力を身につける。各実習終了後の事後指導では総合的な自己評価を行い、保育者としての実践力習得を目指す。2年間を通して子どもの実態や教諭の役割について学び、様々な方法で主体的に学ぶ力を養う。

【フィードバックの方法】

各授業で取り組んだ課題については授業の中で講評を行う。
授業内で作成した指導案は添削し個々にフィードバックを行う。

【授業の到達目標】

- ・これまで学んだ知識・技術を多角的に捉え、実践することができる。
- ・保育の記録のポイントを理解し、的確に記入することができる。
- ・日案を作成することができる。
- ・実践を振り返り、それに基づいて改善し行動することができる。

【実務経験】

学校教育現場で実習生を受け入れ指導してきた経験から、受け入れる側からみた実習生に期待されるものを伝えていく。(茂木)
教育実習研究の実務経験は、小中学校における教職の経験より、実習における活きた学びの重要性を伝えていく(高橋)

| 授業計画 | | 担当者 | 準備学習(予習・復習) | 準備学習時間 |
|------|--|----------|---|----------------|
| 1 | 教育実習の概要・意義・実習の意味について 教育実習園の選び方 | 茂木 高橋 | 予習) 幼稚園と保育所、こども園の違いを調べる。 復習) 授業内容をまとめる。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 2 | 実習までの流れと必要な手続きについて 幼稚園選びの実際 実習先選び個別指導 | 茂木 高橋 | 予習) 実習希望園について調べる。 復習) 実習希望園を決定し必要な手続きを行う。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 3 | 実習依頼訪問の方法と留意点 時期・訪問日の決定・内諾書 | 茂木 高橋 | 予習) 実習依頼訪問の目的について調べる。 復習) 実習依頼訪問の準備をする。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 4 | 教育実習の意義と実際① 幼稚園の一日の流れ | 茂木 | 予習) 幼稚園の一日の流れについて調べる。 復習) 授業内容をまとめる。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 5 | 教育実習の意義と実際② 責任実習の実際 | 高橋 | 予習) 責任実習の目的や内容について調べる。 復習) 授業内容をまとめる。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 6 | 実習体験学習 | 茂木 高橋 | 予習) 実習体験学習先の園について調べる。 復習) 実習体験学習の感想等をまとめる。 | 0.5時間 1.0時間 |
| 7 | 夏休みの課題発表 手作り名札の発表・園児向け自己紹介 発表に対する講評 | 茂木 高橋 | 予習) 発表の準備をする。 復習) 名札と自己紹介の修正を行う。 | 1.5時間 1.0時間 |
| 8 | 教育実習Ⅰ事前指導① 書類作成 オリエンテーションについて | 茂木 高橋 | 予習) オリエンテーションの目的について調べる。 復習) オリエンテーションの準備をする。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 9 | 教育実習Ⅰ日誌指導① 保育観察の実際と方法 実習日誌の構造を知る | 茂木 高橋 | 予習) 保育観察の目的について調べる。 復習) 授業についてまとめる。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 10 | 教育実習Ⅰ日誌指導② 観察方法と記録の取り方 | 茂木 高橋 | 予習) 保育観察の方法について調べる。 復習) 授業内容についてまとめる。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 11 | 教育実習Ⅰ日誌指導③ 実習目標の立て方 | 茂木 高橋 | 予習) 教育実習Ⅰの目標を考えてくる。 復習) 教育実習Ⅰの目標を修正する。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 12 | 教育実習Ⅰ事前指導② 実習直前指導 お礼状の書き方 | 茂木 高橋 | 予習) お礼状の書き方について調べる。 復習) 教育実習Ⅰの準備をする。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 13 | 教育実習Ⅰ事後指導① 自己評価 お礼状の確認 | 茂木 高橋 | 予習) 教育実習Ⅰの取り組みを振り返る。 復習) 教育実習Ⅰを振り返り学んだことをまとめる。 | 0.5時間 1.0時間 |
| 14 | 教育実習Ⅰ事後指導② 実習での学びの共有 | 茂木 高橋 | 予習) 教育実習Ⅰでの学びを発表する準備をする。 復習) 他の人の発表から学んだことをまとめる。 | 1.5時間 0.5時間 |
| 15 | 教育実習Ⅱ事前指導① 書類作成 オリエンテーションについて | 茂木 高橋 | 予習) 改めて教育実習Ⅰの成果と課題を振り返る。 復習) オリエンテーションの準備をする。 | 0.5時間 0.5時間 |
| 16 | 教育実習Ⅱ指導案指導① 主活動の内容検討 | 茂木 高橋 | 予習) 主活動の内容を考える。 復習) 主活動の流れを考える。 | 1.0時間 1.0時間 |

| 授 業 計 画 | | 担当者 | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | 準備学習時間 |
|---------|-------------------------------|----------|---------------------------|--------|
| 17 | 教育実習Ⅱ 指導案指導② 主活動指導案作成 | 茂木 高橋 | 予習) 主活動の指導案を作成する。 | 1.5時間 |
| | | | 復習) 主活動の指導案を完成させる。 | 1.0時間 |
| 18 | 教育実習Ⅱ 指導案指導③ 全日指導案作成 | 茂木 高橋 | 予習) 全日の流れを考えてくる。 | 1.0時間 |
| | | | 復習) 全日指導案を作成する。 | 1.0時間 |
| 19 | 教育実習Ⅱ 指導案指導④ 指導案の修正 | 茂木 高橋 | 予習) 全日指導案を作成する。 | 1.5時間 |
| | | | 復習) 全日指導案を修正する。 | 2.0時間 |
| 20 | 教育実習Ⅱ 指導案指導⑤ 指導案仕上げ・教材準備 | 茂木 高橋 | 予習) 全日指導案を修正する。 | 1.5時間 |
| | | | 復習) 主活動等の準備をする。 | 2.0時間 |
| 21 | 教育実習Ⅱ 事前指導② 実習直前指導 お礼状について | 茂木 高橋 | 予習) 教育実習Ⅱの目標を考える。 | 1.0時間 |
| | | | 復習) 教育実習Ⅱの準備をする。 | 1.0時間 |
| 22 | 教育実習Ⅱ 事後指導① 自己評価 お礼状の確認 | 茂木 高橋 | 予習) 教育実習Ⅱの取り組みを振り返る。 | 0.5時間 |
| | | | 復習) 教育実習Ⅱを振り返り学んだことをまとめる。 | 1.0時間 |
| 23 | 教育実習Ⅱ 事後指導② 実習での学びの共有 | 茂木 高橋 | 予習) 教育実習Ⅱでの学びを発表する準備をする。 | 1.0時間 |
| | | | 復習) 他の人の発表から学んだことをまとめる。 | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

教育実習研究では《幼稚園》で行う教育実習のための具体的な手続きから実習内容までを学んでいきます。毎回の授業が大切であり教育実習を行うために必要な内容です。

子どもたちが日々生活している《幼稚園》で学ばせていただく『教育実習』ということのを忘れずに、そのために必要な内容を授業で学び、しっかり身につけましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜4コマです。質問は manaba でも受け付けます。

| | | | | | |
|---------|-----------------------|---------|-------|------|--|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 教育実習 (Y I I D 3) | | | 実習 | 茂木克浩・高橋由起 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 なし 参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省) 教材 必要に応じて適宜資料を配布する |
| 4単位 | — | ○ | — | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 実習園の評価 | 勤務状況 | 日誌 | 事後指導 | 定期試験 | |
| 70% | 10% | 10% | 10% | — | |

授 業 概 要

教育実習

【内容】

教育実習は、幼稚園教諭2種免許状を取得する上での必須の科目であり、幼稚園で4週間実習することを求められるものである。

- ・幼稚園の機能や生活について体験を通して理解する。
- ・幼稚園教諭となるための自覚を育てる。
- ・短大で学んだ理論や技術を実践・応用し、実践的能力を養う。

【方法】

4週間の実習を、1年次1週間、2年次3週間に分けて行う。
 教育実習Ⅰ 1年次後期(11月)各自が選定し、承諾を得た幼稚園で行う。
 教育実習Ⅱ 2年次後期(6月)各自が選定し、承諾を得た幼稚園で行う。
 教育実習4週間(教育実習Ⅰ・1週間+教育実習Ⅱ・3週間)

【フィードバックの方法】

実習期間中に指導訪問を実施し、各訪問指導担当からアドバイスをを行う。
 実習終了後、園からの評価をもとに評価伝達とアドバイスをを行う。

【到達目標】

- ・幼稚園の目的・機能について実地に即して理解することができる。
- ・幼稚園における子育て支援について理解し、必要な能力を身につけることができる。
- ・幼稚園教諭の役割、職務内容を理解し、補助的な役割を担うことができる。
- ・幼児との関わりを通して、その実態や課題を把握することができる。
- ・幼稚園教育要領及び幼児の実態を踏まえた適切な指導案を作成し、実践することができる。
- ・様々な活動の場面で適切に幼児と関わるすることができる。
- ・保育に必要な基礎的技術(話法・保育形態・保育展開・環境構成など)を実地に即して身につけるとともに、幼児の体験との関連を考慮しながら適切な場面で情報機器を活用することができる。

【提出物】

- ・誓約書、個人票、実習訪問指導シート
- ・実習日誌
漏れなく記入する。
実習の目標(実習において学びたいこと、どのような目標をもって実習に臨むのかを確認し、まとめる)をきちんと設定する。
日々の実習を振り返り、計画・実践・反省・評価を整理し日誌に記録し、原則として毎日実習園に提出する。

【評価方法と割合】

- ・実習園による評価70%
- ・出勤状況、勤務態度(実習園及び訪問担当教員からの報告)10%
- ・日誌(提出期限を厳守している、丁寧に記述している、空欄の有無、訂正・修正箇所への対応など)10%
- ・事後指導への取り組み(学んだことについて具体的かつ考察を踏まえながら記述できている)10%

最終的な評価配分は、教育実習ⅠとⅡの割合を25%・75%とする。
 教育実習Ⅰの実習評価が60%を超えない場合は教育実習Ⅱを行うことはできない。

担当者からのメッセージ

教育実習は、専門科目の授業で学んだ知識や技術を「発揮する場」であり、保育理解を深める「学びの場」ですので、受け入れてくださる園、保育者、子どもたちに対する感謝の気持ちを忘れずに、積極的に取り組みましょう。

【オフィスアワー】オフィスアワーは水曜4コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|-----------------------|---------|-------|------|--|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | こども家庭支援論 (H I E 4) | | | 講義 | 近末克紀 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 なし 参考書 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼 保連携型認定こども園教育保育要領・ 天使のにもつ 教材 プリントなど適宜配布 |
| 2単位 | — | — | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | レポート | 実技 | 授業態度 | |
| — | 20% | 60% | — | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

保育者として、その専門性を活かして行う子育て家庭への支援について考え、多様な支援の形や実際を知ることで、その意義と目的を理解する。グループワークやディスカッションを中心に、保育現場でおきた実際の事例をもとにその時の子どもたちや保護者の姿や感情、課題や問題点を探り、理解を深めていく。

【フィードバックの方法】

毎回リアクションペーパーを記載し、次回授業の中でフィードバックする。レポートについては返却する。

【授業の到達目標】

- ・子育て家庭に対する支援の意義と目的を理解する。
- ・「よりよい子育て社会」の構築に向けて、保育者としての意識を身につける。
- ・子どもの成長に対する保護者との共有、支援の具体的な方法を理解する。

【実務経験】

保育士歴21年。現場で実際に経験してきた事例を元に、理論と合わせ総合的実践的に学んでいく。
保育士・幼稚園教諭・チャイルドコーチングアドバイザー・乳幼児救命救急支援員・和太鼓民舞講師

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | | 準備学習時間 |
|---------|---|--------------------------|--|--------|
| 1 | オリエンテーション 子ども家庭支援の意義と役割を知る | 予習) シラバスにて授業内容、到達目標を把握 | | 1時間 |
| | | 復習) 子ども家庭支援の意義役割についてまとめる | | 2時間 |
| 2 | 保育の専門性を活かした子ども家庭支援 子どもの育ちの喜びと共有 | 予習) 子育ての喜びについて考えてくる | | 1時間 |
| | | 復習) 子どもの成長の喜びについてまとめる | | 2時間 |
| 3 | 保育士に求められる基本的態度 現場実践をもとにグループディスカッション・発表 | 予習) 保育士としての態度について考える | | 1時間 |
| | | 復習) 基本的態度についてまとめる | | 2時間 |
| 4 | それぞれの家庭の状況に応じた支援の在り方 現場実践をもとにグループディスカッション・発表 | 予習) 様々な家庭環境について考える | | 1時間 |
| | | 復習) 家庭の状況に応じた支援の在り方をまとめる | | 2時間 |
| 5 | 公的機関との連携について 現場実践をもとにグループディスカッション・発表 | 予習) 公的機関について調べてくる | | 1時間 |
| | | 復習) 公的機関との連携についてまとめる | | 2時間 |
| 6 | 子ども家庭支援に対する環境づくり① 「傾聴」 | 予習) 傾聴とはどういうことか調べてくる | | 1時間 |
| | | 復習) 傾聴のポイントをまとめる | | 2時間 |
| 7 | 子ども家庭支援に対する環境づくり② 「承認」 | 予習) 承認とはどういうことか調べてくる | | 1時間 |
| | | 復習) 承認のポイントをまとめる | | 2時間 |
| 8 | 子ども家庭支援に対する環境づくり③ 「質問」 | 予習) 質問とはどういうことか調べてくる | | 1時間 |
| | | 復習) 質問のポイントをまとめる | | 2時間 |
| 9 | 和太鼓で体を動かそう 子どもと共に楽しむことが支援の基礎になる① | 予習) ケガをしないように体をほぐす | | 1時間 |
| | | 復習) 疲れが残らないように充分休息をとる | | 2時間 |
| 10 | 保育現場での支援の実際 送迎時の会話・連絡帳を基に考える | 予習) 連絡帳の意義を考えてくる | | 1時間 |
| | | 復習) 連絡帳などの大切さやポイントをまとめる | | 2時間 |
| 11 | 保育現場での支援の実際 事故事例から考える グループディスカッション・発表 | 予習) 保育園での事故事例を調べてくる | | 1時間 |
| | | 復習) 保育者として命との向き合い方をまとめる | | 2時間 |
| 12 | リズムで体を動かそう 子どもと共に楽しむことが支援の基礎になる② | 予習) ケガをしないように体をほぐす | | 1時間 |
| | | 復習) 疲れが残らないように充分休息をとる | | 2時間 |
| 13 | 保育現場での支援の実際 「天使のにもつ」を参考に考える① | 予習) 「天使のにもつ」を読む | | 1時間 |
| | | 復習) 保育士の仕事を十分理解する | | 2時間 |
| 14 | 保育現場での支援の実際 「天使のにもつ」を参考に考える② | 予習) 「天使のにもつ」を読む | | 1時間 |
| | | 復習) 現在の自分の保育観についてまとめる | | 2時間 |
| 15 | いのちの授業 ゲストティーチャーを迎えて | 予習) いのちについて考えてくる | | 1時間 |
| | | 復習) 大切ないのちを預かるという自覚を持つ | | 2時間 |

担当者からのメッセージ

保育現場で出会うたくさんの子どもや保護者たちへの支え方を、実際に保育現場であったお話をもとにみんなで考えていきましょう。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは、授業終了後の休憩時間です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|------------------------|---------|-------|------|---|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 仏教保育論 (H I E 6 #) | | | 講義 | 藤生義仁・関 裕剛 内藤弘純 |
| 単 位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 なし 参考書 分かりやすい仏教保育論 教材 講師が用意したパワーポイント、プリントなどにより授業を進める |
| 2単位 | — | — | * | # | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 70% | — | — | 30% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

仏教とは「慈悲」の宗教である。仏教保育とは、慈悲の心にねぎした保育をいう。保育の中の仏教行事、月間のねらいなどを基に、実際に園で行っている保育を紹介・解説していく。主に講義として行うが、年4回の仏教行事の参加を求め、また、それぞれ授業においては、グループワーク、ディスカッションなどの時間を取り入れながら、理解を深めていく。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパーに関しては、授業の中でフィードバックし、共有した後返却する。

【授業の到達目標】

日常の保育の中で、仏教精神や仏教行事がどのように取り入れられているかを理解し、説明できる。またそれぞれの園での活動の違いを知る。そして、自身の今後の保育感を深め、「こういう保育者になりたい」と考えられるようになる。

【実務経験】

保育園の園長の経験、僧侶としての経験と知識を活かして、保育と仏教の統合的実践的な講義を行う。

| 授 業 計 画 | | 担当者 | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | 準備学習時間 |
|---------|---------------------------------------|-----|-------------------------|--------|
| 1 | 仏教保育とは (1) ～「生きる」について考える～ | 藤生 | 予習) 「生きる」について考える | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 2 | 仏教保育とは (2) ～「有難い」について考える～ | 藤生 | 予習) 「有難い」について考える | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 3 | 仏教保育とは (3) ～「信頼関係」について考える～ | 藤生 | 予習) 「保育」について考える | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 4 | 月間の保育のねらい (1) 4月「合掌聞法」 | 藤生 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 5 | 月間保育のねらい (2) 5月「持戒和合」 | 藤生 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 6 | 月間保育のねらい (3) 6月「生命尊重」、7月「布施奉仕」 | 関 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 7 | 月間保育のねらい (4) 8月「自利利他」 | 関 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 8 | 月間保育のねらい (5) 9月「報恩感謝」 | 関 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 9 | 月間保育のねらい (6) 10月「同事協力」 | 関 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 10 | 月間保育のねらい (7) 11月「精進努力」 | 内藤 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 11 | 月間保育のねらい (8) 12月「忍辱持久」 | 内藤 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 12 | 月間保育のねらい (9) 1月「和顔愛語」 | 内藤 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 13 | 月間保育のねらい (10) 2月「禪定静寂」、3月「智慧希望」 | 内藤 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 14 | 仏教行事 (1) 仏教行事「降誕会」「魂まつり」の参加、レポート提出 | 内藤 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |
| 15 | 仏教行事 (2) 仏教行事「成道会」「涅槃会」の参加、レポート提出 | 関 | 予習) 月の徳目の意味を調べる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 学んだことの中で実践できることを考える | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

仏教保育の優しさ、心の豊かな保育を理解し、保育の楽しさ、やりがいに繋げてもらいたいと思います。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは、授業終了後の休み時間内。質問は「manaba」でも受け付けます。

| 開講学年・時期 | | 授業科目名 | | 授業形態 | 担当者 |
|---|------------|----------------------------|-------|------|------|
| 2年後期 | | こども家庭支援の心理学 (H I F 1) | | 講義 | 高橋由起 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 2単位 | — | — | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 期末試験 | リアクションペーパー | 考察発表 | 実技 | 授業態度 | |
| 50% | 20% | 20% | — | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) 教材 適宜配布 | | | | | |

授 業 概 要

【授業内容・方法】

この授業は、生涯発達に関する心理学の基礎的知識を修得すること、子どもとその家族を包括的に捉える視点を習得することを目的として開設されている。専門職としてこの学びを実践の場で生かせるよう、事例検討を含めた演習課題やディスカッションも行う。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・事例検討に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

- ・子どもの初期経験の重要性、発達課題について理解し、説明できる。
- ・親子関係や家族関係等について多角的観点から理解し、説明できる。
- ・子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解し、説明できる。
- ・子どもの精神保健とその課題について理解し、説明できる。

【実務経験】

幼稚園・小、中学校での教務経験を活かし、保育現場の実際を総合的・実践的に捉えて講義を行う。

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | | 準備学習時間 |
|---------|---|---------------------------------|--|--------|
| 1 | オリエンテーション こども家庭支援の心理学とは生涯発達の区分 ①新生児期・乳児期の発達 | 予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握 | | 1時間 |
| | | 復習) 生涯発達の区分、新生児期・乳児期の発達についてまとめる | | 3時間 |
| 2 | 生涯発達 ②乳幼児期—認知機能の発達 | 予習) ヴィゴツキーの内言・外言を調べる | | 2時間 |
| | | 復習) 乳幼児期の認知発達についてまとめる | | 2時間 |
| 3 | 生涯発達 ②乳幼児期—情緒の発達・親子関係の変化について | 予習) ホスピタリズムについて調べる | | 2時間 |
| | | 復習) 乳幼児期の社会性発達についてまとめる | | 2時間 |
| 4 | 生涯発達 ③乳幼児期—社会性の発達 | 予習) エリクソン・ボウルビーの理論を調べる | | 2時間 |
| | | 復習) 乳幼児期の社会性発達をまとめる | | 2時間 |
| 5 | 生涯発達 ④児童期の発達 | 予習) メタ認知について調べる | | 1時間 |
| | | 復習) 児童期の発達についてまとめる | | 2時間 |
| 6 | 生涯発達 ⑤青年期・中年期の発達 | 予習) モラトリアムについて調べる | | 2時間 |
| | | 復習) 青年期の発達についてまとめる | | 2時間 |
| 7 | 生涯発達 ⑥成年・老年期の発達—認知機能の特徴について | 予習) 空の巣症候群について調べる | | 2時間 |
| | | 復習) 成年・老年期の発達についてまとめる | | 2時間 |
| 8 | こどもの精神保健とその課題 | 予習) 子どもの精神的課題について調べる | | 2時間 |
| | | 復習) 子どもの精神保健とその課題をまとめる | | 2時間 |
| 9 | 子育てを取り巻く社会的環境 | 予習) 現代社会の子育て環境を調べる | | 2時間 |
| | | 復習) 子育ての社会的環境をまとめる | | 2時間 |
| 10 | ライフコースと仕事・子育て | 予習) ワークライフバランスを調べる | | 2時間 |
| | | 復習) ライフコースについてまとめる | | 2時間 |
| 11 | 子どもの成長の喜びを共有する | 予習) 成長の喜びとは何かを考える | | 2時間 |
| | | 復習) 事例についてまとめる | | 2時間 |
| 12 | 保護者の養育力に資する支援 | 予習) 保護者の養育力とは何かを考える | | 2時間 |
| | | 復習) 事例についてまとめる | | 2時間 |
| 13 | 保護者支援の実際 | 予習) 保護者支援の例を調べる | | 2時間 |
| | | 復習) 事例についてまとめる | | 2時間 |
| 14 | 特別な配慮を要する家庭 | 予習) 特別な配慮を要する家庭について調べる | | 2時間 |
| | | 復習) 事例についてまとめる | | 2時間 |
| 15 | まとめと振り返り | 予習) 授業を振り返り、疑問等をまとめる | | 2時間 |
| | | 復習) 内容を振り返り、レポートを作成する | | 2時間 |

担当者からのメッセージ

乳幼児期は、生涯にわたる発達の中で最も大事な時期です。子どもの発達と家庭の関係について一緒に考えましょう。
【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|-------------------------|---------|-------|------|--|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年通年 | こどもの食と栄養 (H I F 4) | | | 演習 | 川田容子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 第3版子どもの食と栄養演習書 医歯薬出版株式会社2500円 |
| 2単位 | — | — | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | 参考書 保育所保育指針 幼稚園教育要領 授乳離乳の支援ガイド 食育計画作成ガイド |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| 70% | — | 30% | — | — | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

食事をおいしく楽しくとることが、心も体も健康に育つ上で基本となる。
 前期は、子どもの食生活の問題点について課題を通して考察するとともに、栄養の基礎、胎児期から離乳期の栄養を学ぶ。
 後期は、子どもの成長や身体状況を食機能の発達について課題を通して学ぶとともに、幼児期の栄養、乳幼児期の食育について実習を交えながら学ぶ。講義を中心に、グループワーク・プレゼンテーション・実習を取り入れる。

【フィードバックの方法】

授業内でフィードバックし 講評・解説を行い共有する。レポートは添削し返却する。

【授業の到達目標】

1. 健康な生活の基本として食生活の意義や栄養に関する基本的知識を説明ができるようになる。
2. 子どもの発育・発達と食生活の関連について説明できるようになる。
3. 食育の基本とその内容及び食育のための環境を理解し、食育指導案の作成ができるようになる。
4. 家庭や児童福祉施設における食生活の現状と課題について説明できるようになる。
5. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養について理解し、対応ができるようになる。

【実務経験】

地方自治体保育所主管課にて公立保育所の給食管理業務、食育指導、行政指導監査業務を経験。
 栃木県保育協議会研修・市町村保育所栄養士会研修にて保育士・栄養士の指導に携わる。

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | 準備学習時間 |
|---------|--|-----------------------|--------|
| 1 | オリエンテーション (講義・実習の進め方について説明する) 子どもの健康と食生活の意義 | 予習) シラバスを読む | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業資料を読み直す | 0.5時間 |
| 2 | 健康・食生活の現状と課題①【グループワーク】 | 予習) 子どもの健康と食生活の課題を下調べ | 1時間 |
| | | 復習) 発表準備 | 1時間 |
| 3 | 健康・食生活の現状と課題②【ディスカッション】 | 予習) 発表準備 | 1時間 |
| | | 復習) 課題レポート作成 | 1時間 |
| 4 | 体の成長発達とその評価 | 予習) 子どもの保健・子どもの発達の復習 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業資料を読み直す | 0.5時間 |
| 5 | 子どもの食べる機能の発達 | 予習) 教科書指定頁を読む | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業資料を読み直す | 0.5時間 |
| 6 | 乳児の発育と栄養 | 予習) 乳児期の発達を調べてくる | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業資料を読み直す | 0.5時間 |
| 7 | 調乳法実習 | 予習) 乳児保育・調乳の復習してくる | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題レポート作成 | 1時間 |
| 8 | 離乳食の役割・離乳食の進め方 | 予習) 乳児保育・離乳食の復習 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業資料を読み直す | 0.5時間 |
| 9 | *連続授業 離乳食の実際① 初期・中期【実習】 | 予習) 「授乳離乳の基本」を読んでくる | 1時間 |
| 10 | 離乳食の実際② 後期・移行期【実習】 | 復習) 課題レポート作成 | 1時間 |
| 11 | 栄養に関する基本知識① エネルギー代謝・糖質・脂質 | 予習) ダイエットと栄養について調べてくる | 1時間 |
| | | 復習) 授業資料を読み直す | 0.5時間 |
| 12 | 栄養に関する基本知識② たんぱく質・ビタミン | 予習) 筋力アップと栄養について調べてくる | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業資料を読み直す | 0.5時間 |
| 13 | 栄養に関する基本的知識③ ミネラル・小児の食事摂取基準 | 予習) 骨の成長と栄養について調べてくる | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業資料を読み直す | 0.5時間 |
| 14 | 栄養に関する基本的知識④ 小児期に必要な栄養素 | 予習) 栄養の基礎・授業をまとめておく | 1時間 |
| | | 復習) 課題レポート作成 | 1時間 |
| 15 | 胎児・妊娠期の生理と栄養・生涯発達と食生活 | 予習) 自分の食事記録をつけてくる | 0.5時間 |
| | | 復習) 定期試験準備 | 3時間 |

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | 準 備 学 習 時 間 |
|---------|--------------------------------------|------------------------|-------------|
| 16 | 幼児期の心身の発達と食生活① 心身の発達 | 予習) 子どもの保健・子どもの発達を復習 | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題レポート作成 | 1時間 |
| 17 | 幼児期の心身の発達と食生活② 食の育ち | 予習) 子どもの食の発達について下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題レポート作成 | 1時間 |
| 18 | 幼児期の心身の発達と食生活③ 食の課題と対応 【ディスカッション】 | 予習) 幼児期の食の課題について下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題レポート作成 | 1時間 |
| 19 | 幼児期の食生活・栄養の特徴 | 予習) 幼児期の食の特徴について下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業資料を読み直す | 0.5時間 |
| 20 | 児童福祉施設における食事と栄養 | 予習) 保育所給食の実態を調べてくる | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題レポート作成 | 0.5時間 |
| 21 | 学童期の心身の発達と食生活 | 予習) 学童期の食の課題について下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題レポート作成 | 1時間 |
| 22 | 食物アレルギーのある子どもへの対応 | 予習) 子どもの保健・アレルギーについて復習 | 1時間 |
| | | 復習) 授業資料を読み直す | 0.5時間 |
| 23 | 食育の基本 幼児期における食育と食育計画 | 予習) 食育に関する資料を集める | 1時間 |
| | | 復習) 自分で実施したい食育保育を考える | 0.5時間 |
| 24 | 食育の基本 食育年間計画作成 | 予習) 食育年間計画資料を集める | 1時間 |
| | | 復習) 課題レポートの作成 | 1時間 |
| 25 | 食育保育指導案作成 【グループワーク】 食育計画① | 予習) 年齢ごとの保育計画の特徴を見直す | 0.5時間 |
| | | 復習) 食育指導案作成 | 0.5時間 |
| 26 | 食育保育指導案作成 【グループワーク】 食育計画② | 予習) 食育指導案作成 | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表演習の準備 | 1時間 |
| 27 | 食育保育演習① 子どもへの食育の実際【演習】 | 予習) 発表演習の準備 | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題レポート | 1時間 |
| 28 | 食育保育演習② 子どもへの食育の実際【演習】 | 予習) 発表演習の準備 | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題レポート | 1時間 |
| 29 | 食育保育演習③ 子どもへの食育の実際【演習】 | 予習) 発表演習の準備 | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題レポート | 1時間 |
| 30 | 特別な配慮を要する子どもの食と栄養 障がいのある子どもへの対応 | 予習) 子ども保健・疾病について復習 | 1時間 |
| | | 復習) 定期試験準備 | 3時間 |

担当者からのメッセージ

子どもに食を伝えていくためには、保育者自らの「健康的な食生活を実践する力」が必要です。毎日の生活の中で食に興味関心を持ち、朝食の摂取やバランスの取れた食生活、食事のマナーを身につけるよう心がけましょう。

保育士資格取得必須科目であり、「保育の心理学」「子どもの保健」「家庭支援論」などの関連性が深く復習を踏まえた理解が必要です。当授業では、実習や教材研究を行うため、レポート等の提出があります。しっかり予習、復習を行い、積極的に授業に参加して下さい。

【オフィスアワー】 なお オフィスアワーは、担当授業修了後の休み時間です。質問はManabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|--|--------------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 乳児保育Ⅱ (H I G 2) | | | 演習 | 中野真樹 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | — | — | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | 演習発表 | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 30% | 30% | 30% | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書 『演習で学ぶ乳児保育』(わかば社・2020) 参考書 『幼稚園教育要領解説』(文部科学省・2018)『保育所保育指針解説』(厚生労働省・2018)『幼保連携認定こども園教育・保育要領』(文部科学省, 厚生労働省・2018) 教材 適宜配布する | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

乳児保育Iで得た知識をもとに、子どものかかわり方や援助についてさらに深く検討していく。環境を通した保育のなかで、3歳未満児の発達・発育を考慮しつつさまざまな観点を入れた保育の計画を立てることができるようになることを目標とする。授業は子どもの専門性に裏打ちされた保育技術の向上を目指すため、演習形式で行う。また、グループで一つの課題に取り組みグループワークを行い、授業時に学習成果を発表する。

【フィードバックの方法】

課題や実技・発表に関して授業時にフィードバックを行う。

【授業の到達目標】

- ・3歳未満児の発育・発達過程や特性を踏まえたかかわり方について理解する。
- ・養護と教育の一体性を理解し、3歳未満児の生活や遊びと保育の方法・環境構成について具体的に説明できる。
- ・乳児保育における配慮等について理解し、連携を意識した計画を立てることができる。

【実務経験】

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | | 準備学習時間 |
|------|---|---|----------------|--------|
| 1 | オリエンテーション・子どもと保育士等との関係の重要性 | 予習) 乳児保育における保育士の重要性を考える 復習) 乳児保育における保育士のかかわり方をまとめる | 0.5時間 0.5時間 | |
| 2 | 年齢ごとの発育・発達とその援助 | 予習) 0～3歳児の発育・発達について復習する 復習) 0～3歳児への援助についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 | |
| 3 | 子どもの生活(1) 食事の援助 | 予習) 乳児保育と食事について調べる 復習) 乳児の食事の援助についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 | |
| 4 | 子どもの生活(2) 排泄・睡眠の援助 | 予習) 乳児保育と排泄・睡眠について調べる 復習) 乳児保育の排泄・睡眠の援助についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 | |
| 5 | 子どもの生活(3) 着脱・移動の援助 | 予習) 乳児保育と着脱・移動について調べる 復習) 乳児保育の着脱・移動の援助についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 | |
| 6 | 子どもの生活(4) 清潔に関する援助 | 予習) 乳児保育における清潔について調べる 復習) 乳児保育と清潔に関する援助をまとめる | 0.5時間 0.5時間 | |
| 7 | 乳児保育における生活と環境構成 | 予習) 乳児保育における安全について調べる 復習) 乳児保育における生活と環境構成をまとめる | 0.5時間 0.5時間 | |
| 8 | 乳児保育における遊びと環境構成 | 予習) 乳児保育における遊びについて考える 復習) 乳児保育における遊びと環境構成をまとめる | 0.5時間 0.5時間 | |
| 9 | 健康・安全と情緒の安定のための配慮をふまえた保育計画 | 予習) 保育の一日の流れを構想する 復習) 授業をもとに保育計画を作成する | 0.5時間 0.5時間 | |
| 10 | 集団での生活に配慮した指導計画 | 予習) 集団のなかでの遊びについて考える 復習) 指導計画を作成する | 0.5時間 0.5時間 | |
| 11 | 指導計画に基づいた乳児保育の実践 | 予習) 指導計画をもとに実際の保育を構想する 復習) 指導計画の見直しを行う | 0.5時間 0.5時間 | |
| 12 | 乳児保育における計画及びその評価(グループ発表) | 予習) 発表資料の準備をする 復習) 評価を踏まえて目標を立案する | 0.5時間 0.5時間 | |
| 13 | 乳児保育と個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的なかかわりを考慮した個別的な指導計画について | 予習) 子どもの個性や発達の差について調べる 復習) 受容的・応答的なかかわりについてまとめる | 0.5時間 0.5時間 | |
| 14 | 保育所以外での乳児保育の実践について | 予習) 児童福祉法等での乳児保育について調べる 復習) 多角的な観点から乳児保育についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 | |
| 15 | まとめと振り返り | 予習) 授業の内容を復習する 復習) 自らの課題達成目標を作成する | 0.5時間 0.5時間 | |

担当者からのメッセージ

一人一人の子どもが心身ともに健康・安全であり、情緒が安定して過ごすために、保育者の専門性が不可欠です。さまざまな観点から保育の場のありかたを検討していき、自信をもって保育現場に臨めるよう、目標をもって授業に取り組んでください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜日の5コマ目です。

| | | | | | |
|---|--------------------------|---------|-------|------|---------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | こどもの健康と安全 (H I G 3) | | | 演習 | 佐々木 由美子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | — | — | ○ | | |
| 教科書 なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」(平成29年3月告示 文部科学省)・「保育所保育指針解説書」(平成29年3月告示 厚生労働省)・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省) | | | | | |
| 教材 適宜資料を配布する | | | | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 模擬保育 | 課題 | 授業態度 | |
| 50% | 20% | 10% | 10% | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

子どもの成長・発達、健康状態の観察、健康の維持増進に向けた養護技術、疾病や自己の予防や対応など、保育における保健的対応に必要な基礎的知識を学習するとともに、演習をとおして実践能力の向上を図る。適宜グループワークをおこない、意見の共有と課題の解決を図る。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパーは授業の中でフィードバックし、共有する。課題は授業で解説する。

【授業の到達目標】

- ・保育における保健的視点を踏まえた保育環境や援助について理解する。
- ・関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、衛生管理・事故防止・安全対策・災害対策について理解する。
- ・子どもの体調不良時に対する適切な対応について理解する。
- ・保育における感染症対策について理解する。
- ・子どもの成長・発達や健康増進に向けた具体的援助技術を習得する。
- ・子どもの健康および安全の管理に係る組織的取り組みや保健活動の計画および評価について理解する。

【実務経験】

臨床検査技師として小児病院に勤務(経験) 保育士キャリアアップ研修講師：保健衛生・安全対策(担当)

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | | 準備学習時間 |
|---------|-------------------------------|---|--|--------------|
| 1 | オリエンテーション、子どもの健康・安全と保育環境 | 予習) シラバスで授業内容・到達目標を把握 復習) 保育環境と援助についてまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 2 | 子どもの発育：測定と評価 | 予習) 母子手帳から自分の発達の様子を知る 復習) 子どもの定型発達についてまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 3 | 事故防止と安全対策・災害への備え | 予習) 保育現場で起こった事故を調べる 復習) 保育者ができる事故防止策をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 4 | 保育における保健的対応・アレルギー | 予習) アナフィラキシーについて調べる 復習) アレルギーへの対応方法をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 5 | 健康安全管理と健康教育① 健康安全管理と教育について | 予習) 健康・安全教育の例を調べる 復習) 健康・安全教育のあり方をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 6 | 健康安全管理と健康教育② 教材作成 | 予習) 教材作成の準備をする 復習) 教材を完成させ、工夫点をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 7 | 健康安全管理と健康教育③ 発表(模擬保育) | 予習) 模擬保育の準備をする 復習) 模擬保育の振り返りをする | | 0.5時間 1時間 |
| 8 | 個別的な配慮を要する子ども | 予習) 配慮の必要な子どもについて調べる 復習) 医療的ケア・LGBTQについてまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 9 | 子どもの心の健康① ストレス | 予習) 子どもの精神保健について調べる 復習) ストレスとその対応法をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 10 | 子どもの心の健康② さまざまな症状 | 予習) 精神的原因による症状を調べる 復習) さまざま症状とその対応をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 11 | 子どもの心の健康③ 発達障害等 | 予習) 発達障害について整理しておく 復習) 子どもの困り感とその対応をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 12 | 保育所における感染症対策・予防接種 | 予習) 感染症と予防接種について調べる 復習) 感染症対策についてまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 13 | 子どもの体調不良時の対応・心肺蘇生 | 予習) 子どもの体調不良の症状を調べる 復習) 体調不良時の対応をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 14 | 傷害および誤嚥・誤飲時の対応 | 予習) ケガや誤嚥・誤飲事故を調べる 復習) ケガや誤嚥・誤飲の対応法をまとめる | | 0.5時間 1時間 |
| 15 | 保健計画の作成と活用 | 予習) 保健計画作成の根拠を調べる 復習) 保健計画を完成させる | | 0.5時間 1時間 |

担当者からのメッセージ

保育者は子どもの命を守る仕事です。命の大切さ、命を守るといったことはどういうことかを真剣に考えていきましょう。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|------------------|---------|-------|------|--|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 社会的養護Ⅱ (HⅡG4) | | | 演習 | 池田法子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 なし 参考書 相澤仁他 編『社会的養護Ⅱ』中央法規、 2019. 2,200円(税別) 教材 適宜資料を配布 |
| 1単位 | — | — | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | 課題 | 実技 | 発表 | 授業態度 | |
| — | 60% | — | 20% | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

社会的養護を必要とする子ども本人への援助に加え、家族や地域、関係機関との連携の意義や方法について学ぶ。また、社会的養護に関わる相談援助の方法・技術、支援計画や記録について事例を通して解説する。授業では講義を中心に、グループワークやディスカッションを取り入れる。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパーや発表に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

- ・社会的養護を担う専門職としての保育士に求められる基本的知識や具体的な援助方法について理解できる。
- ・多様な課題を抱える子どもや家族を支援する方法を体得し、実践に活かすことができる。

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | | 準備学習時間 |
|------|--------------------------|-------------------------|--|--------|
| 1 | イントロダクション | 予習) シラバスを読む | | 0.5時間 |
| | | 復習) 施設実習を振り返る | | 0.5時間 |
| 2 | 社会的養護における子どもの理解① 事例の検討 | 予習) 子どもの特性・背景について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表する事例・場面について考える | | 0.5時間 |
| 3 | 社会的養護における子どもの理解② 脚本作り | 予習) 発表の流れ・脚本を考える | | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表の練習をする | | 0.5時間 |
| 4 | 社会的養護における子どもの理解③ 発表 | 予習) 発表の準備をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表を振り返る | | 0.5時間 |
| 5 | 社会的養護の内容① 日常生活支援 | 予習) 日常生活支援について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 6 | 社会的養護の内容② 心理的支援 | 予習) 心理的支援について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 7 | 社会的養護の内容③ 自立支援 | 予習) 自立支援について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 8 | 社会的養護の内容③ 自立支援 事例検討 | 予習) 事例から自立支援について検討する | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 9 | 愛着(アタッチメント)と施設養護 | 予習) 愛着(アタッチメント)について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 10 | 社会的養護に関わるソーシャルワーク① 知識・技術 | 予習) ソーシャルワークについて調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 11 | 社会的養護に関わるソーシャルワーク② 応用 | 予習) 事例に即したソーシャルワークを検討する | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 12 | 社会的養護における家庭支援 | 予習) 家庭支援について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 13 | 自立支援計画の作成① 基礎編 | 予習) 自立支援計画について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 14 | 自立支援計画の作成② 実践編 | 予習) 事例を検討し自立支援計画を作成する | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |
| 15 | 記録および自己評価 | 予習) 施設における記録について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の配布資料を復習する | | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

社会的養護を身近な問題として捉え、保育者に求められる知識や技術について実践的に考えていきましょう。
【オフィスアワー】月曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|--|------------------------|---------|-------|------|-------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 子育て支援 (H I I G 5) | | | 演習 | 西 敏 郎 |
| 単 位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | — | — | ○ | | |
| 教科書 「子育て支援」中山書店 2020 年 参考書 なし 教材 適宜配付 | | | | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 20% | 60% | — | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

近年、都市化・核家族化の影響により地域社会のコミュニティや家庭の形態も多様化してきた。結果、現代において育児と就労の両立の困難、子育て不安、子育ての孤立化、虐待、貧困、ひとり親などが社会問題化してきている。本授業ではそういった背景を踏まえながら、行政による子育て支援システムと、現代において変化を見せる子育て支援について理解・考察をする。

【フィードバックの方法】

リアクションペーパー・事例検討・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

- ・家庭の背景となる社会実態や社会動向を理解する。
- ・子育て支援の具体的方法とその社会資源を理解する。
- ・子どもの生活環境や生活内容の態様と多様性を理解し柔軟に支援できる視点を持つ。

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | 準 備 学 習 時 間 |
|---------|--|-----------------------------|-------------|
| 1 | オリエンテーション 保育所の役割と専門性の解説 | 予習) シラバスの内容・到達目標の把握 | 0.5時間 |
| | | 復習) 今後の授業内容についてまとめる | 0.5時間 |
| 2 | 保育所の行う子育て支援の特性 | 予習) 教科書 (p3～33) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 3 | 保育所における子育て支援とは | 予習) 教科書 (p3～33) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 4 | 子ども・保護者が多様な他者とのかかわる機会や場の提供 | 予習) 教科書 (p34～37) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 5 | 支援の計画と環境の構成 | 予習) 教科書 (p52～58) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 6 | 支援の実践 (記録・評価・カンファレンス) | 予習) 教科書 (p59～62) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 7 | 職員間の連携と協働 | 予習) 教科書 (p63～70) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 8 | 子育て支援における保育者の役割 | 予習) 教科書 (p80～87) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 9 | 特別な配慮を要する子どもと家庭への支援① (気になる子や発達障害児への支援) | 予習) 教科書 (p105～112) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 10 | 特別な配慮を要する子どもと家庭への支援② (ひとり親家庭や外国籍課程への支援) | 予習) 教科書 (p113～121) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 11 | 要保護児童家庭に対する支援 | 予習) 教科書 (p137～140) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 12 | 児童虐待事例から学ぶ (事例1) | 予習) 教科書 (p142～156) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 13 | 援助を拒む家庭への支援 (事例2) | 予習) 教科書 (p157～159) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 14 | 文化によって多様な子育て支援 | 予習) 教科書 (p162～170) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |
| 15 | 子育て支援の現状と課題 | 予習) 教科書 (p172～177) を読み考察する。 | 0.5時間 |
| | | 復習) 授業の内容をまとめる | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

保育所は単体では存在せず、各社会資源と連携を取り合って日々の保育を行っています。最初のそれらを解説します。そして各関係機関の役割を把握し、各社会資源と連携のとれる保育士になってください。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは火曜日 5 コマ目です。質問は「manaba」でも受け付けます。

| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
|-----------------------|---------------------------------|---------|-------|------|---|
| 2年前期 | こどもと音楽（ピアノⅡ） （ H I I G 7 # ） | | | 演習 | 高橋由起・浅野香織・須藤ちひろ 須永多恵子・田部井玲奈 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 【ピアノ曲】 ・ブルグミュラー 25 の練習曲 ・ブルグミュラー 18 の練習曲 ・ソナチネ、ソナタアルバム 他 【童謡集】 ・びっこりーの 他 参考書 教材 |
| 1単位 | * | * | * | # | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| ピアノ実技試験 | 童謡弾き歌い試験 | — | — | — | |
| 60% | 40% | — | — | — | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

この授業では、「こどもと音楽（ピアノⅠ）」で習得した基本的なピアノ技術を踏まえて、より豊かな表現で演奏するための技術を学ぶ。また、保育者として必要とされる童謡の弾き歌いの様々な表現方法を深めていく。保育の現場における実践へと繋がるように、実習園での曲も同時に習得する。

童謡の弾き歌い課題曲にはマーチ、子守歌をそれぞれ1曲以上含むこととする。

【フィードバックの方法】

それぞれの担当教員との実技レッスンの中で、即自的に演奏のアドバイスや歌唱方法の講評などを通し、フィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・童謡5曲以上を弾き歌いし、実践の場で活用できる。
- ・マーチ、子守歌を2曲以上を弾くことができる。
- ・ピアノ曲を豊かな表現で演奏することができる。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|--|--|--|--------|
| 1 | 授業概要・到達目標について 評価方法・規定曲数 個別の練習方法について | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。練習計画を作成する。 | | 0.5時間 |
| 2 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (めだかの学校・こいのぼり 他 春の歌) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで難しい点を挙げる。 | | 0.5時間 |
| 3 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (おべんとうのうた・おかえりのうた 他 生活の歌) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いをメトロノームを使い、付点のリズムが出来ているか確認する。 | | 0.5時間 |
| 4 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (どこでねるの・こもりうた 他) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで歌とピアノの強弱のバランスを考えて復習する。 | | 0.5時間 |
| 5 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (大きな古時計・あめふりくまのこ 他 6月の歌) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで情景や物語の描写が伝わるように練習する。 | | 0.5時間 |
| 6 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (たなばたさま・はたるこい・うみ 他 夏の歌) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、テンポ感と情景の関連について考えながら練習する。 | | 0.5時間 |
| 7 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (ふしぎなポケット・せかいじゅうのこどもたちが) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、歌詞が伝わる歌い方について考えながら練習する。 | | 0.5時間 |
| 8 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (うちゅうせんのうた・線路は続くよどこまでも 他) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、曲中の掛け声の抑揚について考えながら練習する。 | | 0.5時間 |
| 9 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (ぞうさん・アイアイ・犬のおまわりさん 他) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、歌詞の意を強調するための工夫について考えながら練習する。 | | 0.5時間 |
| 10 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (さんぽ・君をのせて・小さな世界・ドレミのうた) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、オリジナルの世界観を表現するための工夫について考えながら練習する。 | | 0.5時間 |
| 11 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (きのこ・どんぐりころころ・まっかな秋 秋の歌) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで情景を伝える伴奏の弾き方について考えながら練習する。 | | 0.5時間 |
| 12 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (北風小僧の寒太郎・コンコンクサン 冬の歌) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで曲が活きるテンポ感について考えながら練習する。 | | 0.5時間 |
| 13 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (子守歌、マーチ) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、子守歌とマーチの役割とは何かについて考えながら表現する。 | | 0.5時間 |
| 14 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (思い出のアルバム・一年生になったら 他) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いで、半長カラスや半音の時期にどのような声掛けをするかを想定して練習する。 | | 0.5時間 |
| 15 | ピアノ個別実技指導 弾き歌いの実践 (試験曲のレッスン) | 予習) 課題曲を練習する。 | | 0.5時間 |
| | | 復習) 課題曲を復習する。童謡の弾き歌いでこれまでの学びを活かし、選んだ課題曲を十分に表現しながら練習する。 | | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

ピアノを弾きながら童謡を歌うという技術はとても特殊で難しい技術です。保育現場を想定して、子どもが歌いやすく、表現しやすい伴奏の音量、曲のテンポ、リードしやすい歌声を考えましょう。ピアノ曲を演奏する際の表現力もさらに深め、実践で活かすことの出来る音楽表現を身につけていきましょう。

【オフィスアワー】専任教員のオフィスアワーは水曜日5コマ目です。

| | | | | | |
|-------------------------------------|------------------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 総合表現Ⅰ 〈 H I G 1 3 〉 | | | 演習 | 茂木克浩 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | * | — | # | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | レジュメ | 活動内容案 | 授業態度 | |
| — | — | 35% | 35% | 30% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書 文献については受講者の関心等を踏まえて授業内にて指示する | | | | | |
| 参考書 「中学生からの論文入門」小笠原喜康ほか 講談社 | | | | | |
| 教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、造形表現、アート、デザイン、多元的共生社会の実現といった視点から課題に迫っていく。第3回～7回の授業では美術教育、アートに関する文献を読んだ後、受講者同士での意見交換を通して課題探求に必要な基礎的な知識の獲得を目指す。そのために文献の内容をレジュメにまとめる。第8回以降の授業ではグループに分かれ、修学前施設や学園祭等で実施することを想定した子ども向けの造形活動のプランを作成する。

【フィードバックの方法】

文献精読については毎回発表をもとに解説を行う。活動案については適宜アドバイスをし、プレ実施後に講評を行う。

【授業の到達目標】

- ・文献内容を的確に把握しレジュメにまとめることができる。
- ・自らの意見をもち、意欲的に討議に参加することができる。
- ・課題解決にむけて各グループで具体的なプランを制作することができる。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|-----------------------------------|-------------|-----------------------|--------|
| 1 | オリエンテーション | 予習 | 自分が関心をもっていることについてまとめる | 0.5時間 |
| | | 復習 | どのような資料を読みたいか考える | 0.5時間 |
| 2 | 自己紹介・資料の検索の仕方・読み方 | 予習 | これまでの資料検索の仕方を振り返る | 0.5時間 |
| | | 復習 | 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 3 | 文献精読・発表・討議1 | 予習 | 文献の該当部まで読み、内容をまとめる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 討議を踏まえ自分の考えをまとめる | 0.5時間 |
| 4 | 文献精読・発表・討議2 | 予習 | 文献の該当部まで読み、内容をまとめる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 討議を踏まえ自分の考えをまとめる | 0.5時間 |
| 5 | 文献精読・発表・討議3 | 予習 | 文献の該当部まで読み、内容をまとめる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 討議を踏まえ自分の考えをまとめる | 0.5時間 |
| 6 | 文献精読・発表・討議4 | 予習 | 文献の該当部まで読み、内容をまとめる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 討議を踏まえ自分の考えをまとめる | 0.5時間 |
| 7 | 文献精読・発表・討議5 | 予習 | 文献の該当部まで読み、内容をまとめる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 討議を踏まえ自分の考えをまとめる | 0.5時間 |
| 8 | ワークショップについて、グループでの課題設定 | 予習 | ワークショップについて調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 設定した課題にあった活動を考える | 0.5時間 |
| 9 | グループでの子ども向け造形表現活動内容検討1 | 予習 | 活動を具体化するのに必要なことを調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | 検討した結果を踏まえ活動を再考する | 0.5時間 |
| 10 | グループでの子ども向け造形表現活動内容検討2 プレゼン準備 | 予習 | 活動を具体化するのに必要なことを調べる | 0.5時間 |
| | | 復習 | プレゼンの準備を行う | 0.5時間 |
| 11 | 活動案についてのプレゼンテーション・討議 | 予習 | プレゼンの準備を行う | 0.5時間 |
| | | 復習 | 討議の結果をもとに活動を修正する | 0.5時間 |
| 12 | グループでの子ども向け造形表現活動内容検討3 プレ実施準備1 | 予習 | 活動の具体的な進め方考える | 0.5時間 |
| | | 復習 | 活動プランを作成する | 0.5時間 |
| 13 | グループでの子ども向け造形表現活動内容検討4 プレ実施準備2 | 予習 | 活動プランを作成する | 0.5時間 |
| | | 復習 | プレ実施に向けた準備を行う | 0.5時間 |
| 14 | 子ども向け造形表現活動内容のプレ実施 | 予習 | プレ実施に向けた準備を行う | 0.5時間 |
| | | 復習 | プレ実施から見えた成果と課題をまとめる | 0.5時間 |
| 15 | プレ実施の振り返りと総合表現Ⅱにむけた説明 | 予習 | 活動の修正案を考える | 0.5時間 |
| | | 復習 | 個人の研究テーマを考える | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

アートは人にはなくてはならない生の技法です。誰もが豊かに暮らせる社会をつくるために、アートやデザインができることとは何かを一緒に考えていきましょう。悩むことを楽しみながら、仲間たちと一緒に探求できる人の履修を期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜4コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|---|------------------------|----------|-------|------|---------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 総合表現Ⅰ 〈 H I G 1 3 〉 | | | 演習 | 佐々木 由美子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | * | — | # | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| レジュメ | 発表 | 研究への取り組み | 実技 | 授業態度 | |
| 20% | 30% | 30% | — | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書 文献については受講者の関心等を踏まえて授業内にて指示します 参考書 幼稚園教育要領解説（平成30年3月文部科学省）、保育所保育指針解説（平成30年3月厚生労働省）、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説（平成30年3月文部科学省・厚生労働省）など 教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、子どもの理解と援助の視点から課題に迫っていく。子どもの問題に関する文献を読んでもらった後、受講者同士での意見交換を通して課題探求に必要な専門的な知識の獲得を目指す。そのために文献の内容を文章でまとめもらう。まとめた文献内容の発表をおこなう。

【フィードバックの方法】

作成したレジュメおよび発表内容に関しては授業の中で解説を行う。

【授業の到達目標】

- ・文献内容を的確に把握しレジュメにまとめることができる。
- ・自らの意見をもち、意欲的に討議に参加することができる。
- ・課題解決にむけて具体的なプランを制作することができる。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|---------------------|-----------------------|--|--------|
| 1 | オリエンテーション | 予習) 各教員のシラバスを読む | | 1時間 |
| | | 復習) 研究イメージをつくる | | 1時間 |
| 2 | 資料の読み方・関心のあるテーマについて | 予習) 文献の内容をレジュメにまとめる | | 1時間 |
| | | 復習) 討議した内容等をもとにノートを整理 | | 1時間 |
| 3 | 文献輪読・討議① | 予習) 文献の内容をレジュメにまとめる | | 1時間 |
| | | 復習) 討議した内容等をもとにノートを整理 | | 1時間 |
| 4 | 文献輪読・討議② | 予習) 文献の内容をレジュメにまとめる | | 1時間 |
| | | 復習) 討議した内容等をもとにノートを整理 | | 1時間 |
| 5 | 文献輪読・討議③ | 予習) 文献の内容をレジュメにまとめる | | 1時間 |
| | | 復習) 討議した内容等をもとにノートを整理 | | 1時間 |
| 6 | 文献輪読・討議④ | 予習) 文献の内容をレジュメにまとめる | | 1時間 |
| | | 復習) 討議した内容等をもとにノートを整理 | | 1時間 |
| 7 | 文献輪読・討議⑤ | 予習) 文献の内容をレジュメにまとめる | | 1時間 |
| | | 復習) 討議した内容等をもとにノートを整理 | | 1時間 |
| 8 | 文献輪読・討議⑥ | 予習) 文献の内容をレジュメにまとめる | | 1時間 |
| | | 復習) 討議した内容等をもとにノートを整理 | | 1時間 |
| 9 | 文献輪読・討議⑦ | 予習) 文献の内容をレジュメにまとめる | | 1時間 |
| | | 復習) 討議した内容等をもとにノートを整理 | | 1時間 |
| 10 | 文献検索（関心のあるテーマについて） | 予習) テーマを再考する | | 1時間 |
| | | 復習) 活動内容を計画する | | 1時間 |
| 11 | 文献精読・まとめ① | 予習) 文献を準備する | | 1時間 |
| | | 復習) 文献の内容をまとめる | | 1時間 |
| 12 | 文献精読・まとめ② | 予習) 文献を準備する | | 1時間 |
| | | 復習) 文献の内容をまとめる | | 1時間 |
| 13 | 文献精読・まとめ③ | 予習) 文献を準備する | | 1時間 |
| | | 復習) 文献の内容をまとめる | | 1時間 |
| 14 | まとめた文献について発表 | 予習) 発表の準備をする | | 1時間 |
| | | 復習) 発表の振り返りをする | | 1時間 |
| 15 | 発表の振り返りと総合表現Ⅱにむけた説明 | 予習) これまでの研究の振り返りをまとめる | | 1時間 |
| | | 復習) 授業の全体の感想等をまとめる | | 1時間 |

担当者からのメッセージ

子どもが抱えるさまざまな問題に向き合い、子どもの最善の利益に着目しながらその援助方法について、仲間と一緒に探求できる人が履修してくれることを期待しています。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|--|------------------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 総合表現Ⅰ 〈 H I G 1 3 〉 | | | 演習 | 中野真樹 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | * | — | # | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | グループワーク | 発表 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 40% | 40% | — | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書なし 参考書『幼稚園教育要領解説』（文部科学省・2018）『保育所保育指針解説』（厚生労働省・2018）『幼保連携認定こども園教育・保育要領』（文部科学省，厚生労働省・2018） 教材 適宜配布する | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、言葉に関わる保育の研究テーマを各自の興味・関心をもとに探求していく。言語表現技術、言葉を育む児童文化財、多文化共生保育と言葉などテーマを設定して課題を発見し、先行研究を参照しつつ自分の論を展開していく。また、後半はグループに分かれ保育の言語表現技術に関わる発表に向けたグループワークを行う。

【フィードバックの方法】

グループワークや発表に関して授業時にフィードバックを行う。

【授業の到達目標】

- ・研究テーマに沿った文献を探して読み、概要をまとめて説明できるようになる。
- ・課題を見つけ解決していく方法を知り、実際に働きかけることができるようになる。
- ・グループで意見を交わしながら一つの課題に協力して取り組めるようになる。

【実務経験】

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|-----------------------|-------------------------|--|--------|
| 1 | オリエンテーション・自己紹介 | 予習) 言語に関する自分の研究テーマを考える | | 0.5時間 |
| | | 復習) 興味のあることについて調べをする | | 0.5時間 |
| 2 | 文献の探し方、読み方、 | 予習) 文献の探し方について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 指定された論文を入手し、読む | | 0.5時間 |
| 3 | 文献のまとめ方 | 予習) 論文を読みその枠組みを把握する | | 0.5時間 |
| | | 復習) 論文の概要をまとめる | | 0.5時間 |
| 4 | 文献講読 (1) タイトル、章立てについて | 予習) 論文のタイトルや章立ての特徴を考える | | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表内容の構想とタイトルを考える | | 0.5時間 |
| 5 | 文献講読 (2) 論の構成 | 予習) 論文の構成の骨子をとらえる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表内容の構成を考える | | 0.5時間 |
| 6 | 文献講読 (3) 引用文献の活用方法 | 予習) 発表内容に関連する文献を探す | | 0.5時間 |
| | | 復習) 参考文献一覧を作成する | | 0.5時間 |
| 7 | 文献講読 (4) 論文のレビューについて | 予習) 参考文献一覧の論文を入手する | | 0.5時間 |
| | | 復習) 参考文献一覧の論文を読み、まとめる | | 0.5時間 |
| 8 | 文献講読 (5) 論文の形式とは | 予習) 論文の形式をまとめる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表資料の枠組みと形式を作成する | | 0.5時間 |
| 9 | グループワーク・課題の設定 | 予習) 自分の発表構想をまとめる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 他学生の課題の内容をまとめる | | 0.5時間 |
| 10 | グループワーク・発表計画案の作成 | 予習) 発表計画の内容を考える | | 0.5時間 |
| | | 復習) 他学生の発表計画内容をまとめる | | 0.5時間 |
| 11 | グループワーク・発表のプレゼン | 予習) 発表資料の構想をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表資料を作成する | | 0.5時間 |
| 12 | グループワーク・計画の再検討、準備 | 予習) 発表資料の準備をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) 計画を再検討し、資料を修正する | | 0.5時間 |
| 13 | 発表の準備、検討 | 予習) 発表の練習をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) フィードバックをもとに資料を再検討する | | 0.5時間 |
| 14 | 発表 | 予習) 発表資料、発表原稿を準備する | | 0.5時間 |
| | | 復習) 他学生の発表内容をまとめる | | 0.5時間 |
| 15 | まとめと振り返り、総合表現Ⅱに向けて | 予習) 他学生の発表内容を評価する | | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表内容を振り返り、まとめる | | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

2年間の学びをふまえ、自らテーマを設定し研究を行います。総合表現Ⅰでは、基礎的な文献リファレンス、論文購読、レビューなどを行い、研究論文の執筆準備をします。また、個々人でテーマに基づいた発表を行います。自分の興味関心が合致しているかよく確認してから受講してください。キーワードは言語獲得・言語発達、言語と情報保障、言語と多様性、言語と児童文化財です。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜日の5コマ目です。

| | | | | | |
|--|------------------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 総合表現Ⅰ (H I G 1 3 #) | | | 演習 | 高橋由起 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | * | — | # | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 平常試験 | 定期試験 | 実技発表 | 研究内容 | 授業態度 | |
| — | — | 50% | 40% | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書 ピアノ教本、童謡集等、受講者のレベルに応じて適宜指示します。 | | | | | |
| 参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、保育所保育指針解説(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説(平成30年3月文部科学省・厚生労働省)など | | | | | |
| 教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

保育に関する課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、音楽作品がどのような経緯で作曲され、どう表現されることが一番楽曲が活きるのかを理論と実践の両面から研究、考察していく。

各自研究する曲を決め、作曲家(或いは作詞者)や楽曲について文献や資料を元に調べ、まとめる。それを踏まえた上でどう演奏されるべきなのか、実際に演奏することで表現を深め、研究成果発表とする。

【授業の到達目標】

- ・文献内容を的確に把握しレジュメにまとめることができる。
- ・調べた内容を元に、楽曲の表現について深く考えることができる。
- ・表現を伴って楽器を演奏することができる。

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | | 準備学習時間 |
|------|----------------------------|---------------------------------|----------------------------------|----------------|
| 1 | 自己紹介・オリエンテーション | 予習) 自分が表現したい曲をリストアップする | 復習) 文献についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 2 | 楽曲にまつわる研究内容について | 予習) 選曲した課題曲を練習する | 復習) 必要な文献をリストアップする | 0.5時間 0.5時間 |
| 3 | 作曲家(或いは作詞家)についての調べ方 | 予習) 作曲家に関する文献を読む | 復習) 作曲家についてポートフォリオでまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 4 | 作曲家(或いは作詞家)の人生、交友関係、人物について | 予習) 作曲家に関する文献を読む | 復習) 学んだ内容をポートフォリオに追加する | 0.5時間 0.5時間 |
| 5 | 課題曲が作曲された時代について | 予習) 必要な文献を集め、目を通しておく | 復習) 曲に関してのポートフォリオをまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 6 | 課題曲が作曲された目的やその背景について | 予習) 必要な文献を集め、目を通しておく | 復習) 学んだ内容をポートフォリオに追加する | 0.5時間 0.5時間 |
| 7 | 実技演習1: 楽譜を読み解く | 予習) 選曲した課題曲の楽譜を細部まで見て練習しておく | 復習) 楽譜で見落とししていた部分についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 8 | 実技演習2: 楽語や強弱記号の意図するところ | 予習) 課題曲内の楽語や強弱記号をチェックし、意味を調べておく | 復習) 曲の中で意図された記号についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 9 | 実技演習3: 課題曲のまとめ | 予習) 実技演習1・2を踏まえた解釈で曲を練習しておく | 復習) 意図された内容が音になるためにはどうしたら良いかまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 10 | 実技演習4: 発表① 意見交換 | 予習) 発表の準備を行う | 復習) 自身の発表に向けて活かせる内容をまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 11 | 実技演習5: 発表② 意見交換 | 予習) 発表の準備を行う | 復習) 自身の演奏に活かせる内容をまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 12 | 実技演習6: 発表③ 意見交換 | 予習) 発表の準備を行う | 復習) 全体の発表を終えた上でもう一度課題曲を演奏する | 0.5時間 0.5時間 |
| 13 | 保育現場における音楽表現の重要性について | 予習) 保育現場での音楽表現の問題点を調べる | 復習) 現場で必要な音楽表現についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 14 | 課題曲を用いた表現の可能性について | 予習) 前期に選曲した課題曲を復習しておく | 復習) 深められた表現について楽譜にまとめておく | 0.5時間 0.5時間 |
| 15 | 前期の振り返りと後期課題曲、総合表現Ⅱに向けて | 予習) 楽曲の研究方法についてまとめておく | 復習) 個人の研究テーマを考える | 0.5時間 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

音楽は時間と共に消えてしまう芸術です。では何故素晴らしい音楽や演奏は人の心に残るのでしょうか。人は何に感動しているのでしょうか?子ども達に音楽を通して伝えられる事は何なのでしょう?全ては「音楽」を紐解くところから始まります。実技レベルは問いませんが、意欲があり、変化を楽しむことの出来る人の受講を期待します。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|--|----------------------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 総合表現Ⅱ (H I I G 1 4 #) | | | 演習 | 茂木克浩 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | * | — | # | | |
| 教科書なし 参考書 「中学生からの論文入門」小笠原喜康ほか 講談社 各自の研究課題に応じて適宜指示する | | | | | |
| 教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します | | | | | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、造形表現、アート、デザイン、多面的共生社会の実現といった視点から課題に迫っていく。保育に関わる研究課題を自ら設定した後、研究計画を立て、それにそって研究を進めていく。

各自で設定した課題に合わせて、制作や造形表現活動のプラン制作、文献調査等を通して解決を目指していく。研究の成果については、報告書にまとめると共に、それをもとに成果発表会においてポスター発表や口頭発表の形式で発表する。また成果発表会へ参加した感想等を、レポートとして提出してもらおう。成果発表はテストと同じ扱いとし参加を必須とする。

【フィードバックの方法】

それぞれの研究内容について適宜進行状況の確認とアドバイスをする。予行演習後に講評を行う。

【授業の到達目標】

- ・自ら保育に関する課題を設定し、その解決に向けて計画的に研究活動に取り組むことができる。
- ・自ら研究してきた内容を報告書としてまとめることができる。
- ・研究成果を魅力的に伝えるために、スライドやポスターのデザイン等を工夫できる。

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | | 準備学習時間 |
|------|---------------------------------|-------------------------|--|--------|
| 1 | 研究課題について討議、研究計画立案 | 予習) 研究課題を決定し先行研究について調べる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 研究計画を立案完成させる | | 1時間 |
| 2 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等1 | 予習) 研究内容に応じて調査・準備をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う | | 0.5時間 |
| 3 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等2 | 予習) 研究内容に応じて調査・準備をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う | | 0.5時間 |
| 4 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等3 進行状況の報告1 | 予習) 研究内容に応じて調査・準備をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う | | 0.5時間 |
| 5 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等4 進行状況の報告2 | 予習) 研究内容に応じて調査・準備をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) 中間報告用の資料を作成する | | 1時間 |
| 6 | 中間報告・討議1 | 予習) 中間報告用のスライドを作成する | | 1時間 |
| | | 復習) 自分の研究計画を修正する | | 0.5時間 |
| 7 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等5 進行状況の報告3 | 予習) 研究内容に応じて調査・準備をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う | | 0.5時間 |
| 8 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等6 進行状況の報告4 | 予習) 研究内容に応じて調査・準備をする | | 0.5時間 |
| | | 復習) 中間報告用の資料を作成する | | 1時間 |
| 9 | 中間報告・討議2 | 予習) 中間報告用のスライドを作成する | | 1時間 |
| | | 復習) 自分の研究計画を修正する | | 0.5時間 |
| 10 | プレゼン資料作成1 | 予習) 研究内容に応じて調査・準備をする | | 1時間 |
| | | 復習) 報告書の修正を行う | | 1時間 |
| 11 | プレゼン資料作成2 | 予習) プレゼン資料を制作する | | 1時間 |
| | | 復習) 報告書の修正を行う | | 1時間 |
| 12 | プレゼン資料作成3 | 予習) プレゼン資料を制作する | | 1時間 |
| | | 復習) 報告書の修正を行う | | 1時間 |
| 13 | 成果発表会予行演習(授業内成果発表会) | 予習) プレゼン資料を制作する | | 1時間 |
| | | 復習) 予行演習の結果からスライドを修正する | | 1時間 |
| 14 | プレゼン資料作成4 | 予習) プレゼン資料のデザインを調整する | | 1時間 |
| | | 復習) 成果発表会の発表準備をする | | 1時間 |
| 15 | 講評・まとめ | 予習) 成果発表会の成果と課題についてまとめる | | 0.5時間 |
| | | 復習) 研究活動の成果と課題についてまとめる | | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

短期大学での学びの集大成として、自ら課題を見つけそれを探求していきましょう。本授業においては作品制作や活動案の作成を行うことは目的ではなく、課題探求の手段として位置づけます。そのため美術に関する高い技能は必要ありません。自ら設定した課題解決に向けて、計画的に、途中で投げ出すことなく粘り強く取り組める人の履修を期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜4コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|---|----------------------------|----------|-------|------|---------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 総合表現Ⅱ 〈 H I I G 1 4 # 〉 | | | 演習 | 佐々木 由美子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | * | — | # | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| レジュメ | 成果発表 | 研究への取り組み | 実技 | 課題 | |
| 10% | 50% | 30% | — | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書 文献については受講者の関心等を踏まえて授業内にて指示します 参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、保育所保育指針解説(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説(平成30年3月文部科学省・厚生労働省)など 教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、子どもの理解と援助の視点から課題に迫っていく。保育に関わる研究課題を自ら設定し、研究計画を立案し、それにそって研究を進めていく。個人で解決を目指す課題を設定し、それに合わせた調査・研究活動のプラン制作、文献調査等を通して解決を目指していく。研究の成果については、成果発表会においてポスター発表や口頭発表の形式で発表する。成果発表はテストと同じ扱いとし、参加を必須とする。成果発表会へ参加した感想等を、レポートとして提出してもらおう。

【フィードバックの方法】

研究計画や進行状況・中間報告・プレゼンについては授業の中でフィードバックする。レポートはmanabaのレポート機能を使用して、フィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・自ら保育に関する課題を設定し、その解決に向けて計画的に研究活動に取り組むことができる。
- ・自ら研究してきた内容を簡潔にまとめ、わかりやすい発表をすることができる。

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | | 準 備 学 習 時 間 |
|---------|----------------------------------|-----------------------|-----------------------|-------------|
| 1 | 研究課題について討議、研究計画立案 | 予習) 先行研究をまとめる | 復習) 研究計画を完成させる | 1時間 1時間 |
| 2 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等① | 予習) 研究内容の準備 | 復習) 研究内容をまとめる | 1時間 1時間 |
| 3 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等② | 予習) 研究内容の準備 | 復習) 研究内容をまとめる | 1時間 1時間 |
| 4 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等③・ 進行状況の報告1 | 予習) 研究内容の準備 | 復習) 研究内容をまとめる | 1時間 1時間 |
| 5 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等④・ 進行状況の報告2 | 予習) 研究内容の準備 | 復習) 研究内容をまとめる | 1時間 1時間 |
| 6 | 中間報告・討議① | 予習) 研究内容配布資料の準備と発表の準備 | 復習) 討議した内容等をもとに計画の見直し | 1時間 1時間 |
| 7 | 中間報告・討議② | 予習) 研究内容配布資料の準備と発表の準備 | 復習) 討議した内容等をもとに計画の見直し | 1時間 1時間 |
| 8 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等⑤・ 進行状況の報告3 | 予習) 研究内容の準備 | 復習) 研究内容をまとめる | 1時間 1時間 |
| 9 | 各研究内容に応じて制作・プラン作成等⑥・ 進行状況の報告4 | 予習) 研究内容の準備 | 復習) 研究内容をまとめる | 1時間 1時間 |
| 10 | プレゼン資料作成① | 予習) プレゼン資料作成の準備 | 復習) プレゼン資料の再考 | 1時間 1時間 |
| 11 | プレゼン資料作成② | 予習) プレゼン資料作成の準備 | 復習) プレゼン資料の再考 | 1時間 1時間 |
| 12 | プレゼン資料作成③ | 予習) プレゼン資料作成の準備 | 復習) プレゼン資料の再考 | 1時間 1時間 |
| 13 | プレゼン資料作成④ | 予習) プレゼン資料作成の準備 | 復習) プレゼン資料の再考 | 1時間 1時間 |
| 14 | プレゼンリハーサル① | 予習) 発表の準備 | 復習) プレゼン資料の再考および修正 | 1時間 1時間 |
| 15 | プレゼンリハーサル② 講評・まとめ | 予習) プレゼン資料を完成させる | 復習) 講評を基に発表本番に向けて発表練習 | 1時間 1時間 |

担当者からのメッセージ

短期大学での学びの集大成として自ら課題を見つけそれを探求していきましょう。自らみつけた課題解決に向けて、途中で投げ出すことなく粘り強く取り組める人が履修してくれることを期待しています。

【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|---|--------------------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 総合表現Ⅱ 〈 H I I G 1 4 〉 | | | 演習 | 中野真樹 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | * | — | # | | |
| 教科書なし 参考書 『幼稚園教育要領解説』（文部科学省・2018）『保育所保育指針解説』（厚生労働省・2018）『幼保連携認定こども園教育・保育要領』（文部科学省，厚生労働省・2018） 教材 適宜配布する | | | | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | グループワーク | 成果発表 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 30% | 50% | — | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

この授業では「言葉」をキーワードに、言語表現技術や保育と言葉との関連等について、各自の興味・関心・問題意識をもとに研究テーマを設定し、探求していく。取り扱うことのできるテーマは、子どもの言語獲得・言語発達、保育と情報保障（点字、手話、情報機器を活用した言葉の支援、外国籍の子どもへの言語対応、その他多様な背景を持つ子どもへの言葉とコミュニケーションの支援）、領域「言葉」に関連する児童文化財研究等である。研究に際しては自ら研究計画を作成し、調査や討論を通して基礎的な研究方法や発表方法を身に付け、グループワークの中でピアレビュー等も行う。研究の成果については、成果発表会においてポスター発表や口頭発表の形式で発表する。

【フィードバックの方法】

グループワークや発表に関して授業時にフィードバックを行う。

【授業の到達目標】

- ・自ら保育に関する研究課題を設定し、解決に向けて基礎的な研究・調査方法を知り研究を遂行することができる。
- ・研究内容を分かりやすくまとめ、効果的な発表資料を作成できるようになる。
- ・研究成果をまとめ、基本的な形式にしたがって発表や文章化ができる。

【実務経験】

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習（予 習・復 習） | 準 備 学 習 時 間 |
|---------|--------------------|-------------------------|-------------|
| 1 | オリエンテーション、計画説明 | 予習) 自らの研究課題を検討する | 0.5時間 |
| | | 復習) 研究計画の構想をする | 0.5時間 |
| 2 | 調査・研究方法について | 予習) 研究課題に必要な調査を検討する | 0.5時間 |
| | | 復習) 調査・研究方法について検討する | 0.5時間 |
| 3 | 研究計画の作成 | 予習) 調査・研究方法をまとめる | 0.5時間 |
| | | 復習) 研究計画書を作成する | 0.5時間 |
| 4 | 研究計画の討議・検討 | 予習) 研究計画書を読み直す | 0.5時間 |
| | | 復習) 研究計画書の手直しをする | 0.5時間 |
| 5 | 研究計画報告発表 | 予習) 研究計画報告の準備をする | 0.5時間 |
| | | 復習) 他学生の研究計画にコメントをする | 0.5時間 |
| 6 | 研究計画報告・質疑応答 | 予習) 他学生のコメントを読み応答を考える | 0.5時間 |
| | | 復習) 質疑を受けて研究計画を再検討する | 0.5時間 |
| 7 | 発表資料作成 (1) 発表方法の計画 | 予習) 発表ツール・方法を検討し、選択する | 0.5時間 |
| | | 復習) フィードバックを受けて資料を手直しする | 0.5時間 |
| 8 | 発表資料作成 (2) 本文作成 | 予習) 研究にあたっての疑問点等をまとめる | 0.5時間 |
| | | 復習) フィードバックを受けて資料を手直しする | 0.5時間 |
| 9 | 発表資料作成 (3) 参考文献の精査 | 予習) 参考文献一覧の見直しをする | 0.5時間 |
| | | 復習) フィードバックを受けて資料を手直しする | 0.5時間 |
| 10 | 中間報告 (1) | 予習) 他学生の研究計画を見直す | 0.5時間 |
| | | 復習) 他学生の発表にコメントをする | 0.5時間 |
| 11 | 中間報告 (2) | 予習) 他学生の研究計画を見直す | 0.5時間 |
| | | 復習) コメントをもとに発表資料を修正する | 0.5時間 |
| 12 | グループワーク 中間報告検討 | 予習) 他学生の発表の講評を考える | 0.5時間 |
| | | 復習) 講評を受けて発表内容を検討する | 0.5時間 |
| 13 | 発表資料の修正 | 予習) 講評を受けて発表資料を見直す | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表資料を完成させる | 0.5時間 |
| 14 | 発表内容の確認 | 予習) 質疑の対応を検討する | 0.5時間 |
| | | 復習) 予想される質疑への応答を考える | 0.5時間 |
| 15 | まとめと振り返り | 予習) これまでの授業内容を振り返る | 0.5時間 |
| | | 復習) 発表会に向けての準備をする | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

2年間の学びをふまえ、自らテーマを設定し研究を行います。総合表現Ⅰでは、基礎的な文献リファレンス、論文購読、レビューなどを行い、研究論文の執筆準備をします。また、個々人でテーマに基づいた発表を行います。自分の興味関心が合致しているかよく確認してから受講してください。キーワードは言語獲得・言語発達、言語と情報保障、言語と多様性、言語と児童文化財です。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜日の5コマ目です。

| | | | | | |
|--|----------------------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | 総合表現Ⅱ (H I I G 1 4 #) | | | 演習 | 高橋由起 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | * | — | # | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | 平常試験 | 実技発表 | 研究内容 | 授業態度 | |
| — | — | 50% | 40% | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書 各自適宜楽譜準備すること | | | | | |
| 参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、保育所保育指針解説(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育保育要領解説(平成30年3月文部科学省・厚生労働省)など 各自の研究課題に応じて適宜指示します | | | | | |
| 教材 各自の研究課題に応じて適宜指示します | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

保育に関わる課題を学生自ら設定しその探求を行うことを通して、保育者として現代の保育現場が抱える課題と向き合うことのできる実践力とその土台となる専門的知識の獲得を目指す。この授業では、音楽作品がどのような経緯で作曲され、どう表現されることが一番楽曲が活きるのかを理論と実践の両面から研究、考察していく。

総合表現Ⅰの授業を踏まえ、連弾や合奏曲に挑戦し、相手と共に音楽を表現していくことをその意義を体感する。

研究方法については既に前期に学んでいるため、実技での表現方法を深めるために、実技実践を中心に展開する。

【授業の到達目標】

- ・楽曲の背景や作曲家の思いを理解して表現方法を考えることが出来る
- ・表現を伴って演奏することが出来る
- ・音楽を通して子どもたちへ伝えたいことを自分の言葉で表現することが出来る

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | 準備学習時間 |
|------|------------------------|---|----------------|
| 1 | 課題曲について 連弾または合奏のグループわけ | 予習) 取り組んでみたい楽曲をリストアップする 復習) 課題曲に関する文献についてまとめる | 0.5時間 1時間 |
| 2 | 課題曲の作曲家について調べる 実践練習① | 予習) 分担された内容の文献を準備する 復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う | 0.5時間 0.5時間 |
| 3 | 楽曲の背景について調べる 実践演習② | 予習) 分担された内容の文献を準備する 復習) 研究した内容をもとに報告書の執筆を行う | 0.5時間 0.5時間 |
| 4 | 実技演習③ | 予習) 課題曲を練習する 復習) 課題曲を復習し、練習を続ける | 0.5時間 0.5時間 |
| 5 | 実技演習④ | 予習) 課題曲を練習する 復習) 自身の課題を明確化し、まとめる | 0.5時間 1時間 |
| 6 | 実技演習⑤ | 予習) 課題曲を練習する 復習) 相手と合わせることの意義についてまとめる | 1時間 0.5時間 |
| 7 | 中間発表 | 予習) 調べた内容を精査し、課題曲を練習する 復習) 連弾。合奏することの意義をまとめる | 0.5時間 0.5時間 |
| 8 | 個人の課題曲について研究する① | 予習) 個人の課題曲を選曲する 復習) 調べた内容についてまとめる | 0.5時間 1時間 |
| 9 | 個人の課題曲について研究する② | 予習) 課題曲を練習する 復習) 調べた内容をどう実技に活かせるかまとめる | 1時間 0.5時間 |
| 10 | プレゼン資料作成1 実技実践⑥ | 予習) 課題曲を練習する 復習) プレゼン資料の修正をする | 0.5時間 1時間 |
| 11 | プレゼン資料作成2 実技実践⑦ | 予習) 課題曲を練習する 復習) プレゼン資料の修正をする | 1時間 1時間 |
| 12 | プレゼン資料作成3 実技実践⑧ | 予習) 課題曲を練習する 復習) プレゼン資料のまとめをする | 1時間 1時間 |
| 13 | 成果発表会予行演習(授業内成果発表会) | 予習) プレゼンから演奏までの流れを練習する 復習) 予行演習を踏まえて修正する | 1時間 0.5時間 |
| 14 | プレゼン資料作成4 実技実践⑨ | 予習) 課題曲を練習する 復習) 成果発表会の流れで練習する | 0.5時間 0.5時間 |
| 15 | 講評・まとめ | 予習) 成果発表会の成果と課題についてまとめる 復習) 研究活動の成果と課題についてまとめる | 0.5時間 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

楽譜から読み解く音楽がこんなにも素晴らしく、奥深いこと。演奏することとは何か、表現することとは何か、などを音楽の垣根を超えて総合的に学ぶ時間になると思います。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜日5コマ目です。

| | | | | | |
|--|-------------------------------|---------|-------|------|------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年後期 | レクリエーション理論 (H I G 1 5 #) | | | 講義 | 采澤陽子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 2単位 | — | — | # | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | 課題 | 実技 | 発表 | 授業態度 | |
| — | 70% | — | 30% | — | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書 「楽しさをとおした心の元気づくり」(公益社団法人日本レクリエーション協会 1800円+税) 参考書 レクリエーション支援の方法1(公益社団法人日本レクリエーション協会 800円+税) 教材 適宜配布 | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】
レクリエーション活動という言葉の趣旨を理解し、有効に活用するための理論と方法を身に付ける。授業形態は、講義を中心に問題解決型学習を取り入れて行う。

【フィードバックの方法】
授業の中でその都度講評や解説を行いフィードバックする。

【授業の到達目標】
・レクリエーション・インストラクターの役割を理解し、説明できる。
・対象者のライフステージに即したレクリエーション支援を立案できる。

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | | 準 備 学 習 時 間 |
|---------|------------------------------------|-----------------------------|--|-------------|
| 1 | オリエンテーション レクリエーション概論 | 予習) 実技で配られた資料等の内容を再確認 | | 1時間 |
| | | 復習) 教科書の第1章をまとめる | | 3時間 |
| 2 | 楽しさを通した心の元気づくり (フロー理論とマズローの欲求) | 予習) マズローの欲求五段階説を調べる | | 1時間 |
| | | 復習) 授業で学んだことをまとめる | | 3時間 |
| 3 | レク活動を心の元気作りに活かす2つの視点 | 予習) インストラクターの役割についてディスカッション | | 1時間 |
| | | 復習) 教科書の第2章をまとめる | | 3時間 |
| 4 | ライフステージごとの心の元気作り (子ども・高齢者・障がい者) | 予習) ライフステージについて考える | | 1時間 |
| | | 復習) ライフステージごとの元気づくりを考える | | 3時間 |
| 5 | 地域のきずなづくりとレクリエーション | 予習) 地域で行われているレクリエーションを調査 | | 1時間 |
| | | 復習) 地域で行うレクリエーションを考える | | 3時間 |
| 6 | 信頼関係づくりの理論 | 予習) 現代の子育ての課題について調べる | | 1時間 |
| | | 復習) 信頼関係について思うことをまとめる | | 3時間 |
| 7 | 良好な集団づくりの理論 | 予習) 集団を介した環境について考える | | 1時間 |
| | | 復習) 良好な集団とは何かまとめる | | 3時間 |
| 8 | 自主的、主体的に楽しむ力を育む理論 | 予習) 「自主的」「主体的」について調べる | | 1時間 |
| | | 復習) アイスブレイキングを考える | | 3時間 |
| 9 | リスクマネジメントの方法 | 予習) 日常にあるリスクを見つける | | 1時間 |
| | | 復習) リスク回避方法を考える | | 3時間 |
| 10 | レク支援プログラムの立案1(立案方法) | 予習) 事業計画事前準備 | | 1時間 |
| | | 復習) アイスブレイキング内容を考える | | 3時間 |
| 11 | レク支援プログラムの立案2(立案) | 予習) 支援の設定を考える | | 1時間 |
| | | 復習) 立案内容の見直し | | 3時間 |
| 12 | レク支援の実施1(立案したレク支援の試行) | 予習) 立案内容の練習 | | 1時間 |
| | | 復習) 立案内容の改善 | | 3時間 |
| 13 | レク支援の実施2(立案したレク支援の試行) | 予習) 立案内容の練習 | | 1時間 |
| | | 復習) 実施の振り返り | | 3時間 |
| 14 | レク支援の実施3(実施に対する評価と改善) | 予習) 他の人の実施をまとめる | | 1時間 |
| | | 復習) 実施内容の自己分析 | | 3時間 |
| 15 | まとめと振り返り | 予習) 教科書や資料の整理 | | 1時間 |
| | | 復習) 学んだ内容の振り返り | | 3時間 |

担当者からのメッセージ

ここでの学びは保育の現場(施設も含む)に必要な要素を取り入れていきます。それに気付けると現場に出たときに大きいですよ。

【オフィスアワー】 授業終了後の休み時間内です。質問は「manaba」でも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|--------------------------------|---------|-------|------|--------------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 保育実習研究Ⅱ (H I I H 3 a 1 #) | | | 演習 | 西 敏郎・佐々木 由美子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | — | — | #① | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | — | 50% | 20% | 30% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

教科書
実習ガイドライン
参考書
保育所保育指針解説(平成30年3月)
厚生労働省 フレーベル館 352 円
教材
実習日誌等その都度指示する

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

授業内容は以下のとおりである。

1. 保育実習による総合的な学び (1) 子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解 (2) 子どもの保育と保護者支援
2. 保育の実践力の育成 (1) 子ども(利用者)の状態に応じた適切な関わり (2) 保育の知識・技術を活かした保育実践
3. 計画と観察、記録、自己評価 (1) 保育の全体計画に基づく具体的な計画と実践 (2) 保育の観察、記録、自己評価に基づく保育の改善
4. 保育士の専門性と職業倫理
5. 事後指導における実習の総括と評価 (1) 実習の総括と自己評価 (2) 課題の明確化

【フィードバックの方法】

指導案・課題に関しては、授業の中でフィードバックし、共有する。

【授業の到達目標】

1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解する。
2. 実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実力を習得する。
3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する。
4. 保育士の専門性と職業倫理について理解する。
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にする。

| 授 業 計 画 | | 担当者 | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | 準備学習時間 |
|---------|---|----------|-----------------------|--------|
| 1 | 授業概要(日程 授業内容 到達目標 評価 等) 保育実習Ⅰ(保育所・施設)の振り返り | 西 佐々木 | 予習) 保育実習Ⅰを振り返る | 0.5時間 |
| | | | 復習) 保育実習の反省点をまとめる | 0.5時間 |
| 2 | 実習先の再確認 今後の実習スケジュールの確認 | 西 佐々木 | 予習) 実習園の概要をまとめてくる | 0.5時間 |
| | | | 復習) 実習の準備を確認する | 0.5時間 |
| 3 | 保育実習Ⅰの実習日誌の振り返り | 西 佐々木 | 予習) 実習日誌を振り返る | 0.5時間 |
| | | | 復習) 実習日誌の作成をする | 0.5時間 |
| 4 | 事前指導・実習における留意事項 保育士の倫理 | 西 佐々木 | 予習) 実習の準備を整える | 1時間 |
| | | | 復習) 保育士の倫理をまとめる | 1時間 |
| 5 | 実習日誌の配布 書き方(表紙・概要) 保育実習目標と日々の課題の立て方① | 西 佐々木 | 予習) 実習先の概要を確認する | 0.5時間 |
| | | | 復習) 実習目標と日々の課題を立てる | 1時間 |
| 6 | 保育実習目標と日々の課題の立て方② 指導案の作成 | 西 佐々木 | 予習) 指導案の素案を考える | 1時間 |
| | | | 復習) 指導案を作成する | 1時間 |
| 7 | 模擬保育について | 西 佐々木 | 予習) これまでの指導案を振り返る | 0.5時間 |
| | | | 復習) 模擬保育の構想を立てる | 1時間 |
| 8 | 保育実習オリエンテーション (実施要点・持参書類の配付) | 西 佐々木 | 予習) オリエンテーションの準備を整える | 0.5時間 |
| | | | 復習) オリエンテーションの内容を整理する | 0.5時間 |
| 9 | 指導案の見直し 模擬保育の準備 | 西 佐々木 | 予習) 指導案を見直してくる | 1時間 |
| | | | 復習) 模擬保育の準備をする | 1時間 |
| 10 | 模擬保育① | 西 佐々木 | 予習) 模擬保育の準備を行う | 1時間 |
| | | | 復習) 模擬保育の振り返りを行う | 0.5時間 |
| 11 | 模擬保育② | 西 佐々木 | 予習) 模擬保育の準備を行う | 1時間 |
| | | | 復習) 模擬保育の振り返りを行う | 0.5時間 |
| 12 | 模擬保育③ | 西 佐々木 | 予習) 模擬保育の準備を行う | 1時間 |
| | | | 復習) 模擬保育の振り返りを行う | 0.5時間 |
| 13 | 直前指導・実習における留意事項 責任実習に向けた心構え | 西 佐々木 | 予習) 実習の準備を整える | 1時間 |
| | | | 復習) 実習に必要な事項をまとめる | 1時間 |
| 14 | 実習振り返り① お礼状の作成・自己評価 | 西 佐々木 | 予習) 実習の振り返りをする | 1時間 |
| | | | 復習) 自己課題についてまとめる | 1時間 |
| 15 | 実習振り返り② 発表・共有 | 西 佐々木 | 予習) 発表の準備をする | 1時間 |
| | | | 復習) 今後の課題をまとめる | 1時間 |

担当者からのメッセージ

保育実習Ⅱでは、責任実習に向けた準備を行います。保育者となるための最後の実習ですから準備万端で実習に臨めるように主体的・積極的に取り組んでください。

【オフィスアワー】 オフィスアワー火曜日5コマ目(西)。水曜日5コマ目(佐々木)。質問は「manaba」でも受付ます。

| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
|---------|------------------------------|---------|-------|------|--|
| 2年前期 | 保育実習Ⅱ (H I I H 3 a 2 #) | | | 実習 | 佐々木 由美子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 なし 参考書 『保育所保育指針解説』 (平成30年3月告知 厚生労働省) 教材 |
| 2単位 | — | — | #① | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 実習園の評価 | 勤務状況 | 日誌 | 事後指導 | 定期試験 | |
| 70% | 10% | 10% | 10% | — | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

「保育実習Ⅱ」は「保育実習Ⅰ（保育所）」において11日間の実習を終えていることから、保育所実習の第2段階と位置づけられる。本実習は、①「保育実習Ⅰ（保育所）」の経験を踏まえ、また各教科で学んだ知識や技能を活かして実習をし、保育士として必要な資質や能力・技術等の習得を目指す②保育士の職務倫理について理解し、それに則った適切な判断と行動をする③作成した指導案に基づき保育を展開し、自己の保育について見直し改善していく④子育て支援の実践について理解し、子育て支援者として必要な能力を養うことを目的として実施する。実習の目的・内容・方法及び内容は下記の通りである。

(目標)

1. 保育所・児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する。
2. 子どもの観察や関わりの視点を明確にすることを通して、保育の理解を深める。
3. 既習の教科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育士及び保護者支援について総合的に理解する。
4. 保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深める。
5. 保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解する。
6. 実習における自己の課題を明確化する。

(内容)

1. 保育所の役割や機能の具体的展開
 - (1) 養護と教育が一体となって行われる保育
 - (2) 保育所の社会的役割と責任
2. 観察に基づく保育の理解
 - (1) 子どもの心身の状態や活動の観察
 - (2) 保育士等の援助や関わり
 - (3) 保育所の生活の流れや展開の把握
3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携
 - (1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育
 - (2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援
 - (3) 関係機関や地域社会との連携・協働
4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価
 - (1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解
 - (2) 作成した指導計画に基づく保育実践と評価
5. 保育士の業務と職業倫理
 - (1) 多様な保育の展開と保育士の業務
 - (2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理
6. 自己の課題の明確化

(方法)

保育実習Ⅱでは参加観察に加え、指導案を作成して責任実習を行う。ただし実施施設より実習の方法について指摘された場合は園の方針を尊重する。

【授業の到達目標】

- ・保育所・児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解することができる。
- ・観察や子どもの関わりを通じて子どもへの理解を深めることができる。
- ・既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解することができる。
- ・保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解することができる。
- ・保育士の業務内容や職業倫理について具体的に理解することができる。
- ・実習における自己の課題を明確化することができる。

担当者からのメッセージ

保育所と施設、計2回の実習は、保育に関する専門科目の授業で学んだ知識や技術を「発揮する場」であり、保育理解を深める「学びの場」です。実習を「夢の第1歩」と捉え、積極的に望んでください。

【オフィスアワー】オフィスアワーは火曜日5コマ目(西)。水曜日5コマ目(佐々木)。質問は「manaba」でも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|----------------------------|---------|-------|------|-----------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 保育実習研究Ⅲ (H I H 3 b 1 #) | | | 演習 | 中野真樹・池田法子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | — | — | #② | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技・発表 | 授業態度 | |
| — | — | 50% | 20% | 30% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

教科書
なし
参考書
『保育所保育指針解説書』
(平成30年3月告知 厚生労働省)
教材
適宜資料を配布

授業概要

【授業の内容・方法】

この授業では、2回目の保育実習を施設で行うための準備学習及び事後指導を行う。事前指導では、施設実習の意義や目的を理解し、保育の実践力を育成するとともに、施設実習における計画と観察、記録、自己評価の方法を学ぶ。実習後は、実習の総括を行い、今後に向けて自身の課題を明確化する。

【フィードバックの方法】

学生相互の発表やディスカッションを中心に行い、随時教員がフィードバックする。

【授業の到達目標】

- ・保育実習の意義と目的を理解し、保育について総合的に理解できる。
- ・実習や既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得できる。
- ・保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解できる。
- ・保育士の専門性と職業倫理を理解できる。
- ・実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確にできる。

| 授業計画 | | 担当者 | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|---|----------|-----------------------|-------|--------|
| 1 | オリエンテーション 保育実習Ⅲの意義・目的 保育実習Ⅰの振り返り 希望施設(種別)の確認 | 中野 池田 | 予習) 保育実習Ⅰを振り返る | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 保育実習の反省点をまとめる | 0.5時間 | |
| 2 | 配属決定・書類の作成 | 中野 池田 | 予習) 書類の準備をする | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 書類を仕上げる | 0.5時間 | |
| 3 | 実習施設の理解① 情報収集 | 中野 池田 | 予習) 実習施設について調べる | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 調べた内容をまとめる | 0.5時間 | |
| 4 | 実習施設の理解② スライド作成 | 中野 池田 | 予習) 実習施設について調べる | 0.5時間 | |
| | | | 復習) スライドを作成する | 0.5時間 | |
| 5 | 実習施設の理解③ 発表 | 中野 池田 | 予習) 発表の準備をする | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 発表した内容を振り返る | 0.5時間 | |
| 6 | 観察・記録・自己評価① 日誌の振り返り | 中野 池田 | 予習) 保育実習Ⅰの日誌を振り返る | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 日誌の反省点をまとめる | 0.5時間 | |
| 7 | 観察・記録・自己評価② 日誌の書き方 | 中野 池田 | 予習) 日誌の書き方を見直す | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 観察・記録のポイントをまとめる | 0.5時間 | |
| 8 | 観察・記録・自己評価③ エピソード記録 | 中野 池田 | 予習) エピソード記録について調べる | 0.5時間 | |
| | | | 復習) エピソード記録のポイントをまとめる | 0.5時間 | |
| 9 | オリエンテーションについて | 中野 池田 | 予習) オリエンテーションの準備をする | 0.5時間 | |
| | | | 復習) オリエンテーションの依頼をする | 0.5時間 | |
| 10 | 実習計画の作成① 実習目標の設定 | 中野 池田 | 予習) 目標に関する事前学習を行う | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 実習目標を立てる | 0.5時間 | |
| 11 | 実習計画の作成② 具体的課題の設定 | 中野 池田 | 予習) 具体的課題に関する事前学習を行う | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 具体的課題を作成する | 0.5時間 | |
| 12 | 実習計画の作成③ 発表 | 中野 池田 | 予習) 発表の準備をする | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 実習計画を仕上げる | 0.5時間 | |
| 13 | 実習直前指導 | 中野 池田 | 予習) 事前準備を行う | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 必要な準備が整っているか確認する | 0.5時間 | |
| 14 | 実習の振り返り① グループディスカッション | 中野 池田 | 予習) 実習を振り返る | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 自己の課題を整理する | 0.5時間 | |
| 15 | 実習の振り返り② 自己の課題の抽出と明確化 | 中野 池田 | 予習) 実習を振り返る | 0.5時間 | |
| | | | 復習) 自己の課題を整理する | 0.5時間 | |

担当者からのメッセージ

施設保育士の専門性を理解し、実践する力を身につけるための準備学習を行います。各自の課題に主体的に取り組みましょう。

【オフィスアワー】水曜5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|---------|------------------------------|---------|-------|------|--|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 2年前期 | 保育実習Ⅲ (H I I H 3 b 2 #) | | | 実習 | 中野真樹 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 なし 参考書 『保育所保育指針』 (平成30年3月 厚生労働省) 教材 |
| 2単位 | — | — | #② | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 実習園の評価 | 勤務状況 | 日誌 | 事後指導 | 定期試験 | |
| 70% | 10% | 10% | 10% | — | |

授業概要

【授業の内容・方法】

保育実習Ⅲは、2年次の保育実習を保育所以外の児童福祉施設等で行うものである。本実習では、既習の教科や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、保育所以外の児童福祉施設等において、家庭や地域の生活実態、障害児への支援、保護者支援、社会的養護の在り方、保育士としての職業倫理等についての知識、技術、判断力を習得する。

(目的)

- ・施設の目的、役割を深く考察する。
- ・養護、支援、保育の全般に参加し、その効果的な実践技術を学ぶ。
- ・子ども、利用者の個別的ニーズに対応した実践方法を学ぶ。
- ・個別支援計画を立案し、実践を試みる。
- ・子ども、利用者の権利と最善の利益を守ることを施設内の生活の中で具体的に学ぶ。
- ・地域との連携や保護者支援、家庭支援のための知識・技術を学ぶ。

(方法)

参加観察実習、部分責任実習を行う。ただし、実習施設より実習の方法を指定された場合は、施設の方針に従う。

【フィードバックの方法】

実習期間中に指導訪問を実施し、各訪問指導担当からアドバイスをを行う。
実習終了後、園からの評価をもとに評価伝達とアドバイスをを行う。

【授業の到達目標】

- ・既習の教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践を通して、理解する。
- ・家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する。
- ・保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。
- ・実習における自己の課題を理解する。

【履修方法】

- ・2年次の夏季期間（8月下旬から9月初頭の実質11日間）に、保育所以外の児童福祉施設またはその他の施設で実習を行う。「保育実習Ⅲ」の履修については、「保育実習Ⅰ（施設）」の評価が「可」以上であること及び「保育実習研究Ⅲ」を履修していることが履修の条件となる。

【準備学習等】

実習計画の作成、実習施設に関する発表、実習関係文書の作成、提出物の作成、お礼状の作成 等

【提出物】

実習計画、実習訪問指導シート、実習日誌、振り返り 等

担当者からのメッセージ

社会福祉施設における保育士の役割と仕事について学びを深め、卒業後の進路について検討していきましょう。

| | | | | | |
|-----------------------|---------------------------|---------|-------|-------------------------------------|-----------------|
| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
| 1年前期 | 英語Ⅰ（再履修） 〈 Y H I D 1 〉 | | | 演習 | TIMOTHY R.SOPER |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | 教科書なし 参考書 英和辞典 教材 オリジナル | |
| 1単位 | ○ | ○ | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 平常試験 | 定期試験 | レポート課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 60% | — | 20% | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

英語の国際語としての役割を反映させ、コミュニケーションの手段として、英語を使う能力と自信を向上させる。様々なグループに分かれたり、ペアを組んで、学生自身が自発的に参加できるようにし、文化的な視野、グローバルな概念について、ディスカッション等を行う。

【フィードバックの方法】

課題に対するフィードバックを授業内で行う。

【授業の到達目標】

- ・基本的な英語を理解することができる。
- ・平易な英語で、自分の考えを表現できる。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|---|--------------------------|-------|--------|
| 1 | Introductory Lesson: Course introduction and guidance. | 予習) シラバスにて授業内容・到達目標を把握する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 2 | Finding Out About Each-Other (1) : Talking about ourselves. Teacher's introduction. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 3 | Finding Out About Each-Other (2) : Talking about ourselves. Student's introduction. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 4 | Can You Speak English —: Asking and answering questions about our abilities. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 5 | That's personal: Asking for and giving personal information: hometowns, occupations, study, age, marital status. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 6 | The Time: Various ways of expressing the time. Asking and answering questions about the time. Listening for time expressions. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 7 | Dates: Various ways of expressing the date. Asking and answering questions about the time. Listening for time expressions | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 8 | Times And Dates: Reading, writing and problem-solving Activities about times and dates. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 9 | Numbers Small And Large: Saying, listening for and writing numbers. Practice with very large numbers. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 10 | Where Does It Go (1) : Listening and speaking activities using prepositions of location. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 11 | Where Does It Go (2) : Reading and problem-solving activities about prepositions of location. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 12 | It's That Way (1) : Asking for and giving simple street directions. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 13 | It's That Way (2) : Asking for and giving complex street directions. Listening practice for street directions. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 14 | It's That Way (3) : Reading and writing problem solving exercises for street directions. | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 次回授業向けプリントを読み理解する | 0.5時間 | |
| 15 | Course Review: Review of course to date. "The Numbers Game" — activity practicing use of large numbers | 予習) 授業時に配付したプリントを復習する | 0.5時間 | |
| | | 復習) 定期試験の準備 | 0.5時間 | |

担当者からのメッセージ

今の世の中、英語が満ちあふれています。もっと気楽に英語を使ってみましょう。間違えることなんか気にしないで！一番大切なことは、人とのコミュニケーションです！

【オフィスアワー】 授業後の休み時間です。

| | | | | | |
|--|------------|------------------------------|-------|------|---------|
| 開講学年・時期 | | 授業科目名 | | 授業形態 | 担当者 |
| 1年前期 | | 保育と環境（再履修） （ Y H II A 4 ） | | 演習 | 佐々木 由美子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | ○ | ○ | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 考察発表 | 実技 | 授業態度 | |
| 50% | 20% | 20% | — | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書なし 参考書 「幼稚園教育要領解説書」（平成29年3月告示 文部科学省）・「保育所保育指針解説書」（平成29年3月告示 厚生労働省）・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（平成29年3月告示 文部科学省・厚生労働省） 教材 適宜資料を配布する | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】
この授業では、環境を通じた保育を前提に、保育者の役割についての理解を深め、幼児の発達にとっての環境の意義について学ぶ。保育者としての実践的な技能と豊かな知識を身に付けるため、講義を中心としつつ必要に応じて適宜視聴覚教材や演習も取り入れる。また、授業の中で議論や意見の共有を行う。

【フィードバックの方法】
リアクションペーパーについては授業の中でフィードバックする。

【授業の到達目標】
・子どもにとっての環境の特性を知り、遊びを通して主体的に活動できる環境とは何かを理解し、説明できる。
・自分自身が周囲の身近な環境に対して興味関心を持ち、環境を通じた実践的な支援を行うことができる。
・子どもを取り巻く環境や、子どもと環境との関わりについての専門的事項について理解し説明できる。

【実務経験】
保育士としての実務経験を生かし、環境を通じた保育について考える。

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|---------|----------------------|----------------|--------------------|--------|
| 1 | 授業概要 環境を通じた保育とは | 予習) | シラバスにて授業内容・到達目標を把握 | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 2 | 自然体験について知る | 予習) | 自然体験の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 3 | いろいろな子どもの遊び場・遊具 | 予習) | 遊び場・遊具の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 4 | 子どもの成長と保育環境とは ①3歳未満児 | 予習) | 指針解説 P145-155を読む | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 5 | 子どもの成長と保育環境とは ②3歳児 | 予習) | 指針解説 P228-247を読む | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 6 | 子どもの成長と保育環境とは ③4歳児 | 予習) | 要領解説 P193-212を読む | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 7 | 子どもの成長と保育環境とは ④5歳児 | 予習) | 要領解説 P2-21を読む | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 8 | いろいろなものを栽培・収穫体験 | 予習) | 栽培・収穫体験の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 9 | いろいろな生き物を飼育 | 予習) | 生き物飼育の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 10 | いろいろな日本の年中行事 | 予習) | 年中行事の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 11 | 保育環境の中にある数量・図形 | 予習) | 数量・図形の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 12 | 保育環境の中にある標識・文字 | 予習) | 標識・文字の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 13 | 園外保育をはじめとする地域社会と関わり | 予習) | 園外保育の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 14 | 幼小接続をはじめとする地域社会との関わり | 予習) | 保育資源・文化施設の下調べ | 0.5時間 |
| | | 復習) | 授業内で行ったワークの考察 | 1時間 |
| 15 | 連絡帳の役割 まとめと振り返り | 予習) | 連絡帳の役割について考える | 0.5時間 |
| | | 復習) | 定期試験準備 | 1時間 |

担当者からのメッセージ

子ども達がワクワクするような環境作りを一緒に考えていきましょう。
【オフィスアワー】水曜日5コマ目です。質問はmanabaでも受け付けます。

| 開講学年・時期 | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 |
|---|--|---------|-------|------|------|
| 1年前期 | 保育内容の指導法(造形表現)(再履修) (Y H I I A 1 1) | | | 演習 | 茂木克浩 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 1単位 | ○ | ○ | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| レポート | リアクションペーパー | 実技 | 提出物 | 模擬保育 | |
| 30% | 10% | 25% | 15% | 20% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |
| 教科書 「保育をひらく造形表現」横英子 萌文書林 参考書 幼稚園教育要領解説(平成30年3月文部科学省)、保育所保育指針解説(平成30年3月厚生労働省)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(平成30年3月内閣府)、「色彩ワークショップ(しる・みる・つかうシリーズ1)」色彩ワークショップ編集委員会 日本色研事業株式会社 教材 画材道具一式、ポートフォリオ用ファイル(詳細は1回目の授業で説明します) | | | | | |

授業概要

【授業の内容・方法】

本授業では乳幼児の表現活動、特に造形表現を中心にした保育内容の展開や指導法を実践的に学ぶ。実際に保育現場で用いられることの多い素材や道具に触れることで、その特徴や指導上の留意点を経験的に学べるようにする。指導案の作成や模擬保育を通して、学修した知識を元に保育を計画できる実践的な力の獲得を目指す。適宜、グループワークを取り入れ、多様な表現や視点に気付けるようにする。また素材や道具、環境の設定と関連させながら安全管理についても取り扱っていく。ポートフォリオに毎時間の学びを記録してもらうことで、知識の定着を図る。作成したポートフォリオは最終授業後に提出してもらう。

【フィードバックの方法】

毎回の授業後にリアクションペーパーの提出を求め、学生の関心を捉えるだけでなく、寄せられた質問に対しては次時に回答し学びを深められるようにする。制作活動や模擬保育について、授業内で講評、解説をする。

【授業の到達目標】

- ・ 道具、素材、環境、技法等の特徴を理解し、幼児の関心や発達に合わせた保育内容を構想できる。
- ・ 領域「表現」の目標及び内容を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成できる。
- ・ 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点と姿勢を身に付けている。

【実務経験】

中学校の美術科教員としての経験を生かし、素材の特徴や道具の使い方、表現のポイント、具体的な活動の立案方法について実践的に学べるようにする。

| 授業計画 | | 準備学習(予習・復習) | 準備学習時間 |
|------|----------------------------|----------------------------------|--------|
| 1 | 領域「表現」と幼児の造形表現活動との関連 | 予習) 教科書p.9-14,84-86を読み不明点を調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 自らの造形体験について思い出す | 0.5時間 |
| 2 | 描画・造形表現の発達と小学校への接続 | 予習) 教科書p.63-79を読み不明点を調べる | 1時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 3 | インクルーシブ保育と多様な表現活動 | 予習) 教科書p.79-81,118-124を読み不明点を調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 4 | 身体感覚を生かした表現活動の実践と指導上の留意点 | 予習) 教科書p.15-25を読み不明点を調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 5 | 協働で行う表現活動の実践と指導上の留意点 | 予習) 教科書p.26-30を読み不明点を調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 6 | 色や形を生かした表現活動の実践と指導上の留意点 | 予習) 色彩や形の基本的なことについて調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 7 | 描画材の特徴を生かした表現活動の実践と指導上の留意点 | 予習) 保育現場で使われている描画材について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 8 | 描画技法を用いた表現活動の実践と指導上の留意点 | 予習) 様々な描画技法について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 9 | 仕組みを用いた表現活動の実践と指導上の留意点 | 予習) 仕組みを使った造形活動について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 10 | 身近な素材を用いた表現活動の実践と指導上の留意点 | 予習) 身近にある様々な素材について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 11 | 模擬保育に向けた計画立案と指導案作成 | 予習) 教科書p.101-110を読み不明点を調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 12 | 模擬保育に向けた教材研究 | 予習) 教科書p.112-116を読み不明点を調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 13 | 模擬保育の実践 | 予習) 模擬保育の準備をする | 2.0時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 14 | 模擬保育の振り返り | 予習) 模擬保育について自己評価をする | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |
| 15 | 子どもの造形表現活動の評価とそれを活かした支援 | 予習) 評価について調べる | 0.5時間 |
| | | 復習) 学修内容をポートフォリオにまとめる | 0.5時間 |

担当者からのメッセージ

子どもと一緒に造形表現を楽しむためには、保育者自らが素材や道具にたくさん触れそれらに対する理解を深めることが大切です。またその知識を用いて具体的な活動を計画できることが必要になります。学びを自分のものにするためには、各回の学修内容と気づきを自らの言葉で振り返ることが重要です。疑問点については積極的に調べましょう。前向きに授業に取り組んでくれることを期待します。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは水曜4コマです。質問はmanabaでも受け付けます。

| | | | | | |
|-----------------------|------------|-----------------------------------|-------|------|--------|
| 開講学年・時期 | | 授業科目名 | | 授業形態 | 担当者 |
| 1年後期 | | 心身の発達と学習過程（再履修） （ Y H II B 3 ） | | 講義 | 五十嵐 元子 |
| 単位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | |
| 2単位 | — | ○ | ○ | | |
| 評価方法・基準 | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | |
| — | 30% | 60% | — | 10% | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | |

教科書
心理学研究会「新・育ちあう乳幼児心理学-保育実践とともに未来へ-」有斐閣コンパクト2019年
参考書
授業中に指示
教材
適宜配布

授業概要

【授業の内容・方法】

幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、基礎的な知識を身につけ、各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を身につけます。授業はオンデマンド形式で問題解決型学習を基本とします。各回の小テスト・課題（レポート）を提出してください。

【フィードバックの方法】

小テストは回答後あるいは授業中にフィードバックを、課題（レポート）はコメントを返します。

【授業の到達目標】

- ・保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について説明できる。
- ・子どもの発達に関わる心理学の基礎と養護・教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子どもへの理解を解説できる。
- ・乳幼児の学びの過程や特性の基礎的な知識を習得し、保育者や仲間との相互的関わりや体験、環境の意義を解説できる。

【実務経験】

保健福祉センターや子ども家庭支援センター等における臨床心理士・公認心理師としての経験を活かし、理論と実践を踏まえた講義を行う。

| 授業計画 | | 準備学習（予習・復習） | | 準備学習時間 |
|------|--|-------------|----------------------|--------|
| 1 | ガイダンス（授業の概要と流れ） 保育と心理学について考える | 予習 | 子どもを育てるイメージを図にする | 1時間 |
| | | 復習 | 心理学と子ども観の関係をまとめる | 3時間 |
| 2 | 発達の定義・発達の原理・発達段階と発達課題・子どもの発達と環境について学ぶ | 予習 | 発達とは何か？を考える | 2時間 |
| | | 復習 | 発達と環境の関連性をまとめる | 2時間 |
| 3 | 発達における遺伝と環境・発達初期の経験の重要性・ヴィゴツキーの発達理論を学ぶ | 予習 | 発達の遺伝と環境を調べる | 2時間 |
| | | 復習 | 初期経験の重要性は本当か？を考える | 2時間 |
| 4 | 胎児期・新生児期の発達と発達課題を知る | 予習 | 胎児期に記憶はあるのか？を考える | 2時間 |
| | | 復習 | 新生児期の発達をまとめる | 2時間 |
| 5 | 乳幼児期の発達と発達課題を知る | 予習 | 乳幼児期に大切にしたいことを考える | 2時間 |
| | | 復習 | 乳幼児期の発達をまとめる | 2時間 |
| 6 | 児童期の発達と発達課題を知る | 予習 | 学校で学んだことは何かをまとめる | 2時間 |
| | | 復習 | 児童期の発達をまとめる | 2時間 |
| 7 | 青年期・成人期・老年期の発達と発達課題を知る | 予習 | 青年期以降、人間は発達するのか？を考える | 2時間 |
| | | 復習 | 青年期・成人期・老年期の発達をまとめる | 2時間 |
| 8 | 身体的機能・運動機能の発達について学ぶ | 予習 | 代表的な運動遊びを考える | 2時間 |
| | | 復習 | 運動機能の発達にとって大切なことを考える | 2時間 |
| 9 | 認知の発達と幼児・児童の学習過程を学ぶ | 予習 | 子どもの頃に不思議だと思ったことを考える | 2時間 |
| | | 復習 | 認知と学習過程の関係をまとめる | 2時間 |
| 10 | 愛着の形成と発達・自我・自己の発達を学ぶ | 予習 | 3歳児神話を調べる | 2時間 |
| | | 復習 | 愛着・自我・自己の発達をまとめる | 2時間 |
| 11 | ことばの発達を学ぶ | 予習 | 言語発達の過程を調べる | 2時間 |
| | | 復習 | 乳幼児期のことばの発達をまとめる | 2時間 |
| 12 | 社会性の発達を学ぶ | 予習 | 周りの目を気にするのは何歳から？を考える | 2時間 |
| | | 復習 | 劇づくりは社会性の発達を促すか？を考える | 2時間 |
| 13 | 遊びの発達と保育の中に見る遊びを考える | 予習 | 泥団子の作り方を調べる | 2時間 |
| | | 復習 | 子どもにとって遊びとは何か？を考える | 2時間 |
| 14 | 基本的な生活習慣の獲得と保育実践・身体機能と運動機能の獲得と保育実践を考える | 予習 | あなたの家の食事のマナーを考える | 2時間 |
| | | 復習 | 基本的な生活習慣とは何か？を考える | 2時間 |
| 15 | 認知の発達と保育実践・社会性の発達と保育実践を考える 授業のまとめ | 予習 | 鬼ごっこの種類を調べる | 2時間 |
| | | 復習 | 課題レポートの準備 | 2時間 |

担当者からのメッセージ

子どもの発達を知ると遊びの実践が楽しくなる！をモットーに学習を進めていきます。

【オフィスアワー】 オフィスアワーは随時メール等で行いたいと思っています。初回授業にて詳細を案内いたします。

| 開講学年・時期 | | 授業科目名 | | | 授業形態 | 担当者 | |
|-----------------------|------------|------------------------------|-------|------|---|-------|--|
| 1年前期 | | 保育原理 (再履修) (Y H II E 1) | | | 講義 | 西 敏 郎 | |
| 単 位 | 卒業資格 | 幼稚園教諭免許 | 保育士資格 | | 教科書 「改訂版 Work で学ぶ保育原理」佐伯一弥 / 金環珠 わかば社 参考書 「平成 29 年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 <原本>」チャイルド本社 (同じ内容が記載されていればそれに類するものでも構いません) 教 材 授業内で配布する。 | | |
| 2単位 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 評価方法・基準 | | | | | | | |
| 定期試験 | リアクションペーパー | 課題 | 実技 | 授業態度 | | | |
| — | 20% | 70% | — | 10% | | | |
| ◎2/3以上出席しないと評価の対象としない | | | | | | | |

授 業 概 要

【授業の内容・方法】

保育の意義と目的について、要領・指針等に基づきその理念を知り、その本質を理解する。自分の経験を発表するなど意見交換をしながら学ぶ。日本や世界でどのような保育がおこなわれているかを理解し、歴史や思想、制度、取り巻く環境について学ぶ。現在の子どもを取り巻く環境を理解し、課題についてディスカッションを行い、意見をまとめ発表する。テキストがワークブックとなっているため、テキストに合わせて授業を進め、さらにテーマに合わせた資料の提供や動画の視聴を行い、それらの学びに基づいた意見交換などを実施する。

【フィードバックの方法】

小テスト、授業内試験、課題、レポート等について、授業時間または manaba 等を用いて講評・解説を行う。

【授業の到達目標】

保育の意義、保育所保育指針等における保育の基本、保育の内容と方法の基本を説明できる。
保育の思想と歴史の変遷を説明できる。保育の現状と課題について考察し、意見を述べることができる。

| 授 業 計 画 | | 準 備 学 習 (予 習 ・ 復 習) | | 準備学習時間 |
|---------|---|---|--|------------|
| 1 | ガイダンス 保育の方向性と保育実践の基礎となる発達観を学ぶ。 | 予習) シラバスをよく読んでおく。 復習) テキストを再度読み必要な記入をする。 | | 2時間 2時間 |
| 2 | 保育に関する諸法令などからみる保育の原理を学ぶ。 | 予習) 保育施設の特徴について調べる。 復習) 法令ごとの関係を整理しておく。 | | 2時間 2時間 |
| 3 | 保育所保育指針・幼稚園教育要領・認定こども園保育教育要領にみる保育の原理について学ぶ。 | 予習) 法令についてテキストを読んでおく。 復習) テキスト内のワークを再度確認する。 | | 2時間 2時間 |
| 4 | 養護と教育の一体化について学ぶ。 | 予習) 養護・教育・保育という言葉を調べる。 復習) 教育と養護の必要性をまとめる。 | | 2時間 2時間 |
| 5 | 保育実践の基本構造について学ぶ。 | 予習) テキストUnit 5をよく読んでおく。 復習) 5領域の意義とねらいをまとめる。 | | 2時間 2時間 |
| 6 | 多様な保育内容とその方法を理解する。 | 予習) 自分が受けた保育を振り返る。 復習) どのような保育を实践したいか考える。 | | 2時間 2時間 |
| 7 | 子育て支援について学ぶ。 | 予習) テキストUnit7を読んでおく。 復習) 地域の子育て支援の内容をまとめる。 | | 2時間 2時間 |
| 8 | 西洋と日本の保育の創成期について学ぶ。 | 予習) テキストUnit 8を読んでおく。 復習) 学んだ保育の理念や人物などを覚える。 | | 2時間 2時間 |
| 9 | 保育の歴史から思想と意識を学ぶ。 | 予習) テキストUnit 9を読んでおく。 復習) 人物の関連性を整理する。 | | 2時間 2時間 |
| 10 | 日本の保育実践の発展過程について学ぶ。 | 予習) テキストUnit10を読んでおく。 復習) 幼稚園・保育所の発展過程を整理する。 | | 2時間 2時間 |
| 11 | 倉橋惣三とその周辺の思想について学ぶ。 | 予習) 倉橋惣三について調べておく。 復習) 96ページの人物相関マップを確認する。 | | 2時間 2時間 |
| 12 | 保育者の在り方を考える。 | 予習) 必要とされる保育者について考える。 復習) 保育者の在り方に関し考えをまとめる。 | | 2時間 2時間 |
| 13 | 多様性と保育 (テキスト外の資料等から学ぶ) | 予習) 多様性とは何かを調べる。 復習) 多様な背景の子どもの保育を考える。 | | 2時間 2時間 |
| 14 | これからの保育について ICTやグローバルな視点から学ぶ。 | 予習) 様々な保育方法を調べておく。 復習) 世界の保育の課題についてまとめる。 | | 2時間 2時間 |
| 15 | まとめとディスカッション | 予習) これまでの学習を振り返る。 復習) 本科目のすべての内容をまとめる。 | | 2時間 2時間 |

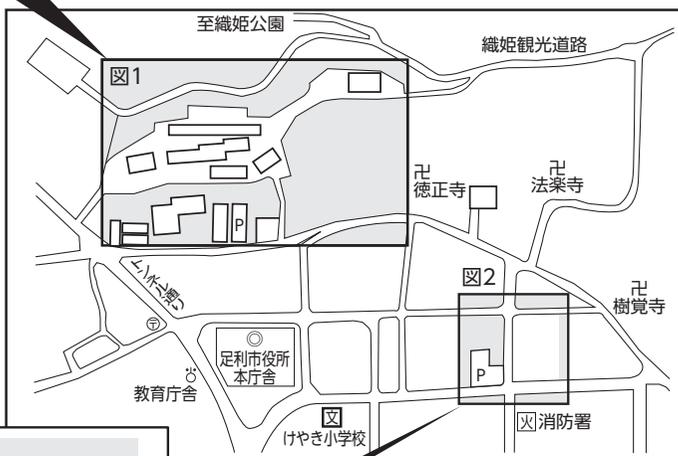
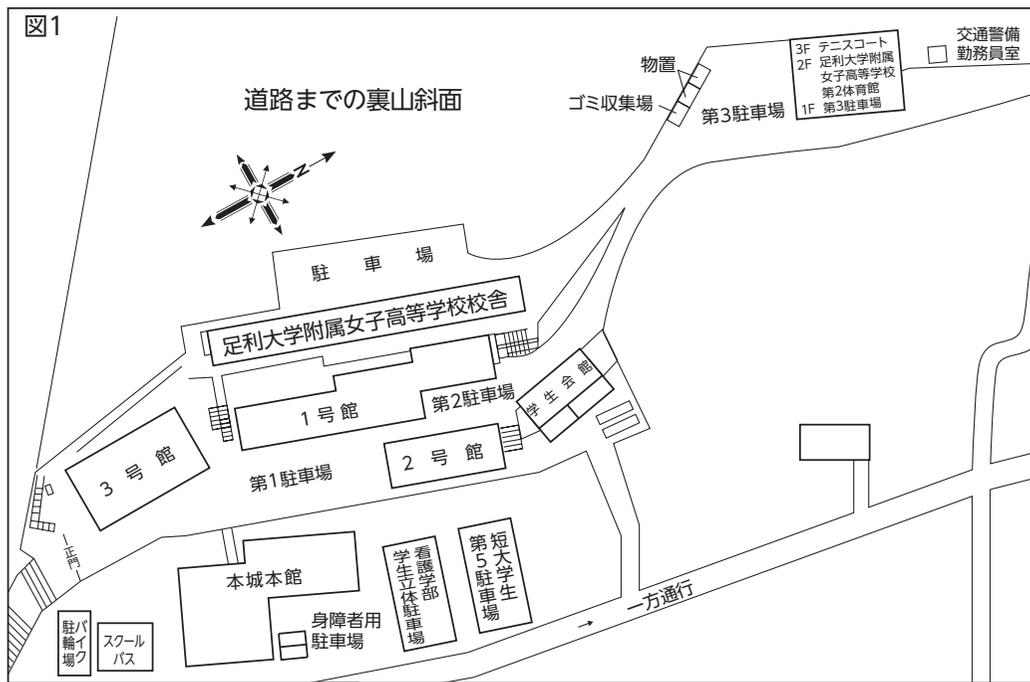
担当者からのメッセージ

授業へはまじめに積極的に参加し、疑問点はその場で質問をして構いません。
私語、居眠りなどは厳禁とします。提出物は期限を守って出してください。

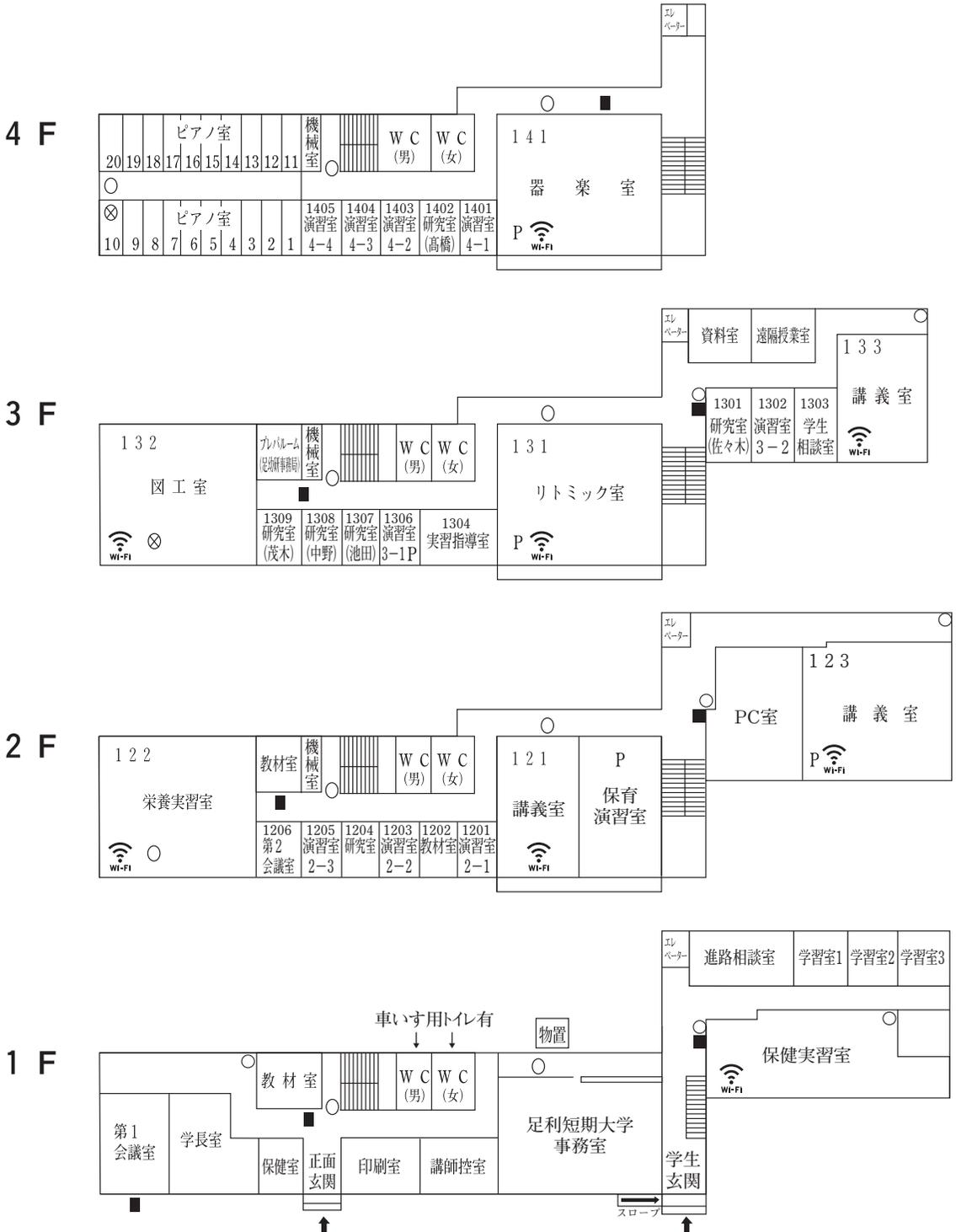
【オフィスアワー】 火曜日 5コマ目

校舎配置図

本城キャンパスマップ

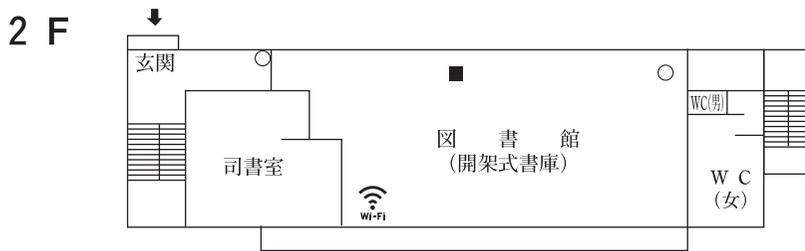
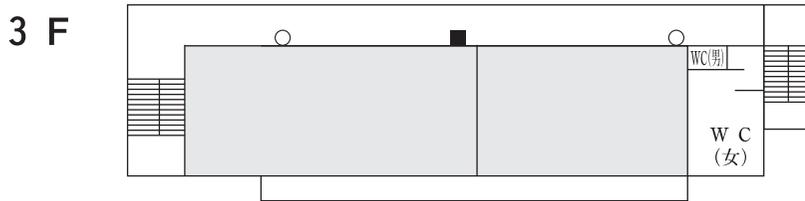
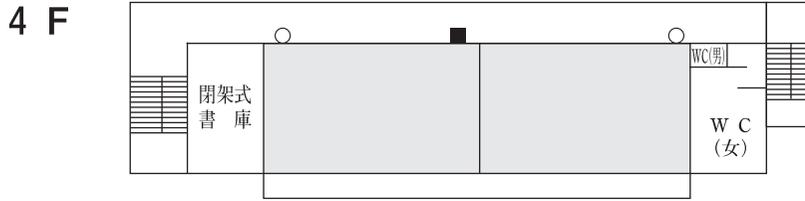


1号館



校舎配置図

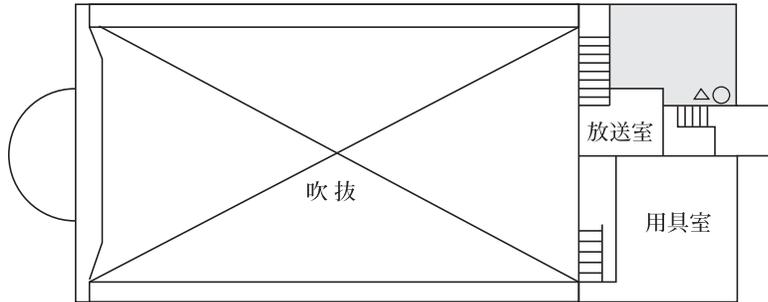
2号館



| | | |
|----|---|-------|
| 記号 | ■ | 消火栓 |
| | ⊗ | 避難器具 |
| | ▲ | 泡消火器 |
| | ○ | 粉末消火器 |
| | △ | 火災報知器 |

3号館

R F

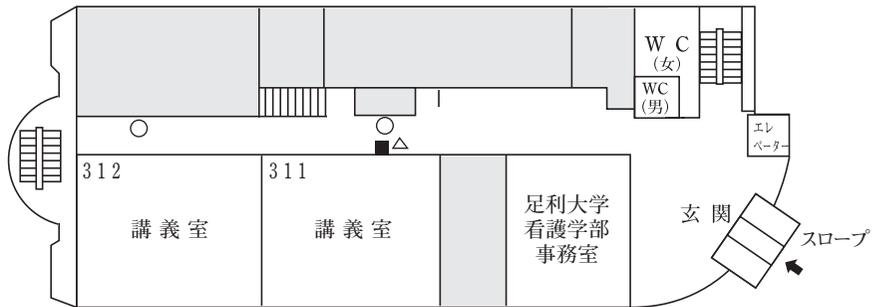


4 F

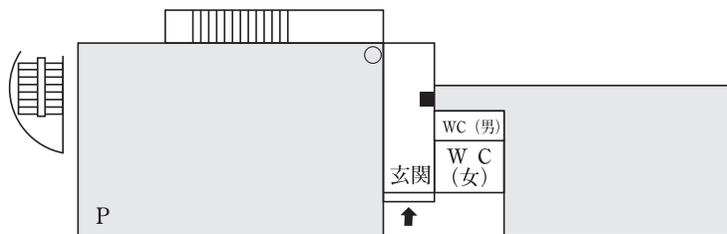


※2F男子トイレ (車イス用トイレ)

1 F

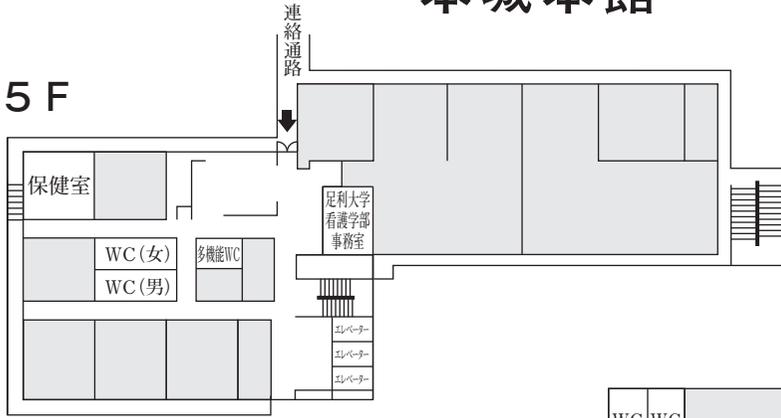


B F

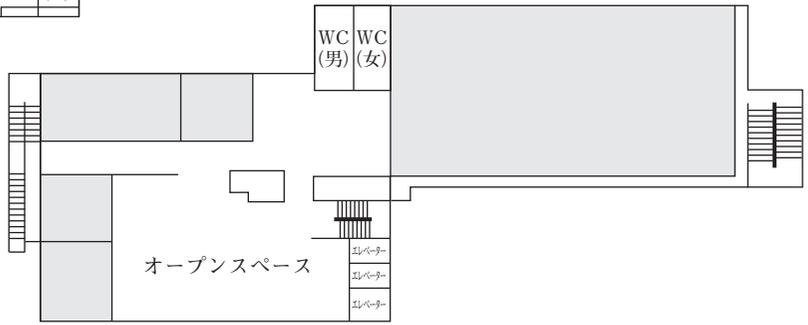


本城本館

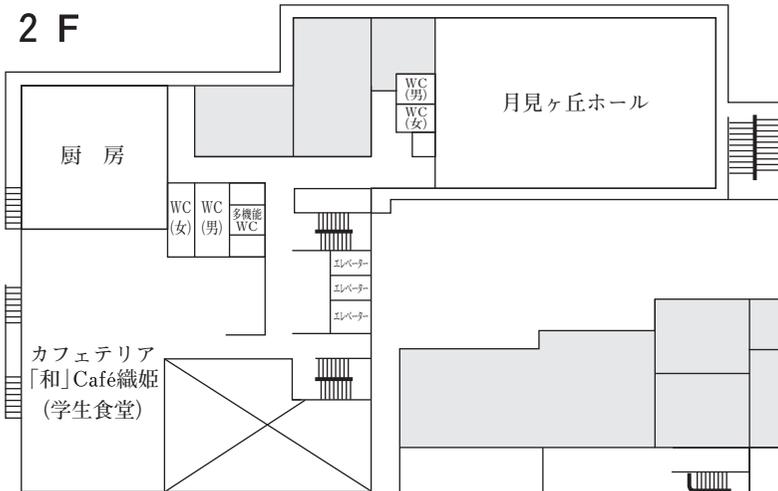
5 F



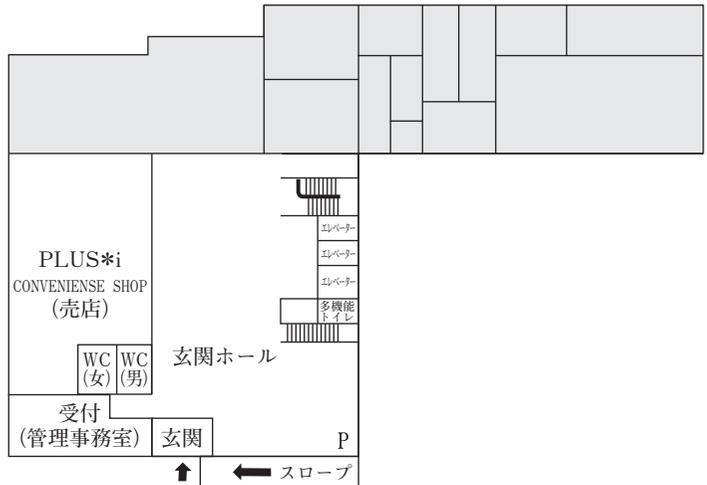
3 F



2 F



1 F



↑ ↓ スロープ

シラバス

2025. 4. 1

- 編集 足利短期大学教務委員会
- 発行人 末 武 義 崇
- 発行所 栃木県足利市本城 3-2120

TEL 0284 (21) 8242

FAX 0284 (21) 1270

URL <https://ashikaga.ac.jp/ajc/>



A SHIKAGA JUNIOR COLLEGE